

養成する人材像

ビッグデータに対して付加価値の創造を担う有為なDX人材、すなわちデータサイエンス力、情報エンジニアリング力及びビジネス力からなる「3本の矢」を身につけた人材

①データサイエンスプログラム
 数理モデル、シミュレーション、AI、ビッグデータ分析などの手法を学ぶことで、自然や社会に存在する膨大なデータから真理やビジネスに活用できる知見を引き出す能力を習得し、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

②情報エンジニアリングプログラム
 情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティ、IoTなどの高度な情報技術を学ぶことで地域社会と地域産業の高度なICT化をリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

③ビジネスアナリティクスプログラム
 あらゆるデータを集め、現状を把握し、未来を予測した計画をたて、経験や勘に頼らないビジネスを展開する能力を習得し、DXに基づいて地域社会と地域産業のイノベーションをリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展をデザインする人材

〈DP1〉
【知識及び技能】
 情報科学の学問内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。

〈DP2〉
【思考力・判断力・表現力等】
 社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。

〈DP3〉
【主体性・多様性・協調性】
 社会の諸問題に主体的かつ積極的に関わり組み、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。

〈DP4〉
【地域貢献】
 グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。

〈教育課程の区分〉
 学部基礎科目

〈教育課程の区分〉
 データサイエンスプログラム
 情報エンジニアリングプログラム 科目
 ビジネスアナリティクスプログラム

〈教育課程の区分〉
 演習科目

〈CP1〉
 情報科学の基本的な知識、技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置する。データサイエンスプログラムにおいてはデータ分析の基礎となる科目を難易度に応じて年次進行となるように配置する。情報エンジニアリングプログラムにおいてはICTにおける基礎技術、プログラミングのための理論と実践に関する科目を年次進行で配置する。ビジネスアナリティクスプログラムにおいてはビジネスの基礎となる科目、データ取得及び分析に関わる科目、地域社会や企業の抱える諸問題を解決するための科目を配置する。

〈CP2〉
 基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムには、インターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。

〈CP3〉
 PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協調的な実践力を育む科目及び専門ゼミなど社会実装型の科目を配置する。

〈CP4〉
 総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学部での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。

〈AP1〉
 社会の諸問題に対して興味を持ち、情報科学の学問領域を学修するために必要な基礎学力や能力を身に付けている。

〈AP2〉
 デジタル社会の諸問題を自らの問題としてとらえることができ、課題解決の道筋やアイデアを自分の言葉で表現できる。

〈AP3〉
 自ら考えて行動するとともに、文化的・社会的基盤を異にする他者に対しても関心を持ち、他者と協働して課題解決に取り組む姿勢を持っている。

〈AP4〉
 グローバルな視野を持って地域を見つめ、地域の持続的な発展に貢献しようとする強い意欲がある。

養成する人材像
ビッグデータを高度なAI・統計解析ツールで収集、加工、分析し、
ビジネスに活用できる知見を引き出す専門家

①データサイエンスプログラム
数理モデル、シミュレーション、AI、ビッグデータ分析などの手法を学ぶことで、自然や社会に存在する膨大なデータから真理やビジネスに活用できる知見を引き出す能力を習得し、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

②情報エンジニアリングプログラム
情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティ、IOTなどの高度な情報技術を学ぶことで地域社会と地域産業の高度なICT化をリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

③ビジネスアナリティクスプログラム
あらゆるデータを集め、現状を把握し、未来を予測した計画をたて、経験や勘に頼らないビジネスを展開する能力を習得し、DXに基づいて地域社会と地域産業のイノベーションをリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展をデザインする人材

〈DP1〉
【知識及び技能】
情報科学の学問内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。

〈DP2〉
【思考力・判断力・表現力等】
社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。

〈DP3〉
【主体性・多様性・協調性】
社会の諸問題に主体的かつ積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。

〈DP4〉
【地域貢献】
グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。

〈教育課程の区分〉
学部基礎科目

〈教育課程の区分〉
データサイエンスプログラム
情報エンジニアリングプログラム
ビジネスアナリティクスプログラム 科目

〈教育課程の区分〉
演習科目

〈CP1〉
情報科学の基本的な知識・技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置する。各プログラムにおいては基礎から実践的科目までを年次進行で配置する。

〈CP2〉
基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムには、インターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。

〈CP3〉
PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協調的な実践力を育む科目及び専門ゼミなど社会実装型の科目を配置する。

〈CP4〉
総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学部での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。

養成する人材像
ビッグデータを高度なAI・統計解析ツールで収集、加工、分析し、
ビジネスに活用できる知見を引き出す専門家

①データサイエンスプログラム
数理モデル、シミュレーション、AI、ビッグデータ分析などの手法を学ぶことで、自然や社会に存在する膨大なデータから真理やビジネスに活用できる知見を引き出す能力を習得し、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

②情報エンジニアリングプログラム
情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティ、IOTなどの高度な情報技術を学ぶことで地域社会と地域産業の高度なICT化をリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

③ビジネスアナリティクスプログラム
あらゆるデータを集め、現状を把握し、未来を予測した計画をたて、経験や勘に頼らないビジネスを展開する能力を習得し、DXに基づいて地域社会と地域産業のイノベーションをリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展をデザインする人材

〈DP1〉
【知識及び技能】
情報科学の学問内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。

〈DP2〉
【思考力・判断力・表現力等】
社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。

〈DP3〉
【主体性・多様性・協調性】
社会の諸問題に主体的かつ積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。

〈DP4〉
【地域貢献】
グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。

〈教育課程の区分〉
学部基礎
科目

〈教育課程の区分〉
データサイエンスプログラム
情報エンジニアリングプログラム
ビジネスアナリティクスプログラム
科目

〈教育課程の区分〉
演習科目

〈CP1〉
情報科学の基本的な知識・技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置する。各プログラムにおいては基礎から実践的科目までを年次進行で配置する。

〈CP2〉
基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムには、インターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。

〈CP3〉
PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協調的な実践力を育む科目及び専門ゼミなど社会実装型の科目を配置する。

〈CP4〉
総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学部での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。

養成する人材像
ビッグデータを高度なAI・統計解析ツールで収集、加工、分析し、
ビジネスに活用できる知見を引き出す専門家

- ①データサイエンスプログラム
数理モデル、シミュレーション、AI、ビッグデータ分析などの手法を学ぶことで、自然や社会に存在する膨大なデータから真理やビジネスに活用できる知見を引き出す能力を習得し、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材
- ②情報エンジニアリングプログラム
情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティ、IOTなどの高度な情報技術を学ぶことで地域社会と地域産業の高度なICT化をリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材
- ③ビジネスアナリティクスプログラム
あらゆるデータを集め、現状を把握し、未来を予測した計画をたて、経験や勘に頼らないビジネスを展開する能力を習得し、DXに基づいて地域社会と地域産業のイノベーションをリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展をデザインする人材



〈DP1〉
【知識及び技能】
情報科学の学問内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。

〈DP2〉
【思考力・判断力・表現力等】
社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。

〈DP3〉
【主体性・多様性・協調性】
社会の諸問題に主体的かつ積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。

〈DP4〉
【地域貢献】
グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。

〈教育課程の区分〉
学部基礎科目

〈教育課程の区分〉
データサイエンスプログラム
情報エンジニアリングプログラム
ビジネスアナリティクスプログラム 科目

〈教育課程の区分〉
演習科目

〈CP1〉
情報科学の基本的な知識・技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置する。各プログラムにおいては基礎から実践の科目までを年次進行で配置する。

〈CP2〉
基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムには、インターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。

〈CP3〉
PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協調的な実践力を育む科目及び専門ゼミなど社会実装型の科目を配置する。

〈CP4〉
総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学部での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。

養成する人材像
ビッグデータを高度なAI・統計解析ツールで収集、加工、分析し、
ビジネスに活用できる知見を引き出す専門家

①データサイエンスプログラム
数理モデル、シミュレーション、AI、ビッグデータ分析などの手法を学ぶことで、自然や社会に存在する膨大なデータから真理やビジネスに活用できる知見を引き出す能力を習得し、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

②情報エンジニアリングプログラム
情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティ、IOTなどの高度な情報技術を学ぶことで地域社会と地域産業の高度なICT化をリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

③ビジネスアナリティクスプログラム
あらゆるデータを集め、現状を把握し、未来を予測した計画をたて、経験や勘に頼らないビジネスを展開する能力を習得し、DXに基づいて地域社会と地域産業のイノベーションをリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展をデザインする人材

〈DP1〉
【知識及び技能】
情報科学の学問内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。

〈DP2〉
【思考力・判断力・表現力等】
社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。

〈DP3〉
【主体性・多様性・協調性】
社会の諸問題に主体的かつ積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。

〈DP4〉
【地域貢献】
グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。

〈教育課程の区分〉
学部基礎科目

〈教育課程の区分〉
データサイエンスプログラム
情報エンジニアリングプログラム 科目
ビジネスアナリティクスプログラム

〈教育課程の区分〉
演習科目

〈CP1〉
情報科学の基本的な知識・技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置する。各プログラムにおいては基礎から実践的科目までを年次進行で配置する。

〈CP2〉
基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムには、インターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。

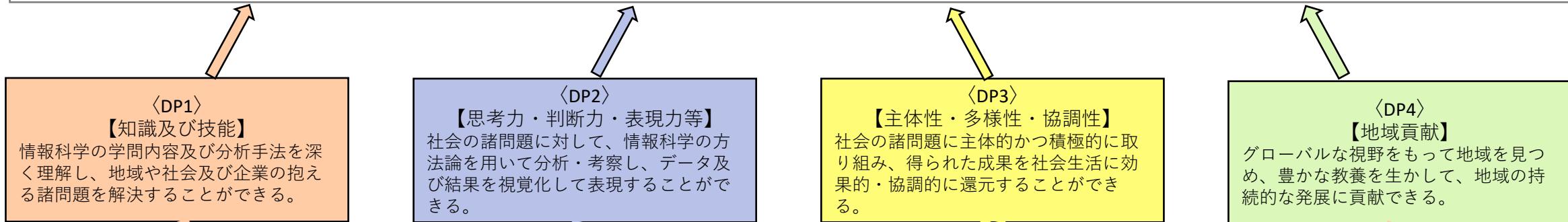
〈CP3〉
PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協調的な実践力を育む科目及び専門ゼミなど社会実装型の科目を配置する。

〈CP4〉
総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学部での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。

養成する人材像

ビッグデータに対して付加価値の創造を担う有為なDX人材、すなわちデータサイエンス力、情報エンジニアリング力及びビジネス力からなる「3本の矢」を身につけた人材

- ①データサイエンスプログラム
数理モデル、シミュレーション、AI、ビッグデータ分析などの手法を学ぶことで、自然や社会に存在する膨大なデータから真理やビジネスに活用できる知見を引き出す能力を習得し、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材
- ②情報エンジニアリングプログラム
情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティ、IOTなどの高度な情報技術を学ぶことで地域社会と地域産業の高度なICT化をリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材
- ③ビジネスアナリティクスプログラム
あらゆるデータを集め、現状を把握し、未来を予測した計画をたて、経験や勘に頼らないビジネスを展開する能力を習得し、DXに基づいて地域社会と地域産業のイノベーションをリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展をデザインする人材



〈教育課程の区分〉
学部基礎科目

〈教育課程の区分〉
データサイエンスプログラム
情報エンジニアリングプログラム 科目
ビジネスアナリティクスプログラム

〈教育課程の区分〉
演習科目

〈CP1〉
情報科学の基本的な知識、技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1~2年次に配置する。データサイエンスプログラムにおいてはデータ分析の基礎となる科目を難易度に応じて年次進行となるように配置する。情報エンジニアリングプログラムにおいてはICTにおける基礎技術、プログラミングのための理論と実践に関する科目を年次進行で配置する。ビジネスアナリティクスプログラムにおいてはビジネスの基礎となる科目、データ取得及び分析に関わる科目、地域社会や企業の抱える諸問題を解決するための科目を配置する。

〈CP2〉
基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムには、インターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。

〈CP3〉
PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協調的な実践力を育む科目及び専門ゼミを配置する。また、各プログラムの高年次には社会実装型の科目を配置する。

〈CP4〉
総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学部での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。

〈AP1〉
社会の諸問題に対して興味を持ち、情報科学の学問領域を学修するために必要な基礎学力や能力を身に付けている。

〈AP2〉
デジタル社会の諸問題を自らの問題としてとらえることができ、課題解決の道筋やアイデアを自分の言葉で表現できる。

〈AP3〉
自ら考えて行動するとともに、文化的・社会的基盤を異にする他者に対しても関心を持ち、他者と協働して課題解決に取り組む姿勢を持っている。

〈AP4〉
グローバルな視野を持って地域を見つめ、地域の持続的な発展に貢献しようとする強い意欲がある。

養成する人材像

ビッグデータを高度なAI・統計解析ツールで収集、加工、分析し、
ビジネスに活用できる知見を引き出す専門家

①データサイエンスプログラム
数理モデル、シミュレーション、AI、ビッグデータ分析などの手法を学ぶことで、自然や社会に存在する膨大なデータから真理やビジネスに活用できる知見を引き出す能力を習得し、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

②情報エンジニアリングプログラム
情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティ、IoTなどの高度な情報技術を学ぶことで地域社会と地域産業の高度なICT化をリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

③ビジネスアナリティクスプログラム
あらゆるデータを集め、現状を把握し、未来を予測した計画をたて、経験や勘に頼らないビジネスを展開する能力を習得し、DXに基づいて地域社会と地域産業のイノベーションをリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展をデザインする人材

〈DP1〉
【知識及び技能】
情報科学の学問内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。

〈DP2〉
【思考力・判断力・表現力等】
社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。

〈DP3〉
【主体性・多様性・協調性】
社会の諸問題に主体的かつ積極的に関わり、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。

〈DP4〉
【地域貢献】
グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。

〈教育課程の区分〉
学部基礎
科目

〈教育課程の区分〉
データサイエンスプログラム
情報エンジニアリングプログラム
ビジネスアナリティクスプログラム
科目

〈教育課程の区分〉
演習科目

〈CP1〉
情報科学の基本的な知識・技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置する。各プログラムにおいては基礎から実践的科目までを年次進行で配置する。

〈CP2〉
基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムには、インターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。

〈CP3〉
PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協調的な実践力を育む科目及び専門ゼミを配置する。また、各プログラムの高年次には社会実装型の科目を配置する。

〈CP4〉
総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学部での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。

養成する人材像

ビッグデータを高度なAI・統計解析ツールで収集、加工、分析し、
ビジネスに活用できる知見を引き出す専門家

①データサイエンスプログラム
数理モデル、シミュレーション、AI、ビッグデータ分析などの手法を学ぶことで、自然や社会に存在する膨大なデータから真理やビジネスに活用できる知見を引き出す能力を習得し、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

②情報エンジニアリングプログラム
情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティ、IOTなどの高度な情報技術を学ぶことで地域社会と地域産業の高度なICT化をリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

③ビジネスアナリティクスプログラム
あらゆるデータを集め、現状を把握し、未来を予測した計画をたて、経験や勘に頼らないビジネスを展開する能力を習得し、DXに基づいて地域社会と地域産業のイノベーションをリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展をデザインする人材

〈DP1〉
【知識及び技能】
情報科学の学問内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。

〈DP2〉
【思考力・判断力・表現力等】
社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。

〈DP3〉
【主体性・多様性・協調性】
社会の諸問題に主体的かつ積極的に関わり、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。

〈DP4〉
【地域貢献】
グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。

〈教育課程の区分〉
学部基礎
科目

〈教育課程の区分〉
データサイエンスプログラム
情報エンジニアリングプログラム
ビジネスアナリティクスプログラム
科目

〈教育課程の区分〉
演習科目

〈CP1〉
情報科学の基本的な知識・技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置する。各プログラムにおいては基礎から実践的科目までを年次進行で配置する。

〈CP2〉
基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムには、インターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。

〈CP3〉
PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協調的な実践力を育む科目及び専門ゼミを配置する。また、各プログラムの高年次には社会実装型の科目を配置する。

〈CP4〉
総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学部での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。

養成する人材像
ビッグデータを高度なAI・統計解析ツールで収集、加工、分析し、
ビジネスに活用できる知見を引き出す専門家

①データサイエンスプログラム
数理モデル、シミュレーション、AI、ビッグデータ分析などの手法を学ぶことで、自然や社会に存在する膨大なデータから真理やビジネスに活用できる知見を引き出す能力を習得し、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

②情報エンジニアリングプログラム
情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティ、IOTなどの高度な情報技術を学ぶことで地域社会と地域産業の高度なICT化をリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

③ビジネスアナリティクスプログラム
あらゆるデータを集め、現状を把握し、未来を予測した計画をたて、経験や勘に頼らないビジネスを展開する能力を習得し、DXに基づいて地域社会と地域産業のイノベーションをリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展をデザインする人材

〈DP1〉
【知識及び技能】
情報科学の学問内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。

〈DP2〉
【思考力・判断力・表現力等】
社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。

〈DP3〉
【主体性・多様性・協調性】
社会の諸問題に主体的かつ積極的に関わり、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。

〈DP4〉
【地域貢献】
グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。

〈教育課程の区分〉
学部基礎
科目

〈教育課程の区分〉
データサイエンスプログラム
情報エンジニアリングプログラム
ビジネスアナリティクスプログラム
科目

〈教育課程の区分〉
演習科目

〈CP1〉
情報科学の基本的な知識・技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置する。各プログラムにおいては基礎から実践的科目までを年次進行で配置する。

〈CP2〉
基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムには、インターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。

〈CP3〉
PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協調的な実践力を育む科目及び専門ゼミを配置する。また、各プログラムの高年次には社会実装型の科目を配置する。

〈CP4〉
総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学部での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。

養成する人材像

ビッグデータを高度なAI・統計解析ツールで収集、加工、分析し、
ビジネスに活用できる知見を引き出す専門家

①データサイエンスプログラム
数理モデル、シミュレーション、AI、ビッグデータ分析などの手法を学ぶことで、自然や社会に存在する膨大なデータから真理やビジネスに活用できる知見を引き出す能力を習得し、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

②情報エンジニアリングプログラム
情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティ、IOTなどの高度な情報技術を学ぶことで地域社会と地域産業の高度なICT化をリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材

③ビジネスアナリティクスプログラム
あらゆるデータを集め、現状を把握し、未来を予測した計画をたて、経験や勘に頼らないビジネスを展開する能力を習得し、DXに基づいて地域社会と地域産業のイノベーションをリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展をデザインする人材

〈DP1〉
【知識及び技能】
情報科学の学問内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。

〈DP2〉
【思考力・判断力・表現力等】
社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。

〈DP3〉
【主体性・多様性・協調性】
社会の諸問題に主体的かつ積極的に関わり、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。

〈DP4〉
【地域貢献】
グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。

〈教育課程の区分〉
学部基礎
科目

〈教育課程の区分〉
データサイエンスプログラム
情報エンジニアリングプログラム
ビジネスアナリティクスプログラム
科目

〈教育課程の区分〉
演習科目

〈CP1〉
情報科学の基本的な知識・技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置する。各プログラムにおいては基礎から実践的科目までを年次進行で配置する。

〈CP2〉
基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムには、インターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。

〈CP3〉
PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協調的な実践力を育む科目及び専門ゼミを配置する。また、各プログラムの高年次には社会実装型の科目を配置する。

〈CP4〉
総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学部での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。

養成する人材像
ビッグデータに対して付加価値の創造を担う有為なDX人材、すなわちデータサイエンサ、情報エンジニアリングカ及びビジネスカからなる「3本の矢」を身につけた人材

①データサイエンスプログラム
 数理モデル、シミュレーション、AI、ビッグデータ分析などの手法を学ぶことで、自然や社会に存在する膨大データから真実やビジネスに活用できる知見を迅速に発見し、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために貢献できる人材

②情報エンジニアリングプログラム
 情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティ、IoTなどの高度な情報技術を学ぶことで地域社会と地域産業の高度なICTをリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために貢献できる人材

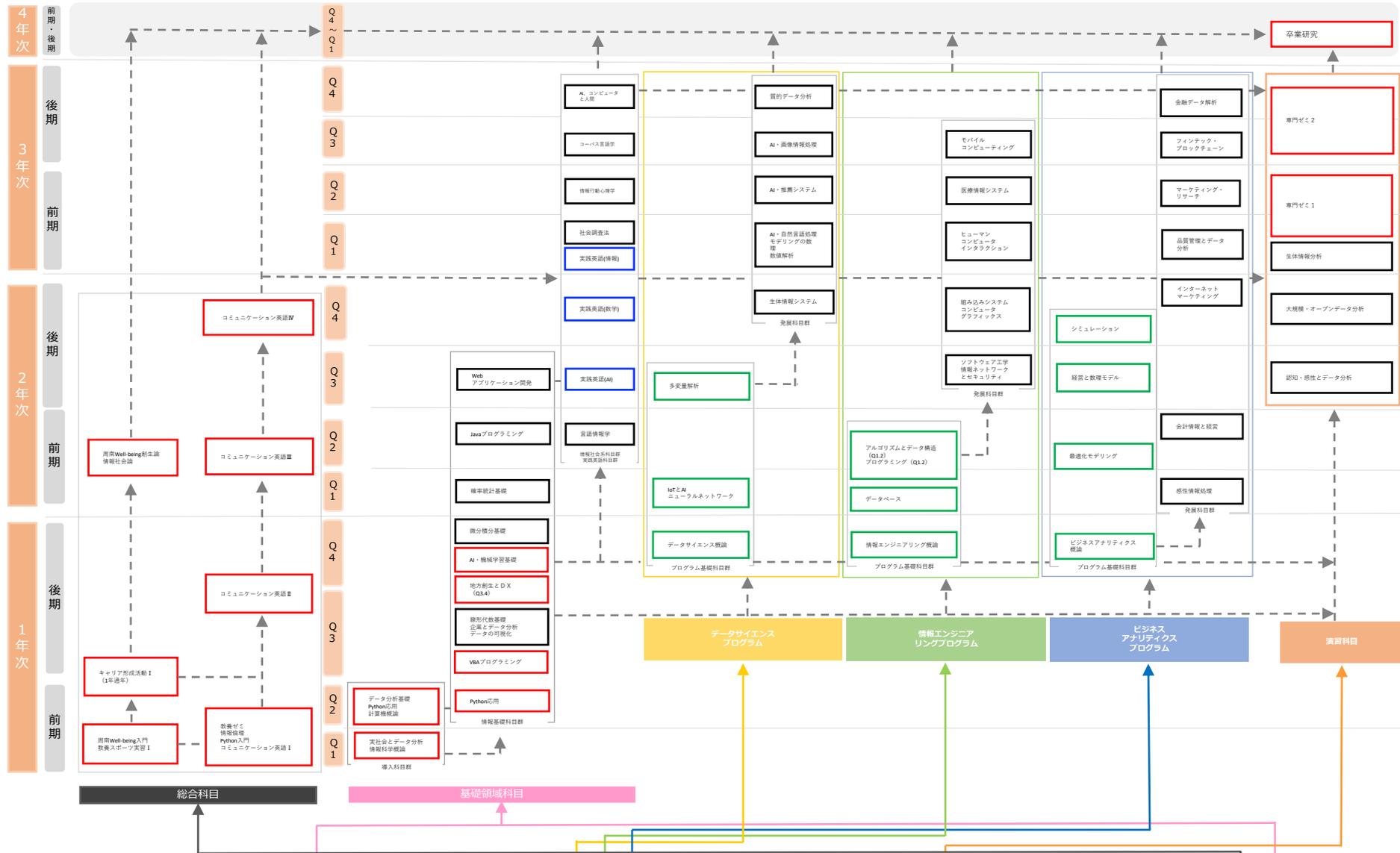
③ビジネスアナリティクスプログラム
 膨大なデータを集め、現状を把握し、未来を予測した計画を立て、経験や勘に頼らないビジネスを展開する能力を習得し、DXに基づいて地域社会と地域産業のイノベーションをリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展をデザインする人材

●DP1 (知識及び技能)
 情報科学の学習内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。

DP2 (態度・判断力・表現力等)
 社会的諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び情報を視覚化して表現することができる。

DP3 (主体性・多様性・協調性)
 社会的諸問題に主体的かつ積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協力的に還元することができる。

DP4 (地域貢献)
 グローバルな視野をもつて地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。



CP1
 情報科学の基本的な知識、技能を学ぶ基礎科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域0-1-2階次に配置する。データサイエンスプログラムにおいてはデータ分析の基礎となる科目を履修年度に応じて年次進行となるように配置する。情報エンジニアリングプログラムにおいてはICTにおける基礎技術、プログラミングのための理論と実践に関する科目を年次進行で配置する。ビジネスアナリティクスプログラムにおいてはビジネスの基礎となる科目、データ取得及び分析に関する科目、地域社会や企業の抱える諸問題を解決するための科目を配置する。

CP2
 基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムにはインターネットやクラウドなどの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。

CP3
 PBL、習得型やキャリア形成支援型などにより社会問題への協力的な実践力を育成科目及び専門ゼミと社会実習型の科目を配置する。

CP4
 総合科目や情報社会科目により社会的教養や情報技術と人の関わりを教養として身に付け、実務英語により本学料での学びの国際展開能力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる教養を身に付ける。

学科必修
実践英語
選択2必修
プログラム
必修
選択科目

※1総合科目は必修科目のみを示した。
※2他学部履修科目は卒業要件にあたるが
自由選択科目のため表から除外した。

DP1【知識及び技能】 情報科学の学問内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。	DP2【思考力・判断力・表現力等】 社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。	DP3【主体性・多様性・協調性】 社会の諸問題に主体的かつ積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。	DP4【地域貢献】 グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。
--	--	---	--

総合科目		情報科学部 基礎領域科目	演習科目	データサイエンス プログラム	情報エンジニア リングプログラム	ビジネス アナリティクス プログラム
4年次	前期・後期	Q4~Q1	卒業研究			
	後期	Q4	専門ゼミ2	質的データ分析	モバイル コンピューティング	金融データ解析
3年次	後期	Q3		AI・画像情報処理		フィンテック・ ブロックチェーン
	前期	Q2		AI・推薦システム	医療情報システム	マーケティング ・リサーチ
2年次	後期	Q1	専門ゼミ1	AI・自然言語処理	ヒューマン コンピュータ インタラクション	品質管理とデータ 分析
	前期	Q4	生体 情報 分析	モデリングの数理		インターネット マーケティング シミュレーション
1年次	後期	Q3	大規模・オープンデータ 分析	数値解析	組み込みシステム	経営と数理モデル
	前期	Q2	認知・感性とデータ分析	生体情報システム	コンピュータ グラフィックス	会計情報と経営
		Q1		多変量解析	ソフトウェア工学	最適化モデリング
		Q4		IoTとAI	情報ネットワーク とセキュリティ	感性情報処理
		Q3		ニューラルネットワーク	アルゴリズムと データ 構造	ビジネスアナリ ティクス概論
		Q2		データサイエンス概論	プログラミング	
		Q1			データベース	
		Q4			情報エンジニア リング概論	
		Q3				
		Q2				
		Q1				

CP4
総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学科での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。

CP3
PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協調的な実践力を育む科目及び専門ゼミを配置する。また、各プログラムの高年次には社会実装型の科目を配置する。

CP2
基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムにはインターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。

CP1
情報科学の基本的な知識、技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置する。データサイエンスプログラムにおいてはデータ分析の基礎となる科目を難易度に応じて年次進行となるように配置する。情報エンジニアリングプログラムにおいてはICTにおける基礎技術、プログラミングのための理論と実践に関する科目を年次進行で配置する。ビジネスアナリティクスプログラムにおいてはビジネスの基礎となる科目、データ取得及び分析に関わる科目、地域社会や企業の抱える諸問題を解決するための科目を配置する。

周南公立大学 情報科学部 カリキュラムマトリクス

《各CP・DPを達成するために特に関連度が高い科目には○》

区分	授業科目名	年次	単位数	CP1 情報科学の基本的な知識、技能を 学ぶ概論科目や、プログラミング 基礎科目、数学系科目を情報科学 基礎領域の1～2年次に配置する。 データサイエンスプログラムにお いてはデータ分析の基礎となる科 目を難易度に応じて年次進行とな るように配置する。情報エンジニ アリングプログラムにおいては ICTにおける基礎技術、プログラ ミングのための理論と実践に関す る科目を年次進行で配置する。ピ ジネスアナリティクスプログラム においてはビジネスの基礎となる 科目、データ取得及び分析に関わ る科目、地域社会や企業の抱える 諸問題を解決するための科目を配 置する。	CP2 基礎領域にはデータ分析と表現・ 考察に関わる科目を配置する。 データサイエンスプログラムに は、データを分析する科目やAIに 関する科目を配置する。情報エン 지니어リングプログラムにはICT の活用を検討する科目を配置す る。ビジネスアナリティクスプロ グラムにはインターネットや金融 などの領域においてデータを分 析・考察する科目を配置する。	CP3 PBL型授業やキャリア形成支援授 業などにより社会問題への協調 的な実践力を育む科目及び専門 ゼミなど社会実装型の科目を配 置する。	CP4 総合科目や情報社会系科目により 社会的教養や情報技術と人との関 わりを教養として身に付け、実践 英語により本学科での学びの国際 展開力を身に付ける。卒業研究で は地域に関連したテーマを研究す ることにより、地域社会の生活・ 産業の持続的な発展に貢献でき る素地を身に付ける。	DP1 【知識及び技能】 情報科学の学問内容及び分析手法 を深く理解し、地域や社会及び企 業の抱える諸問題を解決すること ができる。	DP2 【思考力・判断力・表現力等】 社会の諸問題に対して、情報科学 の方法論を用いて分析・考察し、 データ及び結果を視覚化して表現 することができる。	DP3 【主体性・多様性・協調性】 社会の諸問題に主体的かつ積極的 に取り組み、得られた成果を社会 生活に効果的・協動的に還元する ことができる。	DP4 【地域貢献】 グローバルな視野をもって地域を 見つけ、豊かな教養を生かして、 地域の持続的な発展に貢献でき る。		
総合科目	人間形成と個性伸張のための	周南Well-being創生入門	1前	2				○				○	
		周南Well-being創生論	2前	2					○				○
		持続可能な社会とダイバーシティ	1前	2					○				○
		異文化コミュニケーション	1・2・3・4後	2					○				○
		教養スポーツ実習Ⅰ	1前	1					○				○
		教養スポーツ実習Ⅱ	1・2・3・4後	1					○				○
		健康とスポーツ	1・2・3・4後	2					○				○
		人の健康生活	1・2・3・4後	1					○				○
		健康と福祉	2・3・4前	2					○				○
	メンタルヘルス入門	1・2・3・4前	1					○				○	
	地域の持続的発展の発目と群価値創	自然災害と防災	2・3・4前	1					○				○
		周南地域文化講座	1・2・3・4後	2					○				○
		周南地域と産業	1・2・3・4後	2					○				○
		デザインシンキング	1・2・3・4通	2					○				○
		アントレプレナーシップ入門	2・3・4前	2					○				○
		ソーシャルアントレプレナーシップ	2・3・4後	2					○				○
		ワークショップデザインⅠ	2・3・4通	2					○				○
		ワークショップデザインⅡ	3・4通	2					○				○
		ワークショップデザインⅢ	4通	2					○				○
	リベラルアーツ科目群	哲学	1・2・3・4前	2					○				○
		生活と経済経営	1・2・3・4後	2					○				○
		日本国憲法	1・2・3・4前	2					○				○
		社会学	1・2・3・4前	2					○				○
		中国語Ⅰ	1・2・3・4後	2					○				○
		中国語Ⅱ	2・3・4前	2					○				○
		韓国語Ⅰ	1・2・3・4後	2					○				○
		韓国語Ⅱ	2・3・4前	2					○				○
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4後	2					○				○
ドイツ語Ⅱ	2・3・4前	2					○				○		

周南公立大学 情報科学部 カリキュラムマトリクス

《各CP・DPを達成するために特に関連度が高い科目には○》

区分	授業科目名	年次	単位数	CP1 情報科学の基本的な知識、技能を 学ぶ概論科目や、プログラミング 基礎科目、数学系科目を情報科学 基礎領域の1～2年次に配置する。 データサイエンスプログラムにお いてはデータ分析の基礎となる科 目を難易度に応じて年次進行とな るよう配置する。情報エンジニ アリングプログラムにおいては ICTにおける基礎技術、プログラ ミングのための理論と実践に関す る科目を年次進行で配置する。ピ ジネスアナリティクスプログラム においてはビジネスの基礎となる 科目、データ取得及び分析に関わ る科目、地域社会や企業の抱える 諸問題を解決するための科目を配 置する。	CP2 基礎領域にはデータ分析と表現・ 考察に関わる科目を配置する。 データサイエンスプログラムに は、データを分析する科目やAIに 関する科目を配置する。情報エン 지니어リングプログラムにはICT の活用を検討する科目を配置す る。ビジネスアナリティクスプロ グラムにはインターネットや金融 などの領域においてデータを分 析・考察する科目を配置する。	CP3 PBL型授業やキャリア形成支援授 業などにより社会問題への協調 的な実践力を育む科目及び専門 ゼミなど社会実装型の科目を配 置する。	CP4 総合科目や情報社会系科目により 社会的教養や情報技術と人との関 わりを教養として身に付け、実践 英語により本学科での学びの国際 展開力を身に付ける。卒業研究で は地域に関連したテーマを研究す ることにより、地域社会の生活・ 産業の持続的な発展に貢献できる 素地を身に付ける。	DP1 【知識及び技能】 情報科学の学問内容及び分析手法 を深く理解し、地域や社会及び企 業の抱える諸問題を解決すること ができる。	DP2 【思考力・判断力・表現力等】 社会の諸問題に対して、情報科学 の方法論を用いて分析・考察し、 データ及び結果を視覚化して表現 することができる。	DP3 【主体性・多様性・協調性】 社会の諸問題に主体的かつ積極的 に取り組み、得られた成果を社会 生活に効果的・協動的に還元する ことができる。	DP4 【地域貢献】 グローバルな視野をもって地域を 見つめ、豊かな教養を生かして、 地域の持続的な発展に貢献でき る。		
総合科目	リテラシー科目群	教養ゼミ	1前	2				○				○	
		アカデミックライティング	1・2・3・4後	2				○					○
		情報リテラシー	1前	2				○			○		
		データサイエンス入門	1後	2				○	○	○			
		情報倫理	1・2・3・4後	2				○					○
		Python入門	1・2・3・4前	2				○	○			○	
		情報社会論	2・3・4前	2				○					○
		総合英語中上級Ⅰ	3・4前	1				○					○
		総合英語中上級Ⅱ	3・4後	1				○					○
		コミュニケーション英語Ⅰ	1前	1				○					○
		コミュニケーション英語Ⅱ	1後	1				○					○
		コミュニケーション英語Ⅲ	2前	1				○					○
		コミュニケーション英語Ⅳ	2後	1				○					○
		留学英語	1・2・3・4前	1				○					○
		ビジネス英会話	2・3・4前	2				○					○
		ビジネス英作文	2・3・4後	1				○					○
		グローバル英語	3・4後	2				○					○
		キャリア形成活動Ⅰ	1・2・3・4通	2				○					○
キャリア形成活動Ⅱ	2・3・4通	2				○					○		
専門科目	情報科学部基礎科目	情報科学概論	1①	2	○				○				
		実社会とデータ分析	1①	2	○							○	
		計算機概論	1②	2	○				○				
		Python応用	1②	2	○				○	○	○		
		データ分析基礎	1②	2	○					○			
		線形代数基礎	1③	2	○				○				
		VBAプログラミング	1③	2	○				○	○			
		データの可視化	1③	2	○				○	○	○		
		企業とデータ分析	1③	2	○				○	○	○	○	
		微分積分基礎	1④	2	○				○	○	○		
		地方創生とDX	1③④通	2	○				○	○	○		
		確率統計基礎	2①	2	○				○			○	
		AI・機械学習基礎	2①	2	○					○			

周南公立大学 情報科学部 カリキュラムマトリクス

《各CP・DPを達成するために特に関連度が高い科目には○》

区分	授業科目名	年次	単位数	CP1 情報科学の基本的な知識、技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置する。データサイエンスプログラムにおいてはデータ分析の基礎となる科目を難易度に応じて年次進行となるように配置する。情報エンジニアリングプログラムにおいてはICTにおける基礎技術、プログラミングのための理論と実践に関する科目を年次進行で配置する。ビジネスアナリティクスプログラムにおいてはビジネスの基礎となる科目、データ取得及び分析に関わる科目、地域社会や企業の抱える諸問題を解決するための科目を配置する。	CP2 基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムにはインターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。	CP3 PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協力的な実践力を育む科目及び専門ゼミなど社会実装型の科目を配置する。	CP4 総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学科での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。	DP1 【知識及び技能】 情報科学の学問内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。	DP2 【思考力・判断力・表現力等】 社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。	DP3 【主体性・多様性・協調性】 社会の諸問題に主体的かつ積極的に関わり、得られた成果を社会生活に効果的・協動的に還元することができる。	DP4 【地域貢献】 グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。	
専門科目	情報科学部基礎科目	Javaプログラミング	2②	2	○			○		○		
		言語情報学	2②	2	○			○	○		○	
		Webアプリケーション開発	2③	2	○					○	○	
		実践英語(AI)	2③	2	○			○	○			○
		実践英語(数学)	2④	2	○			○				○
		実践英語(情報)	3①	2	○			○	○	○	○	○
		社会調査法	3①	2	○			○	○	○	○	○
		情報行動心理学	3②	2	○			○	○	○	○	○
		コーパス言語学	3③	2	○			○	○		○	
		AI、コンピュータと人間	3④	2	○			○	○			○
	データサイエンスプログラム科目	データサイエンス概論	1④	2		○			○			
		ニューラルネットワーク	2①	2		○				○		
		IoTとAI	2①	2		○			○	○	○	
		多変量解析	2③	2		○			○			
		生体情報システム	2④	2		○			○		○	
		モデリングの数理	3①	2		○			○	○	○	
		数値解析	3①	2		○			○	○	○	○
		AI・自然言語処理	3①	2		○			○	○	○	
		AI・推薦システム	3②	2		○				○		
		AI・画像情報処理	3③	2		○				○		
	質的データ分析	3④	2		○			○	○	○	○	
	情報エンジニアリングプログラム科目	情報エンジニアリング概論	1④	2		○					○	○
		データベース	2①	2		○					○	
		アルゴリズムとデータ構造	2①②通	2		○			○			
		プログラミング	2①②通	2		○			○			
		情報ネットワークとセキュリティ	2③	2		○			○	○		
		ソフトウェア工学	2③	2		○			○	○		
		コンピュータグラフィックス	2④	2		○			○	○		
		組み込みシステム	2④	2		○			○			
		ヒューマンコンピュータインタラクション	2②	2		○			○			
医療情報システム		3②	2		○			○	○			
モバイルコンピューティング	3③	2		○			○		○			

周南公立大学 情報科学部 カリキュラムマトリクス

《各CP・DPを達成するために特に関連度が高い科目には○》

区分	授業科目名	年次	単位数	CP1 情報科学の基本的な知識、技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置する。データサイエンスプログラムにおいてはデータ分析の基礎となる科目を難易度に応じて年次進行となるように配置する。情報エンジニアリングプログラムにおいてはICTにおける基礎技術、プログラミングのための理論と実践に関する科目を年次進行で配置する。ビジネスアナリティクスプログラムにおいてはビジネスの基礎となる科目、データ取得及び分析に関わる科目、地域社会や企業の抱える諸問題を解決するための科目を配置する。	CP2 基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムにはインターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。	CP3 PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協力的な実践力を育む科目及び専門ゼミなど社会実装型の科目を配置する。	CP4 総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学科での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。	DP1 【知識及び技能】 情報科学の学問内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。	DP2 【思考力・判断力・表現力等】 社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。	DP3 【主体性・多様性・協調性】 社会の諸問題に主体的かつ積極的に関わり、得られた成果を社会生活に効果的・協動的に還元することができる。	DP4 【地域貢献】 グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。		
専門科目	ビジネスアナリティクスプログラム 科目	ビジネスアナリティクス概論	1④	2		○			○	○			
		感性情報処理	2①	2		○				○			
		最適化モデリング	2②	2		○					○		
		会計情報と経営	2②	2		○					○		
		経営と数理モデル	2③	2		○			○				
		インターネットマーケティング	2④	2		○				○			
		シミュレーション	2④	2		○			○	○	○		
		品質管理とデータ分析	3①	2		○					○		
		マーケティング・リサーチ	3②	2		○			○	○	○	○	○
		フィンテック・ブロックチェーン	3③	2		○			○	○	○	○	○
	金融データ解析	3④	2		○				○	○	○	○	
	演習科目	認知・感性とデータ分析	2③	2			○				○		
		大規模・オープンデータ分析	2④	2			○				○		
		生体情報分析	3①	2			○			○	○		
		専門ゼミ1	3①②通	2			○			○	○	○	○
専門ゼミ2		3③④通	2			○			○	○	○	○	
	卒業研究	4①②③④通	2			○	○	○	○	○	○	○	

周南公立大学 情報科学部 カリキュラムマトリクス

《各CP・DPを達成するために特に関連度が高い科目には○》

区分	授業科目名	年次	単位数	CP1 情報科学の基本的な知識、技能を 学ぶ概論科目や、プログラミング 基礎科目、数学系科目を情報科学 基礎領域の1～2年次に配置する。 データサイエンスプログラムにお いてはデータ分析の基礎となる科 目を難易度に応じて年次進行とな るように配置する。情報エンジ ニアリングプログラムにおいては ICTにおける基礎技術、プログラ ミングのための理論と実践に関す る科目を年次進行で配置する。ピ ジネスアナリティクスプログラム においてはビジネスの基礎となる 科目、データ取得及び分析に関わ る科目、地域社会や企業の抱える 諸問題を解決するための科目を配 置する。	CP2 基礎領域にはデータ分析と表現・ 考察に関わる科目を配置する。 データサイエンスプログラムに は、データを分析する科目やAIに 関する科目を配置する。情報エン 지니어リングプログラムにはICT の活用を検討する科目を配置す る。ビジネスアナリティクスプロ グラムにはインターネットや金融 などの領域においてデータを分 析・考察する科目を配置する。	CP3 PBL型授業やキャリア形成支援授 業などにより社会問題への協動的 な実践力を育む科目及び専門ゼミ を配置する。また、各プログラム の高年次には社会実装型の科目を 配置する。	CP4 総合科目や情報社会系科目により 社会的教養や情報技術と人との関 わりを教養として身に付け、実践 英語により本学科での学びの国際 展開力を身に付ける。卒業研究で は地域に関連したテーマを研究す ることにより、地域社会の生活・ 産業の持続的な発展に貢献できる 素地を身に付ける。	DP1 【知識及び技能】 情報科学の学問内容及び分析手法 を深く理解し、地域や社会及び企 業の抱える諸問題を解決すること ができる。	DP2 【思考力・判断力・表現力等】 社会の諸問題に対して、情報科学 の方法論を用いて分析・考察し、 データ及び結果を視覚化して表現 することができる。	DP3 【主体性・多様性・協調性】 社会の諸問題に主体的かつ積極的 に取り組み、得られた成果を社会 生活に効果的・協動的に還元する ことができる。	DP4 【地域貢献】 グローバルな視野をもって地域を 見つけ、豊かな教養を生かして、 地域の持続的な発展に貢献でき る。	
総合科目	人間形成と個性伸張のための	周南Well-being創生入門	1前	2				○				○
		周南Well-being創生論	2前	2				○				○
		持続可能な社会とダイバーシティ	1前	2				○				○
		異文化コミュニケーション	1・2・3・4後	2				○				○
		教養スポーツ実習Ⅰ	1前	1				○				○
		教養スポーツ実習Ⅱ	1・2・3・4後	1				○				○
		健康とスポーツ	1・2・3・4後	2				○				○
		人の健康生活	1・2・3・4後	1				○				○
		健康と福祉	2・3・4前	2				○				○
	メンタルヘルス入門	1・2・3・4前	1				○				○	
	地域の持続的発展の発目と群価値創	自然災害と防災	2・3・4前	1				○				○
		周南地域文化講座	1・2・3・4後	2				○				○
		周南地域と産業	1・2・3・4後	2				○				○
		デザインシンキング	1・2・3・4通	2				○				○
		アントレプレナーシップ入門	2・3・4前	2				○				○
		ソーシャルアントレプレナーシップ	2・3・4後	2				○				○
		ワークショップデザインⅠ	2・3・4通	2				○				○
		ワークショップデザインⅡ	3・4通	2				○				○
		ワークショップデザインⅢ	4通	2				○				○
	リベラルアーツ科目群	哲学	1・2・3・4前	2				○				○
		生活と経済経営	1・2・3・4後	2				○				○
		日本国憲法	1・2・3・4前	2				○				○
		社会学	1・2・3・4前	2				○				○
		中国語Ⅰ	1・2・3・4後	2				○				○
		中国語Ⅱ	2・3・4前	2				○				○
		韓国語Ⅰ	1・2・3・4後	2				○				○
		韓国語Ⅱ	2・3・4前	2				○				○
	ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4後	2				○				○	
ドイツ語Ⅱ	2・3・4前	2				○				○		

周南公立大学 情報科学部 カリキュラムマトリクス

《各CP・DPを達成するために特に関連度が高い科目には○》

区分	授業科目名	年次	単位数	CP1 情報科学の基本的な知識、技能を 学ぶ概論科目や、プログラミング 基礎科目、数学系科目を情報科学 基礎領域の1～2年次に配置する。 データサイエンスプログラムにお いてはデータ分析の基礎となる科 目を難易度に応じて年次進行とな るように配置する。情報エンジニ アリングプログラムにおいては ICTにおける基礎技術、プログラ ミングのための理論と実践に関す る科目を年次進行で配置する。ピ ジネスアナリティクスプログラム においてはビジネスの基礎となる 科目、データ取得及び分析に関わ る科目、地域社会や企業の抱える 諸問題を解決するための科目を配 置する。	CP2 基礎領域にはデータ分析と表現・ 考察に関わる科目を配置する。 データサイエンスプログラムに は、データを分析する科目やAIに 関する科目を配置する。情報エン 지니어リングプログラムにはICT の活用を検討する科目を配置す る。ビジネスアナリティクスプロ グラムにはインターネットや金融 などの領域においてデータを分 析・考察する科目を配置する。	CP3 PBL型授業やキャリア形成支援授 業などにより社会問題への協動的 な実践力を育む科目及び専門ゼミ を配置する。また、各プログラム の高年次には社会実装型の科目を 配置する。	CP4 総合科目や情報社会系科目により 社会的教養や情報技術と人との関 わりを教養として身に付け、実践 英語により本学科での学びの国際 展開力を身に付ける。卒業研究で は地域に関連したテーマを研究す ることにより、地域社会の生活・ 産業の持続的な発展に貢献できる 素地を身に付ける。	DP1 【知識及び技能】 情報科学の学問内容及び分析手法 を深く理解し、地域や社会及び企 業の抱える諸問題を解決すること ができる。	DP2 【思考力・判断力・表現力等】 社会の諸問題に対して、情報科学 の方法論を用いて分析・考察し、 データ及び結果を視覚化して表現 することができる。	DP3 【主体性・多様性・協調性】 社会の諸問題に主体的かつ積極的 に取り組み、得られた成果を社会 生活に効果的・協動的に還元する ことができる。	DP4 【地域貢献】 グローバルな視野をもって地域を 見つめ、豊かな教養を生かして、 地域の持続的な発展に貢献でき る。		
総合科目	リテラシー科目群	教養ゼミ	1前	2				○				○	
		アカデミックライティング	1・2・3・4後	2					○				○
		情報リテラシー	1前	2					○		○		
		データサイエンス入門	1後	2					○	○			
		情報倫理	1・2・3・4後	2					○				○
		Python入門	1・2・3・4前	2					○	○		○	
		情報社会論	2・3・4前	2					○				○
		総合英語中上級Ⅰ	3・4前	1					○				○
		総合英語中上級Ⅱ	3・4後	1					○				○
		コミュニケーション英語Ⅰ	1前	1					○				○
		コミュニケーション英語Ⅱ	1後	1					○				○
		コミュニケーション英語Ⅲ	2前	1					○				○
		コミュニケーション英語Ⅳ	2後	1					○				○
		留学英語	1・2・3・4前	1					○				○
		ビジネス英会話	2・3・4前	2					○				○
		ビジネス英作文	2・3・4後	1					○				○
		グローバル英語	3・4後	2					○				○
キャリア形成活動Ⅰ	1・2・3・4通	2					○				○		
キャリア形成活動Ⅱ	2・3・4通	2					○				○		
専門科目	情報科学部基礎科目	情報科学概論	1①	2	○				○				
		実社会とデータ分析	1①	2	○							○	
		計算機概論	1②	2	○				○				
		Python応用	1②	2	○				○	○	○		
		データ分析基礎	1②	2	○					○			
		線形代数基礎	1③	2	○				○				
		VBAプログラミング	1③	2	○				○	○			
		データの可視化	1③	2	○				○	○	○		
		企業とデータ分析	1③	2	○				○	○	○	○	
		微分積分基礎	1④	2	○				○	○	○		
		地方創生とDX	1③④通	2	○				○	○	○		
		確率統計基礎	2①	2	○				○			○	
		AI・機械学習基礎	2①	2	○					○			

周南公立大学 情報科学部 カリキュラムマトリクス

《各CP・DPを達成するために特に関連度が高い科目には○》

区分	授業科目名	年次	単位数	CP1 情報科学の基本的な知識、技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置する。データサイエンスプログラムにおいてはデータ分析の基礎となる科目を難易度に応じて年次進行となるように配置する。情報エンジニアリングプログラムにおいてはICTにおける基礎技術、プログラミングのための理論と実践に関する科目を年次進行で配置する。ビジネスアナリティクスプログラムにおいてはビジネスの基礎となる科目、データ取得及び分析に関わる科目、地域社会や企業の抱える諸問題を解決するための科目を配置する。	CP2 基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムにはインターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。	CP3 PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協力的な実践力を育む科目及び専門ゼミを配置する。また、各プログラムの高年次には社会実装型の科目を配置する。	CP4 総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学科での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。	DP1 【知識及び技能】 情報科学の学問内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。	DP2 【思考力・判断力・表現力等】 社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。	DP3 【主体性・多様性・協調性】 社会の諸問題に主体的かつ積極的に関わり、得られた成果を社会生活に効果的・協力的に還元することができる。	DP4 【地域貢献】 グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。		
専門科目	情報科学部基礎科目	Javaプログラミング	2②	2	○			○		○			
		言語情報学	2②	2	○			○	○		○		
		Webアプリケーション開発	2③	2	○					○		○	
		実践英語(AI)	2③	2	○			○	○				○
		実践英語(数学)	2④	2	○			○					○
		実践英語(情報)	3①	2	○			○	○	○	○	○	○
		社会調査法	3①	2	○			○	○	○	○	○	○
		情報行動心理学	3②	2	○			○	○	○	○	○	○
		コーパス言語学	3③	2	○			○	○		○		
	AI、コンピュータと人間	3④	2	○			○	○				○	
	データサイエンスプログラム科目	データサイエンス概論	1④	2		○			○				
		ニューラルネットワーク	2①	2		○				○			
		IoTとAI	2①	2		○			○	○	○		
		多変量解析	2③	2		○			○				
		生体情報システム	2④	2		○			○			○	
		モデリングの数理	3①	2		○			○	○	○	○	
		数値解析	3①	2		○			○	○	○	○	○
		AI・自然言語処理	3①	2		○			○	○	○	○	
		AI・推薦システム	3②	2		○				○			
	AI・画像情報処理	3③	2		○				○				
	質的データ分析	3④	2		○			○	○	○	○	○	
	情報エンジニアリングプログラム科目	情報エンジニアリング概論	1④	2		○					○	○	○
		データベース	2①	2		○					○		
		アルゴリズムとデータ構造	2①②通	2		○			○				
		プログラミング	2①②通	2		○			○				
		情報ネットワークとセキュリティ	2③	2		○			○	○			
		ソフトウェア工学	2③	2		○			○	○			
		コンピュータグラフィックス	2④	2		○			○	○			
組み込みシステム		2④	2		○			○					
ヒューマンコンピュータインタラクション		2②	2		○			○					
医療情報システム	3②	2		○			○	○					
モバイルコンピューティング	3③	2		○			○		○				

周南公立大学 情報科学部 カリキュラムマトリクス

《各CP・DPを達成するために特に関連度が高い科目には○》

区分	授業科目名	年次	単位数	CP1 情報科学の基本的な知識、技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置する。データサイエンスプログラムにおいてはデータ分析の基礎となる科目を難易度に応じて年次進行となるように配置する。情報エンジニアリングプログラムにおいてはICTにおける基礎技術、プログラミングのための理論と実践に関する科目を年次進行で配置する。ビジネスアナリティクスプログラムにおいてはビジネスの基礎となる科目、データ取得及び分析に関わる科目、地域社会や企業の抱える諸問題を解決するための科目を配置する。	CP2 基礎領域にはデータ分析と表現・考察に関わる科目を配置する。データサイエンスプログラムには、データを分析する科目やAIに関する科目を配置する。情報エンジニアリングプログラムにはICTの活用を検討する科目を配置する。ビジネスアナリティクスプログラムにはインターネットや金融などの領域においてデータを分析・考察する科目を配置する。	CP3 PBL型授業やキャリア形成支援授業などにより社会問題への協調的な実践力を育む科目及び専門ゼミを配置する。また、各プログラムの高年次には社会実装型の科目を配置する。	CP4 総合科目や情報社会系科目により社会的教養や情報技術と人との関わりを教養として身に付け、実践英語により本学科での学びの国際展開力を身に付ける。卒業研究では地域に関連したテーマを研究することにより、地域社会の生活・産業の持続的な発展に貢献できる素地を身に付ける。	DP1 【知識及び技能】 情報科学の学問内容及び分析手法を深く理解し、地域や社会及び企業の抱える諸問題を解決することができる。	DP2 【思考力・判断力・表現力等】 社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。	DP3 【主体性・多様性・協調性】 社会の諸問題に主体的かつ積極的に関わり、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。	DP4 【地域貢献】 グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。		
専門科目	ビジネスアナリティクスプログラム	ビジネスアナリティクス概論	1④	2		○			○	○			
		感性情報処理	2①	2		○				○			
		最適化モデリング	2②	2		○					○		
		会計情報と経営	2②	2		○					○		
		経営と数理モデル	2③	2		○			○				
		インターネットマーケティング	2④	2		○				○			
		シミュレーション	2④	2		○			○	○	○		
		品質管理とデータ分析	3①	2		○					○		
		マーケティング・リサーチ	3②	2		○			○	○	○	○	○
		フィンテック・ブロックチェーン	3③	2		○			○	○	○	○	○
	金融データ解析	3④	2		○				○	○	○	○	
	演習科目	認知・感性とデータ分析	2③	2			○				○		
		大規模・オープンデータ分析	2④	2			○				○		
		生体情報分析	3①	2			○			○	○		
		専門ゼミ1	3①②通	2			○			○	○	○	○
専門ゼミ2		3③④通	2			○			○	○	○	○	
	卒業研究	4①②③④通	2			○	○	○	○	○	○	○	

科目コード	—	対象学科・ コース	情報科学科	配当学年	2年生以上
要件	情報科学部 情報科学基礎領域選択科目				
授業科目名	大規模・オープンデータ分析		担当形態	オムニバス方式	
	英名 Big Data and Open Data Analysis		担当教員	松村 遼 小柳 淳二、道山 知成	
開講期	Q4	単位数	2単位	授業方法	講義・演習

授業の概要	
<p>近年では、様々な企業や機関により蓄積された種々のデータがオープンデータとして公開されており、これの活用、分析によって課題の発見や解決、意思決定がなされている。本授業では、機械学習や数理最適化、統計解析などの大規模・オープンデータの活用、分析方法について、演習を通じて実践的に修得することを目標とする。授業は複数教員によるオムニバス形式で進行し、各教員が設定するテーマについての概説、演習、プレゼンテーションを通じて理解を深め、大規模・オープンデータ分析に関する実践的能力を養う。加えて、実社会での実装例を学びながら、それらの重要性と社会的な必要性を理解する。</p>	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 大規模・オープンデータがどのようなものか理解できる。 2. 大規模・オープンデータの活用、分析方法について理解できる。 3. 大規模・オープンデータの活用、分析を実践できる。 	
対応するディプロマ・ポリシー	
DP3 情報科学の技術を活かして社会の諸問題に積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元していくことができる。	
教科書	
自作教材	
参考図書・参考資料	
履修上の注意	
【先修条件科目】	
【持参物】 ノートパソコン	
【その他】	

評価の基準・成績評価の方法

到達目標に挙げる 1. 大規模・オープンデータについての理解 2. 大規模・オープンデータの活用、分析方法についての理解 3. 大規模・オープンデータの活用、分析の実践 を以下により評価する。

発表 50%、レポート 50%

担当教員からのメッセージ

【オフィスアワー】 講義のある曜日 不在時はメールで受け付けます。

授業計画

回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	ガイダンス	講義	松村、小柳、道山
2	演習テーマ解説・画像認識および関連技術概説	講義	松村
3	演習：深層学習による画像認識①	演習	松村
4	演習：深層学習による画像認識②	演習	松村
5	演習：深層学習による画像認識③	演習	松村
6	統計データの表示とダウンロード	講義	小柳
7	統計データから各種指標の計算	講義	小柳
8	統計データから検定の実施	講義	小柳
9	統計データからの考察	講義	小柳
10	天文学におけるオープンデータ概要	講義	道山
11	天文学における公開カタログデータの統計解析	演習	道山
12	天文学における公開画像データ概要	講義	道山
13	天文学における公開画像データ解析実践	演習	道山
14	プレゼンテーション	演習	松村、小柳、道山
15	プレゼンテーション	演習	松村、小柳、道山

実務家教員担当科目に関する記載

科目コード	—	対象学科・ コース	情報科学科	配当学年	2年生以上
要件	情報科学部 情報科学基礎領域選択科目				
授業科目名	大規模・オープンデータ分析		担当形態	オムニバス方式	
	英名 Big Data and Open Data Analysis		担当教員	松村 遼 小柳 淳二、道山 知成	
開講期	Q4	単位数	2単位	授業方法	講義・演習

授業の概要	
<p>近年では、様々な企業や機関により蓄積された種々のデータがオープンデータとして公開されており、これの活用、分析によって課題の発見や解決、意思決定がなされている。本授業では、機械学習や数値最適化、統計解析などの大規模・オープンデータの活用、分析方法について、演習を通じて実践的に修得することを目標とする。授業は複数教員によるオムニバス形式で進行し、各教員が設定するテーマについての概説、演習、プレゼンテーションを通じて理解を深め、大規模・オープンデータ分析に関する実践的能力を養う。</p>	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 大規模・オープンデータがどのようなものか理解できる。 2. 大規模・オープンデータの活用、分析方法について理解できる。 3. 大規模・オープンデータの活用、分析を実践できる。 	
対応するディプロマ・ポリシー	
DP3 情報科学の技術を活かして社会の諸問題に積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協動的に還元していくことができる。	
教科書	
自作教材	
参考図書・参考資料	
特になし	
履修上の注意	【先修条件科目】 特になし
	【持参物】 ノートパソコン
	【その他】 特になし

評価の基準・成績評価の方法

到達目標に挙げる 1. 大規模・オープンデータについての理解 2. 大規模・オープンデータの活用、分析方法についての理解 3. 大規模・オープンデータの活用、分析の実践 を以下により評価する。

発表 50%、レポート 50%

担当教員からのメッセージ

事前学習、事後学習の時間：あわせて90分程度。

【オフィスアワー】講義のある曜日 不在時はメールで受け付けます。

授業計画

回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	ガイダンス	講義	松村、小柳、道山
2	演習テーマ解説・画像認識および関連技術概説	講義	松村
3	演習：深層学習による画像認識①	演習	松村
4	演習：深層学習による画像認識②	演習	松村
5	演習：深層学習による画像認識③	演習	松村
6	統計データの表示とダウンロード	講義	小柳
7	統計データから各種指標の計算	講義	小柳
8	統計データから検定の実施	講義	小柳
9	統計データからの考察	講義	小柳
10	天文学におけるオープンデータ概要	講義	道山
11	天文学における公開カタログデータの統計解析	演習	道山
12	天文学における公開画像データ概要	講義	道山
13	天文学における公開画像データ解析実践	演習	道山
14	プレゼンテーション	演習	松村、小柳、道山
15	プレゼンテーション	演習	松村、小柳、道山

実務家教員担当科目に関する記載

--

科目コード	—	対象学科・ コース	情報科学科	配当学年	3年生以上
要件	情報科学部 演習科目 選択科目				
授業科目名	生体情報分析		担当形態	オムニバス	
	英名 Biological Information Analysis		担当教員	日置 智子 酒井 徹也	
開講期	Q1	単位数	2単位	授業方法	講義・演習

授業の概要	
<p>本授業では、ヒトの生体信号の計測およびデータ処理の手順とデータの分析方法について実践的に学ぶ。ヒトの様々な生体信号を適切に分析し、グループでのディスカッションを通じて分析結果をまとめ、最終的にプレゼンテーションを行うことで、課題解決につなげる能力を身に付けることを目標とする。加えて、実社会での実装例を学びながら、それらの重要性と社会的な必要性を理解する。授業は複数教員によるオムニバス科目として進行する。</p>	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 生体信号計測の基本的な手法を理解し、説明できる。 2. 得られた生体信号データを適切に処理し、分析することができる。 3. 生体信号データの分析結果についてまとめ、発表することができる。 	
対応するディプロマ・ポリシー	
<p>DP2 社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。</p> <p>DP3 情報科学の技術を活かして社会の諸問題に積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協動的に還元していくことができる。</p>	
教科書	
<p>特に指定しない。</p> <p>授業中に適宜資料を配布する。</p>	
参考図書・参考資料	
<p>『歩行と走行の脳・神経科学 - その基礎から臨床まで - 』大築立志ほか編著（市村出版）</p> <p>『カンデル神経科学 第2版』宮下保司監修(メディカルサイエンスインターナショナル)</p> <p>その他、適宜紹介する。</p>	
履修上の注意	【先修条件科目】 生体情報システム
	【持参物】 ノートパソコン
	【その他】

評価の基準・成績評価の方法

1. 生体信号計測の基本的な手法、2. 生体信号データの処理方法、3. 生体信号データの分析
上記1.～3.に関する理解度を以下の「学生に対する評価」により評価する。

発表 60%、課題レポート 30%、ディスカッション・質疑応答における発言 10%

担当教員からのメッセージ

授業に参加するにあたっては、「生体情報システム」の内容をよく復習しておいてください。授業終了後には、授業時に配布した資料の重要箇所の再確認を行い(復習・30分程度)、次回の「授業の内容」を参照し、参考書等の該当箇所をよく読んでおきましょう(予習・30分程度)。

【オフィスアワー】講義のある曜日 不在時はメールで受け付けます。

授業計画

回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	ガイダンス	講義	日置
2	運動計測およびデータ分析の概要	講義	日置
3	基本的な運動の計測	講義・演習	日置
4	運動計測データの処理	講義・演習	日置
5	運動計測データの分析	講義・演習	日置
6	ディスカッション	講義・演習	日置
7	分析結果のまとめ	演習	日置
8	プレゼンテーション	演習	日置
9	非侵襲生体計測装置の測定原理と測定試行	講義・演習	日置
10	諸要因を変化させた条件下での測定実践	講義・演習	日置
11	データの統計的処理の方法	講義・演習	酒井
12	測定データの分析	講義・演習	酒井
13	ディスカッション	講義・演習	酒井
14	分析結果のまとめ	演習	酒井
15	プレゼンテーション	演習	酒井

実務家教員担当科目に関する記載

科目コード	—	対象学科・ コース	情報科学科	配当学年	3年生以上
要件	情報科学部 演習科目 選択科目				
授業科目名	生体情報分析		担当形態	オムニバス方式	
	英名 Biological Information Analysis		担当教員	日置 智子 酒井 徹也	
開講期	Q1	単位数	2単位	授業方法	講義・演習

授業の概要	
<p>本授業では、ヒトの生体信号の計測およびデータ処理の手順とデータの分析方法について実践的に学ぶ。ヒトの様々な生体信号を適切に分析し、グループでのディスカッションを通じて分析結果をまとめ、最終的にプレゼンテーションを行うことで、課題解決につなげる能力を身に付けることを目標とする。授業は複数教員によるオムニバス科目として進行する。</p>	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 生体信号計測の基本的な手法を理解し、説明できる。 2. 得られた生体信号データを適切に処理し、分析することができる。 3. 生体信号データの分析結果についてまとめ、発表することができる。 	
対応するディプロマ・ポリシー	
<p>DP2 社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。</p> <p>DP3 情報科学の技術を活かして社会の諸問題に積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元していくことができる。</p>	
教科書	
<p>特に指定しない。</p> <p>授業中に適宜資料を配布する。</p>	
参考図書・参考資料	
<p>『歩行と走行の脳・神経科学 - その基礎から臨床まで - 』大築立志ほか編著（市村出版）</p> <p>『カンデル神経科学 第2版』宮下保司監修(メディカルサイエンスインターナショナル)</p> <p>その他、適宜紹介する。</p>	
履修上の注意	【先修条件科目】 生体情報システム
	【持参物】 ノートパソコン
	【その他】 特になし

評価の基準・成績評価の方法

1. 生体信号計測の基本的な手法、2. 生体信号データの処理方法、3. 生体信号データの分析
上記1.～3.に関する理解度を以下の「学生に対する評価」により評価する。

発表 60%、課題レポート 30%、ディスカッション・質疑応答における発言 10%

担当教員からのメッセージ

授業に参加するにあたっては、「生体情報システム」の内容をよく復習しておいてください。授業終了後には、授業時に配布した資料の重要箇所の再確認を行い(復習・45分程度)、次回の「授業の内容」を参照し、参考書等の該当箇所をよく読んでおきましょう(予習・45分程度)。

【オフィスアワー】講義のある曜日 不在時はメールで受け付けます。

授業計画

回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	ガイダンス	講義	日置
2	運動計測およびデータ分析の概要	講義	日置
3	基本的な運動の計測	講義・演習	日置
4	運動計測データの処理	講義・演習	日置
5	運動計測データの分析	講義・演習	日置
6	ディスカッション	講義・演習	日置
7	分析結果のまとめ	演習	日置
8	プレゼンテーション	演習	日置
9	非侵襲生体計測装置の測定原理と測定試行	講義・演習	日置
10	諸要因を変化させた条件下での測定実践	講義・演習	日置
11	データの統計的処理の方法	講義・演習	酒井
12	測定データの分析	講義・演習	酒井
13	ディスカッション	講義・演習	酒井
14	分析結果のまとめ	演習	酒井
15	プレゼンテーション	演習	酒井

実務家教員担当科目に関する記載

科目コード	—	対象学科・ コース	情報科学科	配当学年	3年生以上
要件	情報科学部 専門科目演習科目 必修科目				
授業科目名	専門ゼミ1	担当形態	共同		
	英名 Specialized Seminar 1	担当教員	木島正明、野村典文、矢島安敏、橋本喜代太、小柳淳二、土屋敏夫、内田善彦、羽瀨由子、呉靱、高藤大介、児玉満、立部文崇、酒井徹也、松村遼、日置智子、道山知成		
開講期	Q1、Q2	単位数	2単位	授業方法	演習

授業の概要	
<p>専門ゼミは卒業論文を作成するための準備として位置付けられ、担当教員の指導の下、文献検索や論文・専門書の輪読、実データの分析や必要なプログラミングについて学ぶ。専門ゼミ1では、受講生は興味を持った研究トピックに関連する論文・専門書を読み、ディスカッションを通して卒業論文の執筆につながる基礎知識やスキルを習得する。加えて、実社会での実装例を学びながら、それらの重要性と社会的な必要性を理解する。文献講読では、①要点、②評価、③語句説明等を含めたレジュメを作成し報告を行う。報告者以外の受講生もディスカッションに参加し、質問や意見を述べて理解を深める。</p>	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報科学の理論と技術を駆使して、高次元データを収集・処理するための知識と能力の獲得。 2. 実データを効率的に処理するためのプログラミング能力の獲得。 3. 多様化・複雑化した情報社会における課題に対して、最適なソリューションを導く能力の獲得。 	
対応するディプロマ・ポリシー	
<p>DP2 社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。</p> <p>DP3 情報科学の技術を活かして社会の諸問題に積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。</p> <p>DP4 グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。</p>	
教科書	
指定しない。担当教員の指示に従って下さい。	
参考図書・参考資料	
指定しない。担当教員の指示に従って下さい。	
履修上の注意	【先修条件科目】2年次までの必修科目（基礎領域および選択プログラム）の履修
	【持参物】必携パソコン
	【その他】

評価の基準・成績評価の方法

プレゼンテーション、ディスカッションへの参加、およびレポート

担当教員からのメッセージ

大学での学びの集大成である卒業論文の執筆に向けて、自らの興味・関心・問題意識に基づいてテーマを設定し研究計画を立案します。主体的・自律的な取組みを期待します。

授業計画

回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	オリエンテーション、テーマ設定、文献検索	演習	木島正明
2	テーマ設定、文献検索、論文・専門書の輪読	演習	野村典文
3	論文・専門書の輪読	演習	矢島安敏
4	論文・専門書の輪読	演習	橋本喜代太
5	論文・専門書の輪読	演習	小柳淳二
6	論文・専門書の輪読	演習	土屋敏夫
7	論文・専門書の輪読	演習	内田善彦
8	テーマの確認・再設定、文献検索	演習	羽瀨由子
9	文献検索、論文・専門書の輪読	演習	呉靱
10	論文・専門書の輪読	演習	高藤大介
11	論文・専門書の輪読	演習	児玉満
12	データ収集、プログラミングの学習	演習	立部文崇
13	データ作成、プログラミングの学習	演習	酒井徹也
14	データ分析、分析結果の解釈・説明	演習	松村遼
15	研究成果のまとめ	演習	日置智子 道山知成

実務家教員担当科目に関する記載

野村 典文

企業でのシステム開発、ビジネスコンサルティング、システムコンサルティングの実務経験や国立大学で教育・研究に従事してきた教員が、そこでの経験を生かしてコンピュータサイエンス、データベース、ソフトウェア工学に関する実践的な知識を身に付けさせる。

矢島 安敏

企業におけるデータ活用のコンサルティングサービスに従事してきた教員が、そこでの経験を生かして実社会におけるデータ活用の知識を身に付けさせる。

科目コード	—	対象学科・ コース	情報科学科	配当学年	3年生以上
要件	情報科学部 専門科目演習科目 必修科目				
授業科目名	専門ゼミ1	担当形態	共同		
	英名 Specialized Seminar 1	担当教員	木島正明、野村典文、矢島安敏、橋本喜代太、小柳淳二、土屋敏夫、内田善彦、羽瀨由子、呉靱、高藤大介、児玉満、立部文崇、酒井徹也、松村遼、日置智子、道山知成		
開講期	Q1、Q2	単位数	2単位	授業方法	演習

授業の概要	
<p>専門ゼミは卒業論文を作成するための準備として位置付けられ、担当教員の指導の下、文献検索や論文・専門書の輪読、実データの分析や必要なプログラミングについて学ぶ。専門ゼミ1では、受講生は興味を持った研究トピックに関連する論文・専門書を読み、ディスカッションを通して卒業論文の執筆につながる基礎知識やスキルを習得する。文献講読では、①要点、②評価、③語句説明等を含めたレジュメを作成し報告を行う。報告者以外の受講生もディスカッションに参加し、質問や意見を述べて理解を深める。</p>	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報科学の理論と技術を駆使して、高次元データを収集・処理するための知識と能力の獲得。 2. 実データを効率的に処理するためのプログラミング能力の獲得。 3. 多様化・複雑化した情報社会における課題に対して、最適なソリューションを導く能力の獲得。 	
対応するディプロマ・ポリシー	
<p>DP2 社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。</p> <p>DP3 情報科学の技術を活かして社会の諸問題に積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。</p> <p>DP4 グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。</p>	
教科書	
指定しない。担当教員の指示に従って下さい。	
参考図書・参考資料	
指定しない。担当教員の指示に従って下さい。	
履修上の注意	<p>【先修条件科目】2年次までの必修科目（基礎領域および選択プログラム）の履修</p> <p>【持参物】必携パソコン</p> <p>【その他】</p>

評価の基準・成績評価の方法
プレゼンテーション、ディスカッションへの参加、およびレポート

担当教員からのメッセージ
大学での学びの集大成である卒業論文の執筆に向けて、自らの興味・関心・問題意識に基づいてテーマを設定し研究計画を立案します。主体的・自律的な取組みを期待します。事前学習、事後学習の時間：あわせて90分程度。【オフィスアワー】講義のある曜日 不在時はメールで受け付けます。

授業計画			
回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	オリエンテーション、テーマ設定、文献検索	演習	木島正明
2	テーマ設定、文献検索、論文・専門書の輪読	演習	野村典文
3	論文・専門書の輪読	演習	矢島安敏
4	論文・専門書の輪読	演習	橋本喜代太
5	論文・専門書の輪読	演習	小柳淳二
6	論文・専門書の輪読	演習	土屋敏夫
7	論文・専門書の輪読	演習	内田善彦
8	テーマの確認・再設定、文献検索	演習	羽瀨由子
9	文献検索、論文・専門書の輪読	演習	呉靱
10	論文・専門書の輪読	演習	高藤大介
11	論文・専門書の輪読	演習	児玉満
12	データ収集、プログラミングの学習	演習	立部文崇
13	データ作成、プログラミングの学習	演習	酒井徹也
14	データ分析、分析結果の解釈・説明	演習	松村遼
15	研究成果のまとめ	演習	日置智子 道山知成

実務家教員担当科目に関する記載
<p>野村 典文</p> <p>企業でのシステム開発、ビジネスコンサルティング、システムコンサルティングの実務経験や国立大学で教育・研究に従事してきた教員が、そこでの経験を生かしてコンピュータサイエンス、データベース、ソフトウェア工学に関する実践的な知識を身に付けさせる。</p> <p>矢島 安敏</p> <p>企業におけるデータ活用のコンサルティングサービスに従事してきた教員が、そこでの経験を生かして実社会におけるデータ活用の知識を身に付けさせる。</p>

科目コード	—	対象学科・ コース	情報科学科	配当学年	3年生以上
要件	情報科学部 専門科目演習科目 必修科目				
授業科目名	専門ゼミ2	担当形態	共同		
	英名 Specialized Seminar 2	担当教員	木島正明、野村典文、矢島安敏、橋本喜代太、小柳淳二、土屋敏夫、内田善彦、羽瀧由子、呉靱、高藤大介、児玉満、立部文崇、酒井徹也、松村遼、日置智子、道山知成		
開講期	Q3、Q4	単位数	2単位	授業方法	演習

授業の概要	
<p>専門ゼミは卒業論文を作成するための準備として位置付けられ、担当教員の指導の下、文献検索や論文・専門書の講読、実データの分析や必要なプログラミングについて学ぶ。専門ゼミ2では、引き続き文献講読も行うが、卒業研究に向けた準備のため、データの取得、データ分析に合致した手法およびプログラミングの学習に重点が置かれる。また、研究事例の報告を通して、文献の検索・収集の方法や、研究の進め方やまとめ方、発表方法を実践的に学ぶ。加えて、実社会での実装例を学びながら、それらの重要性と社会的な必要性を理解する。</p>	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報科学の理論と技術を駆使して、高次元データを収集・処理するための知識と能力の獲得。 2. 実データを効率的に処理するためのプログラミング能力の獲得。 3. 多様化・複雑化した情報社会における課題に対して、最適なソリューションを導く能力の獲得。 	
対応するディプロマ・ポリシー	
<p>DP2 社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。</p> <p>DP3 情報科学の技術を活かして社会の諸問題に積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。</p> <p>DP4 グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。</p>	
教科書	
指定しない。担当教員の指示に従って下さい。	
参考図書・参考資料	
指定しない。担当教員の指示に従って下さい。	
履修上の注意	【先修条件科目】 専門ゼミ1
	【持参物】 必携パソコン
	【その他】 特になし
評価の基準・成績評価の方法	

プレゼンテーション、ディスカッションへの参加、およびレポート

担当教員からのメッセージ

大学での学びの集大成である卒業論文の執筆に向けて、自らの興味・関心・問題意識に基づいてテーマを設定し研究計画を立案します。主体的・自律的な取組みを期待します。

授業計画

回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	オリエンテーション、テーマ設定、文献検索	演習	木島正明
2	文献検索、論文・専門書の講読	演習	野村典文
3	論文・専門書の講読	演習	矢島安敏
4	論文・専門書の講読	演習	橋本喜代太
5	論文・専門書の講読	演習	小柳淳二
6	データ収集、プログラミング	演習	土屋敏夫
7	データ作成、プログラミング	演習	内田善彦
8	プログラミング、データ分析、文献検索	演習	羽瀨由子
9	プログラミング、データ分析、論文・専門書の講読	演習	呉靱
10	分析結果の解釈・説明	演習	高藤大介
11	文献検索、論文・専門書の講読	演習	児玉満
12	データ収集、プログラミング	演習	立部文崇
13	データ作成、プログラミング	演習	酒井徹也
14	データ分析、分析結果の解釈・説明、論文・専門書の講読	演習	松村遼
15	研究成果のまとめ	演習	日置智子 道山知成

実務家教員担当科目に関する記載

野村 典文

企業でのシステム開発、ビジネスコンサルティング、システムコンサルティングの実務経験や国立大学で教育・研究に従事してきた教員が、そこでの経験を生かしてコンピュータサイエンス、データベース、ソフトウェア工学に関する実践的な知識を身に付けさせる。

矢島 安敏

企業におけるデータ活用のコンサルティングサービスに従事してきた教員が、そこでの経験を生かして実社会におけるデータ活用の知識を身に付けさせる。

科目コード	—	対象学科・ コース	情報科学科	配当学年	3年生以上
要件	情報科学部 専門科目演習科目 必修科目				
授業科目名	専門ゼミ2	担当形態	共同		
	英名 Specialized Seminar 2	担当教員	木島正明、野村典文、矢島安敏、橋本喜代太、小柳淳二、土屋敏夫、内田善彦、羽瀧由子、呉靱、高藤大介、児玉満、立部文崇、酒井徹也、松村遼、日置智子、道山知成		
開講期	Q3、Q4	単位数	2単位	授業方法	演習

授業の概要	
<p>専門ゼミは卒業論文を作成するための準備として位置付けられ、担当教員の指導の下、文献検索や論文・専門書の講読、実データの分析や必要なプログラミングについて学ぶ。専門ゼミ2では、引き続き文献講読も行うが、卒業研究に向けた準備のため、データの取得、データ分析に合致した手法およびプログラミングの学習に重点が置かれる。また、研究事例の報告を通して、文献の検索・収集の方法や、研究の進め方やまとめ方、発表方法を実践的に学ぶ。</p>	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報科学の理論と技術を駆使して、高次元データを収集・処理するための知識と能力の獲得。 2. 実データを効率的に処理するためのプログラミング能力の獲得。 3. 多様化・複雑化した情報社会における課題に対して、最適なソリューションを導く能力の獲得。 	
対応するディプロマ・ポリシー	
<p>DP2 社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。</p> <p>DP3 情報科学の技術を活かして社会の諸問題に積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。</p> <p>DP4 グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。</p>	
教科書	
指定しない。担当教員の指示に従って下さい。	
参考図書・参考資料	
指定しない。担当教員の指示に従って下さい。	
履修上の注意	【先修条件科目】 専門ゼミ1
	【持参物】 必携パソコン
	【その他】 特になし
評価の基準・成績評価の方法	

プレゼンテーション、ディスカッションへの参加、およびレポート

担当教員からのメッセージ

大学での学びの集大成である卒業論文の執筆に向けて、自らの興味・関心・問題意識に基づいてテーマを設定し研究計画を立案します。主体的・自律的な取組みを期待します。事前学習、事後学習の時間：あわせて90分程度。【オフィスアワー】講義のある曜日 不在時はメールで受け付けます。

授業計画

回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	オリエンテーション、テーマ設定、文献検索	演習	木島正明
2	文献検索、論文・専門書の講読	演習	野村典文
3	論文・専門書の講読	演習	矢島安敏
4	論文・専門書の講読	演習	橋本喜代太
5	論文・専門書の講読	演習	小柳淳二
6	データ収集、プログラミング	演習	土屋敏夫
7	データ作成、プログラミング	演習	内田善彦
8	プログラミング、データ分析、文献検索	演習	羽瀨由子
9	プログラミング、データ分析、論文・専門書の講読	演習	呉靱
10	分析結果の解釈・説明	演習	高藤大介
11	文献検索、論文・専門書の講読	演習	児玉満
12	データ収集、プログラミング	演習	立部文崇
13	データ作成、プログラミング	演習	酒井徹也
14	データ分析、分析結果の解釈・説明、論文・専門書の講読	演習	松村遼
15	研究成果のまとめ	演習	日置智子 道山知成

実務家教員担当科目に関する記載

野村 典文

企業でのシステム開発、ビジネスコンサルティング、システムコンサルティングの実務経験や国立大学で教育・研究に従事してきた教員が、そこでの経験を生かしてコンピュータサイエンス、データベース、ソフトウェア工学に関する実践的な知識を身に付けさせる。

矢島 安敏

企業におけるデータ活用のコンサルティングサービスに従事してきた教員が、そこでの経験を生かして実社会におけるデータ活用の知識を身に付けさせる。

科目コード	—	対象学科・ コース	情報科学科	配当学年	4年生以上
要件	情報科学部 専門科目演習科目 必修科目				
授業科目名	卒業研究		担当形態	共同	
	英名 Senior Research		担当教員	木島正明、野村典文、矢島安敏、橋本喜代太、小柳淳二、土屋敏夫、内田善彦、羽瀧由子、呉靱、高藤大介、児玉満、立部文崇、酒井徹也、松村遼、日置智子、道山知成	
開講期	通年	単位数	4単位	授業方法	演習

授業の概要	
<p>卒業研究は卒業論文を作成するための授業であり、担当教員の指導の下、研究テーマを設定し、必要な文献（論文や専門書）の講読、実データの分析や必要なプログラミングについて学ぶ。卒業研究は学生個々人の主体的・自律的な取り組みであるが、前期は専門ゼミ同様に文献講読や卒業研究のテーマに沿った準備学習も行う。一方、後期の授業では自身が取り組んだ研究成果の進捗状況を報告し、指導教員および授業参加者との議論を通して研究内容をブラッシュアップしていく。研究成果の報告を通して、研究の進め方やまとめ方、発表方法を実践的に学ぶ。加えて、実社会での実装例を学びながら、それらの重要性と社会的な必要性を理解する。</p>	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報科学の理論と技術を駆使して、高次元データを収集・処理するための知識と能力の獲得。 2. 実データを効率的に処理するためのプログラミング能力の獲得。 3. 多様化・複雑化した情報社会における課題に対して、最適なソリューションを導く能力の獲得。 	
対応するディプロマ・ポリシー	
DP1	情報科学の学問内容および分析手法を深く理解し、地域や社会および企業の抱える諸問題を解決することができる。
DP2	社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。
DP3	情報科学の技術を活かして社会の諸問題に積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。
DP4	グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。
教科書	
指定しない。担当教員の指示に従って下さい。	
参考図書・参考資料	
指定しない。担当教員の指示に従って下さい。	
履修上の注意	【先修条件科目】 専門ゼミ1、専門ゼミ2
	【持参物】 必携パソコン

	【その他】
評価の基準・成績評価の方法	
プレゼンテーション、ディスカッションへの参加、報告内容およびレポート	

担当教員からのメッセージ	
大学での学びの集大成である卒業論文の執筆に向けて、自らの興味・関心・問題意識に基づいてテーマを設定し研究計画を立案します。主体的・自律的な取組みを期待します。	

授業計画			
回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	オリエンテーション、テーマ設定、文献検索	演習	木島正明 野村典文 矢島安敏 橋本喜代太 小柳淳二 土屋敏夫 内田善彦 羽瀨由子 呉靱 高藤大介 児玉満 立部文崇 酒井徹也 松村遼 日置智子 道山知成
2	文献検索、論文・専門書の講読	演習	
3	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
4	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
5	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
6	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
7	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
8	研究の進捗状況の報告 1	演習	
9	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
10	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
11	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
12	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
13	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
14	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
15	研究の進捗状況の報告 2	演習	
16	途中結果の検証、テーマの再設定、文献検索	演習	
17	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
18	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
19	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
20	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
21	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
22	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
23	研究の進捗状況の報告 3	演習	
24	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
25	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
26	研究の進捗状況の報告 4	演習	
27	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
28	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
29	研究の進捗状況の報告 5	演習	

30	まとめと研究報告	演習	
実務家教員担当科目に関する記載			
<p>野村 典文 企業でのシステム開発、ビジネスコンサルティング、システムコンサルティングの実務経験や国立大学で教育・研究に従事してきた教員が、そこでの経験を生かしてコンピュータサイエンス、データベース、ソフトウェア工学に関する実践的な知識を身に付けさせる。</p> <p>矢島 安敏 企業におけるデータ活用のコンサルティングサービスに従事してきた教員が、そこでの経験を生かして実社会におけるデータ活用の知識を身に付けさせる。</p>			

科目コード	—	対象学科・ コース	情報科学科	配当学年	4年生以上
要件	情報科学部 専門科目演習科目 必修科目				
授業科目名	卒業研究		担当形態	共同	
	英名 Senior Research		担当教員	木島正明、野村典文、矢島安敏、橋本喜代太、小柳淳二、土屋敏夫、内田善彦、羽瀨由子、呉靱、高藤大介、児玉満、立部文崇、酒井徹也、松村遼、日置智子、道山知成	
開講期	通年	単位数	4単位	授業方法	演習

授業の概要	
<p>卒業研究は卒業論文を作成するための授業であり、担当教員の指導の下、研究テーマを設定し、必要な文献（論文や専門書）の講読、実データの分析や必要なプログラミングについて学ぶ。卒業研究は学生個々人の主体的・自律的な取り組みであるが、前期は専門ゼミ同様に文献講読や卒業研究のテーマに沿った準備学習も行う。一方、後期の授業では自身が取り組んだ研究成果の進捗状況を報告し、指導教員および授業参加者との議論を通して研究内容をブラッシュアップしていく。研究成果の報告を通して、研究の進め方やまとめ方、発表方法を実践的に学ぶ。</p>	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報科学の理論と技術を駆使して、高次元データを収集・処理するための知識と能力の獲得。 2. 実データを効率的に処理するためのプログラミング能力の獲得。 3. 多様化・複雑化した情報社会における課題に対して、最適なソリューションを導く能力の獲得。 	
対応するディプロマ・ポリシー	
<p>DP1 情報科学の学問内容および分析手法を深く理解し、地域や社会および企業の抱える諸問題を解決することができる。</p> <p>DP2 社会の諸問題に対して、情報科学の方法論を用いて分析・考察し、データ及び結果を視覚化して表現することができる。</p> <p>DP3 情報科学の技術を活かして社会の諸問題に積極的に取り組み、得られた成果を社会生活に効果的・協調的に還元することができる。</p> <p>DP4 グローバルな視野をもって地域を見つめ、豊かな教養を生かして、地域の持続的な発展に貢献できる。</p>	
教科書	
指定しない。担当教員の指示に従って下さい。	
参考図書・参考資料	
指定しない。担当教員の指示に従って下さい。	
履修上の注意	【先修条件科目】 専門ゼミ1、専門ゼミ2
	【持参物】 必携パソコン
	【その他】 特になし

評価の基準・成績評価の方法
プレゼンテーション、ディスカッションへの参加、報告内容およびレポート

担当教員からのメッセージ
大学での学びの集大成である卒業論文の執筆に向けて、自らの興味・関心・問題意識に基づいてテーマを設定し研究計画を立案します。主体的・自律的な取組みを期待します。事前学習、事後学習の時間：あわせて90分程度。【オフィスアワー】講義のある曜日 不在時はメールで受け付けます。

授業計画			
回	授業の内容	授業方法	担当教員
1	オリエンテーション、テーマ設定、文献検索	演習	木島正明 野村典文 矢島安敏 橋本喜代太 小柳淳二 土屋敏夫 内田善彦 羽瀨由子 呉靱 高藤大介 児玉満 立部文崇 酒井徹也 松村遼 日置智子 道山知成
2	文献検索、論文・専門書の講読	演習	
3	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
4	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
5	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
6	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
7	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
8	研究の進捗状況の報告 1	演習	
9	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
10	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
11	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
12	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
13	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
14	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
15	研究の進捗状況の報告 2	演習	
16	途中結果の検証、テーマの再設定、文献検索	演習	
17	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
18	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
19	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
20	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
21	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
22	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
23	研究の進捗状況の報告 3	演習	
24	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
25	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
26	研究の進捗状況の報告 4	演習	
27	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
28	論文・専門書の講読、データ分析手法・プログラミングの学習	演習	
29	研究の進捗状況の報告 5	演習	
30	まとめと研究報告	演習	

実務家教員担当科目に関する記載

野村 典文

企業でのシステム開発、ビジネスコンサルティング、システムコンサルティングの実務経験や国立大学で教育・研究に従事してきた教員が、そこでの経験を生かしてコンピュータサイエンス、データベース、ソフトウェア工学に関する実践的な知識を身に付けさせる。

矢島 安敏

企業におけるデータ活用のコンサルティングサービスに従事してきた教員が、そこでの経験を生かして実社会におけるデータ活用の知識を身に付けさせる。

履修モデル データサイエンスプログラム

赤:必修 青:選択必修 黒:選択 ():単位数

※1 プログラム専門科目の必修扱い
※2 実践英語3科目のうち2科目を選択必修

		1年次(40単位)		2年次(42単位)		3年次(38単位)		4年次(6単位)	
		前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	卒業研究 (4)	
総合科目		教養ゼミ (2) Python入門 (2) 教養スポーツ実習Ⅰ (1) コミュニケーション英語Ⅰ (1) キャリア形成活動Ⅰ (2) ※通年 周南Well-being入門 (2)	情報倫理 (2) コミュニケーション英語Ⅱ (1) 健康とスポーツ (2) 人の健康生活 (1)	周南Well-being創生論 (2) 情報社会論 (2) コミュニケーション英語Ⅲ (1)	コミュニケーション英語Ⅳ (1)				
	学部基礎領域科目	情報科学概論 (2) 計算機概論 (2) 実社会とデータ分析 (2) Python応用 (2) データ分析基礎 (2)	地方創生とDX (2) VBAプログラミング (2) 線形代数基礎 (2) 微積分基礎 (2) データの可視化 (2)	AI・機械学習基礎 (2) 確率統計基礎 (2) Javaプログラミング (2) 言語情報学 (2)	実践英語 (AI) (2) ※2 実践英語 (数学) (2) ※2	実践英語 (情報) (2) ※2 社会調査法 (2) 情報行動心理学 (2)	コーパス言語学 (2) AI、コンピュータと人間 (2)		
データサイエンス プログラム科目			データサイエンス概論 (2) ※1	ニューラルネットワーク (2) ※1 IoTとAI (2) ※1	多変量解析 (2) ※1 生体情報システム (2)	モデリングの数理 (2) 数値解析 (2) AI・自然言語処理 (2) AI・推薦システム (2)	AI・画像情報処理 (2) 質的データ分析 (2)		
演習科目					認知・感性とデータ分析 (2)	生体情報分析 (2) 専門ゼミ1 (2)	専門ゼミ2 (2)		
他プログラム 他学部科目			データベース (2) 感性情報処理 (2) 会計情報と経営 (2)		ソフトウェア工学 (2) 情報ネットワークとセキュリティ (2) 組み込みシステム (2) インターネットマーケティング (2)	品質管理とデータ分析 (2) 医療情報システム (2)	フィンテック・ブロックチェーン (2) モバイルコンピューティング (2) 金融データ解析 (2)		
		地域観光まちづくり論 (2)	※他学部科目					保健医療と福祉 (2) ※他学部科目	

卒業要件:全学共通の総合科目から必修科目19単位、専門科目のうち情報科学部基礎領域科目から16単位、実践英語4単位(3科目から2科目選択必修)、演習科目から8単位、主プログラムから8単位(選択必修)、合計で最低55単位の必修科目を習得する。残りの69単位は主プログラムから14単位(選択必修)、他学科で開講された専門科目を4単位以上選択科目として修得、主プログラムとしない選択科目から合わせて36単位以上修得する。(CAP制:各年次48単位の履修上限単位を設定、履修上限単位を半期24単位)合計124単位以上修得。

履修モデル 情報エンジニアリングプログラム

赤:必修 青:選択必修 黒:選択 ():単位数

※1 プログラム専門科目の必修扱い
※2 実践英語3科目のうち2科目を選択必修

		1年次(40単位)		2年次(42単位)		3年次(36単位)		4年次(6単位)
		前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	卒業研究 (4)
総合科目		教養ゼミ (2) Python入門 (2) 教養スポーツ実習Ⅰ (1) コミュニケーション英語Ⅰ (1) キャリア形成活動Ⅰ (2) ※通年 周南Well-being入門 (2)	情報倫理 (2) コミュニケーション英語Ⅱ (1) 健康とスポーツ (2) 人の健康生活 (1)	周南Well-being創生論 (2) 情報社会論 (2) コミュニケーション英語Ⅲ (1)	コミュニケーション英語Ⅳ (1)			
	学部基礎領域科目	情報科学概論 (2) 計算機概論 (2) 実社会とデータ分析 (2) Python応用 (2) データ分析基礎 (2)	地方創生とDX (2) VBAプログラミング (2) 線形代数基礎 (2) 微分積分基礎 (2) データの可視化 (2)	AI・機械学習基礎 (2) 確率統計基礎 (2) Javaプログラミング (2) 言語情報学 (2)	実践英語 (AI) (2) ※2 実践英語 (数学) (2) ※2	実践英語 (情報) (2) ※2 社会調査法 (2) 情報行動心理学 (2)	コーパス言語学 (2) AI、コンピュータと人間 (2)	
情報エンジニアリングプログラム科目			情報エンジニアリング概論 (2) ※1	データベース (2) ※1 アルゴリズムとデータ構造 (2) ※1 プログラミング (2) ※1	ソフトウェア工学 (2) 情報ネットワークとセキュリティ (2) コンピュータグラフィックス (2) 組み込みシステム (2)	ヒューマンコンピュータインタラクション (2) 医療情報システム (2)	モバイルコンピューティング (2)	
	演習科目				認知・感性とデータ分析 (2) 大規模・オープンデータ分析 (2)	生体情報分析 (2) 専門ゼミ1 (2)	専門ゼミ2 (2)	
他プログラム・他学部科目				ニューラルネットワーク (2) IoTとAI (2)	生体情報システム (2)	AI・自然言語処理 (2) AI・推薦システム (2) 品質管理とデータ分析 (2) マーケティング・リサーチ (2)	AI・画像情報処理 (2) フィンテック・ブロックチェーン (2) 金融データ解析 (2)	
		地域観光まちづくり論 (2)	※他学部科目				保健医療と福祉 (2) ※他学部科目	

卒業要件:全学共通の総合科目から必修科目19単位、専門科目のうち情報科学部基礎領域科目から16単位、実践英語4単位(3科目から2科目選択必修)、演習科目から8単位、主プログラムから8単位(選択必修)、合計で最低55単位の必修科目を習得する。残りの69単位は主プログラムから14単位(選択必修)、他学科で開講された専門科目を4単位以上選択科目として修得、主プログラムとしない選択科目から合わせて36単位以上修得する。(CAP制:各年次48単位の履修上限単位を設定、履修上限単位を半期24単位)合計124単位以上修得。

履修モデル ビジネスアナリティクスプログラム

赤:必修 青:選択必修 黒:選択 ():単位数

※1 プログラム専門科目の必修扱い
※2 実践英語3科目のうち2科目を選択必修

		1年次(40単位)		2年次(42単位)		3年次(36単位)		4年次(6単位)
		前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	卒業研究 (4)
総合科目		教養ゼミ (2) Python入門 (2) 教養スポーツ実習Ⅰ (1) コミュニケーション英語Ⅰ (1) キャリア形成活動Ⅰ (2) ※通年 周南Well-being入門 (2)	情報倫理 (2) コミュニケーション英語Ⅱ (1) 健康とスポーツ (2) 人の健康生活 (1)	周南Well-being創生論 (2) 情報社会論 (2) コミュニケーション英語Ⅲ (1)	コミュニケーション英語Ⅳ (1)			
	学部基礎領域科目	情報科学概論 (2) 計算機概論 (2) 実社会とデータ分析 (2) Python応用 (2) データ分析基礎 (2)	地方創生とDX (2) VBAプログラミング (2) 線形代数基礎 (2) 微分積分基礎 (2) データの可視化 (2)	AI・機械学習基礎 (2) 確率統計基礎 (2) Javaプログラミング (2) 言語情報学 (2)	実践英語 (AI) (2) ※2 実践英語 (数学) (2) ※2	実践英語 (情報) (2) ※2 社会調査法 (2) 情報行動心理学 (2)	コーパス言語学 (2) AI、コンピュータと人間 (2)	
ビジネスアナリティクスプログラム科目			ビジネスアナリティクス概論 (2) ※1	感性情報処理 (2) 最適化モデリング (2) ※1 会計情報と経営 (2)	経営と数理モデル (2) ※1 シミュレーション (2) ※1 インターネットマーケティング (2)	品質管理とデータ分析 (2) マーケティング・リサーチ (2)	フィンテック・ブロックチェーン (2) 金融データ解析 (2)	
演習科目					認知・感性とデータ分析 (2) 大規模・オープンデータ分析 (2)	生体情報分析 (2) 専門ゼミⅠ (2)	専門ゼミⅡ (2)	
他プログラム・他学部科目				ニューラルネットワーク (2) IoTとAI (2)	生体情報システム (2) ソフトウェア工学 (2)	AI・自然言語処理 (2) AI・推薦システム (2) 医療情報システム (2)	AI・画像情報処理 (2) 質的データ分析 (2) モバイルコンピューティング (2)	
		地域観光まちづくり論 (2)	※他学部科目					保健医療と福祉 (2) ※他学部科目

卒業要件: 全学共通の総合科目から必修科目19単位、専門科目のうち情報科学部基礎領域科目から16単位、実践英語4単位(3科目から2科目選択必修)、演習科目から8単位、主プログラムから8単位(選択必修)、合計で最低55単位の必修科目を習得する。残りの69単位は主プログラムから14単位(選択必修)、他学科で開講された専門科目を4単位以上選択科目として修得、主プログラムとしない選択科目から合わせて36単位以上修得する。(CAP制:各年次48単位の履修上限単位を設定、履修上限単位を半期24単位)合計124単位以上修得。

履修モデル データサイエンス×情報エンジニアリングプログラム

赤:必修 青:選択必修
黒:選択 ():単位数

※1 プログラム専門科目の必修扱い
※2 実践英語3科目のうち2科目を選択必修

	1年次(42単位)		2年次(42単位)		3年次(36単位)		4年次(6単位)	
	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④		
総合科目	教養ゼミ (2) Python入門 (2) 教養スポーツ実習 I (1) コミュニケーション英語 I (1) キャリア形成活動 I (2) ※通年 周南Well-being入門 (2)	情報倫理 (2) コミュニケーション英語 II (1) 健康とスポーツ (2) 人の健康生活 (1)	周南Well-being創生論 (2) 情報社会論 (2) コミュニケーション英語 III (1)	コミュニケーション英語 IV (1)			卒業研究 (4)	
学部基礎領域科目	情報科学概論 (2) 計算機概論 (2) 実社会とデータ分析 (2) Python応用 (2) データ分析基礎 (2)	地方創生とDX (2) VBAプログラミング (2) 線形代数基礎 (2) 微分積分基礎 (2) データの可視化 (2)	AI・機械学習基礎 (2) 確率統計基礎 (2) Javaプログラミング (2) 言語情報学 (2)	実践英語 (AI) (2) ※2 実践英語 (数学) (2) ※2	実践英語 (情報) (2) ※2 社会調査法 (2) 情報行動心理学 (2)	コーパス言語学 (2) AI、コンピュータと人間 (2)		
データサイエンス プログラム科目		データサイエンス概論 (2) ※1	ニューラルネットワーク (2) ※1 IoTとAI (2) ※1	多変量解析 (2) ※1 生体情報システム (2)	モデリングの数理 (2) 数値解析 (2) AI・自然言語処理 (2) AI・推薦システム (2)	AI・画像情報処理 (2) 質的データ分析 (2)		
情報エンジニア プログラム科目		情報エンジニアリング概論 (2) ※1	データベース (2) ※1 アルゴリズムとデータ構造 (2) ※1 プログラミング (2) ※1	ソフトウェア工学 (2) 情報ネットワークとセキュリティ (2) コンピュータグラフィックス (2) 組み込みシステム (2)	ヒューマンコンピュータインタラクション (2) 医療情報システム (2)	モバイルコンピューティング (2)		
科目 演習				認知・感性とデータ分析 (2)	生体情報分析 (2) 専門ゼミ 1 (2)	専門ゼミ 2 (2)		
他プログラム ・他学部科目	地域観光まちづくり論 (2) ※他学部科目				マーケティング・リサーチ (2)			

卒業要件:全学共通の総合科目から必修科目19単位、専門科目のうち情報科学部基礎領域科目から16単位、実践英語4単位(3科目から2科目選択必修)、演習科目から8単位、主プログラムから8単位(選択必修)、合計で最低55単位の必修科目を習得する。残りの69単位は主プログラムから14単位(選択必修)、他学科で開講された専門科目を4単位以上選択科目として修得、主プログラムとしない選択科目から合わせて36単位以上修得する。(CAP制:各年次48単位の履修上限単位を設定、履修上限単位を半期24単位)合計124単位以上修得。

履修モデル データサイエンス×ビジネスアナリティクスプログラム

赤:必修 青:選択必修
黒:選択 ():単位数

※1 プログラム専門科目の必修扱い
※2 実践英語3科目のうち2科目を選択必修

	1年次(42単位)		2年次(42単位)		3年次(38単位)		4年次(6単位)	
	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④		
総合科目	教養ゼミ (2) Python入門 (2) 教養スポーツ実習 I (1) コミュニケーション英語 I (1) キャリア形成活動 I (2) ※通年 周南Well-being入門 (2)	情報倫理 (2) コミュニケーション英語 II (1) 健康とスポーツ (2) 人の健康生活 (1)	周南Well-being創生論 (2) 情報社会論 (2) コミュニケーション英語 III (1)	コミュニケーション英語 IV (1)			卒業研究 (4)	
学部基礎領域科目	情報科学概論 (2) 計算機概論 (2) 実社会とデータ分析 (2) Python応用 (2) データ分析基礎 (2)	地方創生とDX (2) VBAプログラミング (2) 線形代数基礎 (2) 微分積分基礎 (2) データの可視化 (2)	AI・機械学習基礎 (2) 確率統計基礎 (2) Javaプログラミング (2) 言語情報学 (2)	実践英語 (AI) (2) ※2 実践英語 (数学) (2) ※2	実践英語 (情報) (2) ※2 社会調査法 (2) 情報行動心理学 (2)	コーパス言語学 (2) AI、コンピュータと人間 (2)		
データサイエンス プログラム科目		データサイエンス概論 (2) ※1	ニューラルネットワーク (2) ※1 IoTとAI (2) ※1	多変量解析 (2) ※1 生体情報システム (2)	モデリングの数理 (2) 数値解析 (2) AI・自然言語処理 (2) AI・推薦システム (2)	AI・画像情報処理 (2) 質的データ分析 (2)		
ビジネス アナリティクス プログラム科目		ビジネスアナリティクス概論 (2) ※1	感性情報処理 (2) 最適化モデリング (2) ※1 会計情報と経営 (2)	経営と数理モデル (2) ※1 シミュレーション (2) ※1 インターネットマーケティング (2)	品質管理とデータ分析 (2) マーケティング・リサーチ (2)	フィンテック・ブロックチェーン (2) 金融データ解析 (2)		
演習 科目				認知・感性とデータ分析 (2)	生体情報分析 (2) 専門ゼミ 1 (2)	専門ゼミ 2 (2)		
他プログラム ・他学部科目	地域観光まちづくり論 (2) ※他学部科目				マーケティング・リサーチ (2)			

卒業要件:全学共通の総合科目から必修科目19単位、専門科目のうち情報科学部基礎領域科目から16単位、実践英語4単位(3科目から2科目選択必修)、演習科目から8単位、主プログラムから8単位(選択必修)、合計で最低55単位の必修科目を習得する。残りの69単位は主プログラムから14単位(選択必修)、他学科で開講された専門科目を4単位以上選択科目として修得、主プログラムとしない選択科目から合わせて36単位以上修得する。(CAP制:各年次48単位の履修上限単位を設定、履修上限単位を半期24単位)合計124単位以上修得。

履修モデル 情報エンジニアリング×ビジネスアナリティクスプログラム

赤:必修 青:選択必修
黒:選択 ():単位数

※1 プログラム専門科目の必修扱い
※2 実践英語3科目のうち2科目を選択必修

	1年次(42単位)		2年次(46単位)		3年次(32単位)		4年次(6単位)	
	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④		
総合科目	教養ゼミ (2) Python入門 (2) 教養スポーツ実習Ⅰ (1) コミュニケーション英語Ⅰ (1) キャリア形成活動Ⅰ (2) ※通年 周南Well-being入門 (2)	情報倫理 (2) コミュニケーション英語Ⅱ (1) 健康とスポーツ (2) 人の健康生活 (1)	周南Well-being創生論 (2) 情報社会論 (2) コミュニケーション英語Ⅲ (1)	コミュニケーション英語Ⅳ (1)			卒業研究 (4)	
学部基礎領域科目	情報科学概論 (2) 計算機概論 (2) 実社会とデータ分析 (2) Python応用 (2) データ分析基礎 (2)	地方創生とDX (2) VBAプログラミング (2) 線形代数基礎 (2) 微分積分基礎 (2) データの可視化 (2)	AI・機械学習基礎 (2) 確率統計基礎 (2) Javaプログラミング (2)	実践英語(AI) (2) ※2 実践英語(数学) (2) ※2	実践英語(情報) (2) ※2 社会調査法 (2) 情報行動心理学 (2)	コーパス言語学 (2) AI、コンピュータと人間 (2)		
情報エンジニアリングプログラム科目		情報エンジニアリング概論 (2) ※1	データベース (2) ※1 アルゴリズムとデータ構造 (2) ※1 プログラミング (2) ※1	ソフトウェア工学 (2) 情報ネットワークとセキュリティ (2) コンピュータグラフィックス (2) 組み込みシステム (2)		モバイルコンピューティング (2)		
ビジネスアナリティクスプログラム科目		ビジネスアナリティクス概論 (2) ※1	感性情報処理 (2) 最適化モデリング (2) ※1 会計情報と経営 (2)	経営と数理モデル (2) ※1 シミュレーション (2) ※1 インターネットマーケティング (2)	品質管理とデータ分析 (2) マーケティング・リサーチ (2)	フィンテック・ブロックチェーン (2) 金融データ解析 (2)		
演習科目				認知・感性とデータ分析 (2)	生体情報分析 (2) 専門ゼミ1 (2)	専門ゼミ2 (2)		
他プログラム・他学部科目					マーケティング・リサーチ (2)	AI・画像情報処理 (2) 質的データ分析 (2)		
	地域観光まちづくり論 (2) ※他学部科目							保健医療と福祉 (2) ※他学部科目

卒業要件:全学共通の総合科目から必修科目19単位、専門科目のうち情報科学部基礎領域科目から16単位、実践英語4単位(3科目から2科目選択必修)、演習科目から8単位、主プログラムから8単位(選択必修)、合計で最低55単位の必修科目を習得する。残りの69単位は主プログラムから14単位(選択必修)、他学科で開講された専門科目を4単位以上選択科目として修得、主プログラムとしない選択科目から合わせて36単位以上修得する。(CAP制:各年次48単位の履修上限単位を設定、履修上限単位を半期24単位)合計124単位以上修得。

履修モデル トリプルメジャープログラム

赤:必修 青:選択必修
黒:選択 ():単位数

※1 プログラム専門科目の必修扱い
※2 実践英語3科目のうち2科目を選択必修

		1年次(46単位)		2年次(46単位)		3年次(40位)		4年次(6単位)
		前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	卒業研究 (4)
総合科目		教養ゼミ (2) Python入門 (2) 教養スポーツ実習Ⅰ (1) コミュニケーション英語Ⅰ (1) キャリア形成活動Ⅰ (2) ※通年 周南Well-being入門 (2)	情報倫理 (2) コミュニケーション英語Ⅱ (1) 健康とスポーツ (2) 人の健康生活 (1)	周南Well-being創生論 (2) 情報社会論 (2) コミュニケーション英語Ⅲ (1)	コミュニケーション英語Ⅳ (1)			
	学部基礎領域科目		情報科学概論 (2) 計算機概論 (2) 実社会とデータ分析 (2) Python応用 (2) データ分析基礎 (2)	地方創生とDX (2) VBAプログラミング (2) 線形代数基礎 (2) 微分積分基礎 (2) データの可視化 (2) 企業とデータ分析 (2)	AI・機械学習基礎 (2)	実践英語(AI) (2) ※2	実践英語(情報) (2) ※2 社会調査法 (2) 情報行動心理学 (2)	
データサイエンス プログラム科目				データサイエンス概論 (2) ※1	ニューラルネットワーク (2) ※1 IoTとAI (2) ※1	多変量解析 (2) ※1 生体情報システム (2)	モデリングの数理 (2) 数値解析 (2) AI・自然言語処理 (2) AI・推薦システム (2)	
	情報エンジニア リング プログラム科目		情報エンジニアリング概論 (2) ※1		データベース (2) ※1 アルゴリズムとデータ構造 (2) ※1 プログラミング (2) ※1	ソフトウェア工学 (2) 情報ネットワークとセキュリティ (2) コンピュータグラフィックス (2) 組み込みシステム (2)	ヒューマンコンピュータインタラクション (2) 医療情報システム (2)	
ビジネス アナリティクス プログラム科目			ビジネスアナリティクス概論 (2) ※1		感性情報処理 (2) 最適化モデリング (2) ※1 会計情報と経営 (2)	経営と数理モデル (2) ※1 シミュレーション (2) ※1 インターネットマーケティング (2)	品質管理とデータ分析 (2) マーケティング・リサーチ (2)	
	演習 科目					認知・感性とデータ分析 (2)	専門ゼミ1 (2)	
他学部 科目		地域観光まちづくり論 (2) ※他学部科目						保健医療と福祉 (2) ※他学部科目

卒業要件:全学共通の総合科目から必修科目19単位、専門科目のうち情報科学部基礎領域科目から16単位、実践英語4単位(3科目から2科目選択必修)、演習科目から8単位、主プログラムから8単位(選択必修)、合計で最低55単位の必修科目を習得する。残りの69単位は主プログラムから14単位(選択必修)、他学科で開講された専門科目を4単位以上選択科目として修得、主プログラムとしない選択科目から合わせて36単位以上修得する。(CAP制:各年次48単位の履修上限単位を設定、履修上限単位を半期24単位)合計124単位以上修得。

履修モデル データサイエンスプログラム

赤:必修 青:選択必修 黒:選択 ():単位数

※1 プログラム専門科目の必修扱い
 ※2 実践英語3科目のうち2科目を選択必修

		1年次(40単位)		2年次(42単位)		3年次(38単位)		4年次(6単位)
		前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	卒業研究 (4)
総合科目		教養ゼミ (2) Python入門 (2) 教養スポーツ実習 I (1) コミュニケーション英語 I (1) キャリア形成活動 I (2) ※通年 周南Well-being入門 (2)	情報倫理 (2) コミュニケーション英語 II (1) 健康とスポーツ (2) 人の健康生活 (1)	周南Well-being創生論 (2) 情報社会論 (2) コミュニケーション英語 III (1)	コミュニケーション英語 IV (1)			
	学部基礎領域科目	情報科学概論 (2) 計算機概論 (2) 実社会とデータ分析 (2) Python応用 (2) データ分析基礎 (2)	地方創生とDX (2) VBAプログラミング (2) 線形代数基礎 (2) 微分積分基礎 (2) データの可視化 (2)	AI・機械学習基礎 (2) 確率統計基礎 (2) Javaプログラミング (2) 言語情報学 (2)	実践英語 (AI) (2) ※2 実践英語 (数学) (2) ※2	実践英語 (情報) (2) ※2 社会調査法 (2) 情報行動心理学 (2)	コーパス言語学 (2) AI、コンピュータと人間 (2)	
データサイエンスプログラム科目			データサイエンス概論 (2) ※1	ニューラルネットワーク (2) ※1 IoTとAI (2) ※1	多変量解析 (2) ※1 生体情報システム (2)	モデリングの数理 (2) 数値解析 (2) AI・自然言語処理 (2) AI・推薦システム (2)	AI・画像情報処理 (2) 質的データ分析 (2)	
科目	演習				認知・感性とデータ分析 (2)	生体情報分析 (2) 専門ゼミ 1 (2)	専門ゼミ 2 (2)	
他学部科目	他プログラム			データベース (2) 感性情報処理 (2) 会計情報と経営 (2)	ソフトウェア工学 (2) 情報ネットワークとセキュリティ (2) 組み込みシステム (2) インターネットマーケティング (2)	品質管理とデータ分析 (2) 医療情報システム (2)	フィンテック・ブロックチェーン (2) モバイルコンピューティング (2) 金融データ解析 (2)	
		地域観光まちづくり論 (2)	※他学部科目					保健医療と福祉 (2) ※他学部科目

卒業要件:全学共通の総合科目から必修科目19単位、専門科目のうち情報科学部基礎領域科目から16単位、実践英語4単位(3科目から2科目選択必修)、演習科目から8単位、主プログラムから8単位(選択必修)、合計で最低55単位の必修科目を習得する。残りの69単位は主プログラムから14単位(選択必修)、他学科で開講された専門科目を4単位以上自由科目として修得、主プログラムとしない選択科目から合わせて36単位以上修得する。(CAP制:各年次48単位の履修上限単位を設定、履修上限単位を半期24単位)合計124単位以上修得。

履修モデル 情報エンジニアリングプログラム

赤:必修 青:選択必修 黒:選択 ():単位数

※1 プログラム専門科目の必修扱い
※2 実践英語3科目のうち2科目を選択必修

		1年次(40単位)		2年次(42単位)		3年次(36単位)		4年次(6単位)
		前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	
総合科目		教養ゼミ (2) Python入門 (2) 教養スポーツ実習 I (1) コミュニケーション英語 I (1) キャリア形成活動 I (2) ※通年 周南Well-being入門 (2)	情報倫理 (2) コミュニケーション英語 II (1) 健康とスポーツ (2) 人の健康生活 (1)	周南Well-being創生論 (2) 情報社会論 (2) コミュニケーション英語 III (1)	コミュニケーション英語 IV (1)			卒業研究 (4)
	学部基礎領域科目	情報科学概論 (2) 計算機概論 (2) 実社会とデータ分析 (2) Python応用 (2) データ分析基礎 (2)	地方創生とDX (2) VBAプログラミング (2) 線形代数基礎 (2) 微分積分基礎 (2) データの可視化 (2)	AI・機械学習基礎 (2) 確率統計基礎 (2) Javaプログラミング (2) 言語情報学 (2)	実践英語 (AI) (2) ※2 実践英語 (数学) (2) ※2	実践英語 (情報) (2) ※2 社会調査法 (2) 情報行動心理学 (2)	コーパス言語学 (2) AI、コンピュータと人間 (2)	
情報エンジニアリングプログラム科目		情報エンジニアリング概論 (2) ※1	データベース (2) ※1 アルゴリズムとデータ構造 (2) ※1 プログラミング (2) ※1	ソフトウェア工学 (2) 情報ネットワークとセキュリティ (2) コンピュータグラフィックス (2) 組み込みシステム (2)	ヒューマンコンピュータインタラクション (2) 医療情報システム (2)	モバイルコンピューティング (2)		
演習科目				認知・感性とデータ分析 (2) 大規模・オープンデータ分析 (2)	生体情報分析 (2) 専門ゼミ 1 (2)	専門ゼミ 2 (2)		
他プログラム・他学部科目			ニューラルネットワーク (2) IoTとAI (2)	生体情報システム (2)	AI・自然言語処理 (2) AI・推薦システム (2) 品質管理とデータ分析 (2) マーケティング・リサーチ (2)	AI・画像情報処理 (2) フィンテック・ブロックチェーン (2) 金融データ解析 (2)		
		地域観光まちづくり論 (2) ※他学部科目					保健医療と福祉 (2) ※他学部科目	

卒業要件:全学共通の総合科目から必修科目19単位、専門科目のうち情報科学部基礎領域科目から16単位、実践英語4単位(3科目から2科目選択必修)、演習科目から8単位、主プログラムから8単位(選択必修)、合計で最低55単位の必修科目を習得する。残りの69単位は主プログラムから14単位(選択必修)、他学科で開講された専門科目を4単位以上自由科目として修得、主プログラムとしない選択科目から合わせて36単位以上修得する。(CAP制:各年次48単位の履修上限単位を設定、履修上限単位を半期24単位)合計124単位以上修得。

履修モデル ビジネスアナリティクスプログラム

赤:必修 青:選択必修 黒:選択 ():単位数

※1 プログラム専門科目の必修扱い
※2 実践英語3科目のうち2科目を選択必修

		1年次(40単位)		2年次(42単位)		3年次(36単位)		4年次(6単位)	
		前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	卒業研究 (4)	
総合科目		教養ゼミ (2) Python入門 (2) 教養スポーツ実習 I (1) コミュニケーション英語 I (1) キャリア形成活動 I (2) ※通年 周南Well-being入門 (2)	情報倫理 (2) コミュニケーション英語 II (1) 健康とスポーツ (2) 人の健康生活 (1)	周南Well-being創生論 (2) 情報社会論 (2) コミュニケーション英語 III (1)	コミュニケーション英語 IV (1)				
	学部基礎領域科目	情報科学概論 (2) 計算機概論 (2) 実社会とデータ分析 (2) Python応用 (2) データ分析基礎 (2)	地方創生とDX (2) VBAプログラミング (2) 線形代数基礎 (2) 微分積分基礎 (2) データの可視化 (2)	AI・機械学習基礎 (2) 確率統計基礎 (2) Javaプログラミング (2) 言語情報学 (2)	実践英語 (AI) (2) ※2 実践英語 (数学) (2) ※2	実践英語 (情報) (2) ※2 社会調査法 (2) 情報行動心理学 (2)	コーパス言語学 (2) AI、コンピュータと人間 (2)		
ビジネスアナリティクスプログラム科目		ビジネスアナリティクス概論 (2) ※1	感性情報処理 (2) 最適化モデリング (2) ※1 会計情報と経営 (2)	経営と数理モデル (2) ※1 シミュレーション (2) ※1 インターネットマーケティング (2)	品質管理とデータ分析 (2) マーケティング・リサーチ (2)	フィンテック・ブロックチェーン (2) 金融データ解析 (2)			
科目	演習				認知・感性とデータ分析 (2) 大規模・オープンデータ分析 (2)	生体情報分析 (2) 専門ゼミ 1 (2)	専門ゼミ 2 (2)		
他学部科目	他プログラム		ニューラルネットワーク (2) IoTとAI (2)	生体情報システム (2) ソフトウェア工学 (2)	AI・自然言語処理 (2) AI・推薦システム (2) 医療情報システム (2)	AI・画像情報処理 (2) 質的データ分析 (2) モバイルコンピューティング (2)			
		地域観光まちづくり論 (2)	※他学部科目					保健医療と福祉 (2) ※他学部科目	

卒業要件:全学共通の総合科目から必修科目19単位、専門科目のうち情報科学部基礎領域科目から16単位、実践英語4単位(3科目から2科目選択必修)、演習科目から8単位、主プログラムから8単位(選択必修)、合計で最低55単位の必修科目を習得する。残りの69単位は主プログラムから14単位(選択必修)、他学科で開講された専門科目を4単位以上自由科目として修得、主プログラムとしない選択科目から合わせて36単位以上修得する。(CAP制:各年次48単位の履修上限単位を設定、履修上限単位を半期24単位)合計124単位以上修得。

履修モデル データサイエンス×情報エンジニアリングプログラム

赤:必修 青:選択必修
黒:選択 ():単位数

※1 プログラム専門科目の必修扱い
※2 実践英語3科目のうち2科目を選択必修

	1年次(42単位)		2年次(42単位)		3年次(36単位)		4年次(6単位)	
	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④		
総合科目	教養ゼミ (2) Python入門 (2) 教養スポーツ実習 I (1) コミュニケーション英語 I (1) キャリア形成活動 I (2) ※通年 周南Well-being入門 (2)	情報倫理 (2) コミュニケーション英語 II (1) 健康とスポーツ (2) 人の健康生活 (1)	周南Well-being創生論 (2) 情報社会論 (2) コミュニケーション英語 III (1)	コミュニケーション英語 IV (1)			卒業研究 (4)	
学部基礎領域科目	情報科学概論 (2) 計算機概論 (2) 実社会とデータ分析 (2) Python応用 (2) データ分析基礎 (2)	地方創生とDX (2) VBAプログラミング (2) 線形代数基礎 (2) 微分積分基礎 (2) データの可視化 (2)	AI・機械学習基礎 (2) 確率統計基礎 (2) Javaプログラミング (2) 言語情報学 (2)	実践英語 (AI) (2) ※2 実践英語 (数学) (2) ※2	実践英語 (情報) (2) ※2 社会調査法 (2) 情報行動心理学 (2)	コーパス言語学 (2) AI、コンピュータと人間 (2)		
データサイエンス プログラム科目		データサイエンス概論 (2) ※1	ニューラルネットワーク (2) ※1 IoTとAI (2) ※1	多変量解析 (2) ※1 生体情報システム (2)	モデリングの数理 (2) 数値解析 (2) AI・自然言語処理 (2) AI・推薦システム (2)	AI・画像情報処理 (2) 質的データ分析 (2)		
情報エンジニア リング プログラム科目		情報エンジニアリング概論 (2) ※1	データベース (2) ※1 アルゴリズムとデータ構造 (2) ※1 プログラミング (2) ※1	ソフトウェア工学 (2) 情報ネットワークとセキュリティ (2) コンピュータグラフィックス (2) 組み込みシステム (2)	ヒューマンコンピュータインタラクション (2) 医療情報システム (2)	モバイルコンピューティング (2)		
演習 科目				認知・感性とデータ分析 (2)	生体情報分析 (2) 専門ゼミ 1 (2)	専門ゼミ 2 (2)		
他プログラム ・他学部科目					マーケティング・リサーチ (2)			
	地域観光まちづくり論 (2)	※他学部科目						保健医療と福祉 (2) ※他学部科目

卒業要件:全学共通の総合科目から必修科目19単位、専門科目のうち情報科学部基礎領域科目から16単位、実践英語4単位(3科目から2科目選択必修)、演習科目から8単位、主プログラムから8単位(選択必修)、合計で最低55単位の必修科目を習得する。残りの69単位は主プログラムから14単位(選択必修)、他学科で開講された専門科目を4単位以上自由科目として修得、主プログラムとしない選択科目から合わせて36単位以上修得する。(CAP制:各年次48単位の履修上限単位を設定、履修上限単位を半期24単位)合計124単位以上修得。

履修モデル データサイエンス×ビジネスアナリティクスプログラム

赤:必修 青:選択必修
黒:選択 ():単位数

※1 プログラム専門科目の必修扱い
※2 実践英語3科目のうち2科目を選択必修

	1年次(42単位)		2年次(42単位)		3年次(38単位)		4年次(6単位)	
	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④		
総合科目	教養ゼミ (2) Python入門 (2) 教養スポーツ実習Ⅰ (1) コミュニケーション英語Ⅰ (1) キャリア形成活動Ⅰ (2) ※通年 周南Well-being入門 (2)	情報倫理 (2) コミュニケーション英語Ⅱ (1) 健康とスポーツ (2) 人の健康生活 (1)	周南Well-being創生論 (2) 情報社会論 (2) コミュニケーション英語Ⅲ (1)	コミュニケーション英語Ⅳ (1)			卒業研究 (4)	
学部基礎領域科目	情報科学概論 (2) 計算機概論 (2) 実社会とデータ分析 (2) Python応用 (2) データ分析基礎 (2)	地方創生とDX (2) VBAプログラミング (2) 線形代数基礎 (2) 微分積分基礎 (2) データの可視化 (2)	AI・機械学習基礎 (2) 確率統計基礎 (2) Javaプログラミング (2) 言語情報学 (2)	実践英語 (AI) (2) ※2 実践英語 (数学) (2) ※2	実践英語 (情報) (2) ※2 社会調査法 (2) 情報行動心理学 (2)	コーパス言語学 (2) AI、コンピュータと人間 (2)		
データサイエンスプログラム科目		データサイエンス概論 (2) ※1	ニューラルネットワーク (2) ※1 IoTとAI (2) ※1	多変量解析 (2) ※1 生体情報システム (2)	モデリングの数理 (2) 数値解析 (2) AI・自然言語処理 (2) AI・推薦システム (2)	AI・画像情報処理 (2) 質的データ分析 (2)		
ビジネスアナリティクスプログラム科目		ビジネスアナリティクス概論 (2) ※1	感性情報処理 (2) 最適化モデリング (2) ※1 会計情報と経営 (2)	経営と数理モデル (2) ※1 シミュレーション (2) ※1 インターネットマーケティング (2)	品質管理とデータ分析 (2) マーケティング・リサーチ (2)	フィンテック・ブロックチェーン (2) 金融データ解析 (2)		
演習科目				認知・感性とデータ分析 (2)	生体情報分析 (2) 専門ゼミ 1 (2)	専門ゼミ 2 (2)		
他プログラム・他学部科目					マーケティング・リサーチ (2)			
	地域観光まちづくり論 (2)	※他学部科目						保健医療と福祉 (2) ※他学部科目

卒業要件:全学共通の総合科目から必修科目19単位、専門科目のうち情報科学学部基礎領域科目から16単位、実践英語4単位(3科目から2科目選択必修)、演習科目から8単位、主プログラムから8単位(選択必修)、合計で最低55単位の必修科目を習得する。残りの69単位は主プログラムから14単位(選択必修)、他学科で開講された専門科目を4単位以上自由科目として修得、主プログラムとしない選択科目から合わせて36単位以上修得する。(CAP制:各年次48単位の履修上限単位を設定、履修上限単位を半期24単位)合計124単位以上修得。

履修モデル 情報エンジニアリング×ビジネスアナリティクスプログラム

赤:必修 青:選択必修
黒:選択 ():単位数

※1 プログラム専門科目の必修扱い
※2 実践英語3科目のうち2科目を選択必修

	1年次(42単位)		2年次(46単位)		3年次(32単位)		4年次(6単位)	
	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④		
総合科目	教養ゼミ (2) Python入門 (2) 教養スポーツ実習 I (1) コミュニケーション英語 I (1) キャリア形成活動 I (2) ※通年 周南Well-being入門 (2)	情報倫理 (2) コミュニケーション英語 II (1) 健康とスポーツ (2) 人の健康生活 (1)	周南Well-being創生論 (2) 情報社会論 (2) コミュニケーション英語 III (1)	コミュニケーション英語 IV (1)			卒業研究 (4)	
学部基礎領域科目	情報科学概論 (2) 計算機概論 (2) 実社会とデータ分析 (2) Python応用 (2) データ分析基礎 (2)	地方創生とDX (2) VBAプログラミング (2) 線形代数基礎 (2) 微分積分基礎 (2) データの可視化 (2)	AI・機械学習基礎 (2) 確率統計基礎 (2) Javaプログラミング (2)	実践英語 (AI) (2) ※2 実践英語 (数学) (2) ※2	実践英語 (情報) (2) ※2 社会調査法 (2) 情報行動心理学 (2)	コーパス言語学 (2) AI、コンピュータと人間 (2)		
情報エンジニアリングプログラム科目		情報エンジニアリング概論 (2) ※1	データベース (2) ※1 アルゴリズムとデータ構造 (2) ※1 プログラミング (2) ※1	ソフトウェア工学 (2) 情報ネットワークとセキュリティ (2) コンピュータグラフィックス (2) 組み込みシステム (2)		モバイルコンピューティング (2)		
ビジネスアナリティクスプログラム科目		ビジネスアナリティクス概論 (2) ※1	感性情報処理 (2) 最適化モデリング (2) ※1 会計情報と経営 (2)	経営と数理モデル (2) ※1 シミュレーション (2) ※1 インターネットマーケティング (2)	品質管理とデータ分析 (2) マーケティング・リサーチ (2)	フィンテック・ブロックチェーン (2) 金融データ解析 (2)		
演習科目				認知・感性とデータ分析 (2)	生体情報分析 (2) 専門ゼミ 1 (2)	専門ゼミ 2 (2)		
他プログラム・他学部科目					マーケティング・リサーチ (2)	AI・画像情報処理 (2) 質的データ分析 (2)		
	地域観光まちづくり論 (2)	※他学部科目						保健医療と福祉 (2) ※他学部科目

卒業要件:全学共通の総合科目から必修科目19単位、専門科目のうち情報科学部基礎領域科目から16単位、実践英語4単位(3科目から2科目選択必修)、演習科目から8単位、主プログラムから8単位(選択必修)、合計で最低55単位の必修科目を習得する。残りの69単位は主プログラムから14単位(選択必修)、他学科で開講された専門科目を4単位以上自由科目として修得、主プログラムとしない選択科目から合わせて36単位以上修得する。(CAP制:各年次48単位の履修上限単位を設定、履修上限単位を半期24単位)合計124単位以上修得。

履修モデル トリプルメジャープログラム

赤:必修 青:選択必修
黒:選択 ():単位数

※1 プログラム専門科目の必修扱い
※2 実践英語3科目のうち2科目を選択必修

		1年次(46単位)		2年次(46単位)		3年次(40位)		4年次(6単位)
		前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	前期、①・②	後期、③・④	
総合科目	総合科目	教養ゼミ (2) Python入門 (2) 教養スポーツ実習Ⅰ (1) コミュニケーション英語Ⅰ (1) キャリア形成活動Ⅰ (2) ※通年 周南Well-being入門 (2)	情報倫理 (2) コミュニケーション英語Ⅱ (1) 健康とスポーツ (2) 人の健康生活 (1)	周南Well-being創生論 (2) 情報社会論 (2) コミュニケーション英語Ⅲ (1)	コミュニケーション英語Ⅳ (1)			卒業研究 (4)
	学部基礎領域科目	情報科学概論 (2) 計算機概論 (2) 実社会とデータ分析 (2) Python応用 (2) データ分析基礎 (2)	地方創生とDX (2) VBAプログラミング (2) 線形代数基礎 (2) 微分積分基礎 (2) データの可視化 (2) 企業とデータ分析 (2)	AI・機械学習基礎 (2)	実践英語 (AI) (2) ※2	実践英語 (情報) (2) ※2 社会調査法 (2) 情報行動心理学 (2)	コーパス言語学 (2) AI、コンピュータと人間 (2)	
	データサイエンス		データサイエンス概論 (2) ※1	ニューラルネットワーク (2) ※1 IoTとAI (2) ※1	多変量解析 (2) ※1 生体情報システム (2)	モデリングの数理 (2) 数値解析 (2) AI・自然言語処理 (2) AI・推薦システム (2)	AI・画像情報処理 (2) 質的データ分析 (2)	
	情報エンジニアリング		情報エンジニアリング概論 (2) ※1	データベース (2) ※1 アルゴリズムとデータ構造 (2) ※1 プログラミング (2) ※1	ソフトウェア工学 (2) 情報ネットワークとセキュリティ (2) コンピュータグラフィックス (2) 組み込みシステム (2)	ヒューマンコンピュータインタラクション (2) 医療情報システム (2)	モバイルコンピューティング (2)	
	ビジネスアナリティクス		ビジネスアナリティクス概論 (2) ※1	感性情報処理 (2) 最適化モデリング (2) ※1 会計情報と経営 (2)	経営と数理モデル (2) ※1 シミュレーション (2) ※1 インターネットマーケティング (2)	品質管理とデータ分析 (2) マーケティング・リサーチ (2)	フィンテック・ブロックチェーン (2) 金融データ解析 (2)	
	演習				認知・感性とデータ分析 (2)	専門ゼミ 1 (2)	専門ゼミ 2 (2)	
他学部	地域観光まちづくり論 (2)	※他学部科目					保健医療と福祉 (2) ※他学部科目	

卒業要件:全学共通の総合科目から必修科目19単位、専門科目のうち情報科学部基礎領域科目から16単位、実践英語4単位(3科目から2科目選択必修)、演習科目から8単位、主プログラムから8単位(選択必修)、合計で最低55単位の必修科目を習得する。残りの69単位は主プログラムから14単位(選択必修)、他学科で開講された専門科目を4単位以上自由科目として修得、主プログラムとしない選択科目から合わせて36単位以上修得する。(CAP制:各年次48単位の履修上限単位を設定、履修上限単位を半期24単位)合計124単位以上修得。

周南公立大学情報科学部情報科学科時間割

Main timetable table with columns for 期 (Semester), 科目名 (Subject Name), 配当年次 (Year), 開講曜限 (Days/Times), 担当者 (Instructor), 教室 (Classroom), and 科目名 (Subject Name), 配当年次 (Year), 開講曜限 (Days/Times), 担当者 (Instructor), 教室 (Classroom).

基中課程 (Basic Course) table listing subjects like データサイエンス入門, ネットワーク基礎, etc.

基中課程 (Basic Course) table listing subjects like キャリア形成活動, コミュニケーション基礎, etc.

基中課程 (Basic Course) table listing subjects like ワークショップデザインⅠ, 情報社会と倫理, etc.

基中課程 (Basic Course) table listing subjects like ワークショップデザインⅡ, 情報教育Ⅰ, etc.

令和9(2027)年度 全学部学科時間割

期	科目名	月					開講曜日	担当者	教室	火					開講曜日	担当者	教室	
		開講曜日	開講曜日	開講曜日	開講曜日	開講曜日				開講曜日	開講曜日	開講曜日	開講曜日	開講曜日				
1時限	実践英語(情報)	3					月1金1	内田 善彦	1142	実社会とデータ分析	1					月2火1	矢島 安敏	1141
	データ分析基礎	1					月1金1	土屋 敏夫	1141	社会調査法	3					月2火1	綿村 英一	1142
	情報行動心理学	3					月1金1	羽淵 由子	1142	計算機概論	1					月2火1	野村 典文、他	1141
	総合英語初級 I (クラス6)	1						丹羽 仁美	1121	ソーシャルワークの基礎と専門職 I	1					月2火1	西郷 彰	オンライン
	英会話初級 I (クラス8)	1						ダーシー	1123	日本史 I	2						竹下 啓祐	S1303
	経営学入門 I (クラス1)	1						木全 晃	1125	権利擁護を支える法制度	2						脇野 幸太郎	S1302
	経営学入門 II (クラス2)	1						石谷 康人	S1303	高齢者看護学概論	2						田淵啓二	S1402
	小児看護学概論(前)	2						井上 みゆき	S1402	財務会計論	2						林 徳順	S1301
	精神看護学概論(後)	2						羽生 貞親、他	S1402	地域デザイン実践	2						長澤 雅彦、他	1122
	スポーツ概論 I (体育・重篤外傷)	2						小笠 博義	611	中国経済論	3						呉 賢一	1121
	上級日本語 I	2						佐野 千亜紀	1122	財務管理論	3						長澤 賢一	1123
	地域マネジメント論	2-3-4						伊藤 敏安	S1302	スポーツ産業学演習	3						中嶋 健	611
国際マーケティング論	3						呉 賢一	S1304	疫学演習	4						鶴田来美	S1404	
リコンディショニング論	3						久保 誠司	601	リコンディショニング実習 II	4						小野 高志	601	
都市経済学	3						伏木 貞文	S1301										
2時限	地域ゼミ	2						清原 泰治	521									
	地域ゼミ	2						岡井 理香	522									
	地域ゼミ	2						瀬尾 賢一郎	523									
	地域ゼミ	2						瀬尾 雅彦	524									
	総合英語初級 II (クラス6)	1						丹羽 仁美	1121	心理学 II	1						武田 明昭	1125
	英会話初級 II (クラス8)	1						ダーシー	1123	法律学 I	1						水野 陽一	1124
	健康まちづくり論	1-2-3-4						難波 利光	S1304	コミュニケーション論	1						杉本 吉恵	S1404
	スポーツ医学	1						小笠 博義、他	611	ソーシャルワークの基礎と専門職 II	1						守本 友美	S1304
	経営学入門 II (クラス1)	1						木全 晃	S1302	子どもの遊びと援助	1-2-3-4						金子 幸	S1301
	経営学入門 III (クラス2)	1						石谷 康人	S1303	地域公共政策論	1-2-3-4						伊藤 敏安	S1302
	女性アスリートスポーツ論	2						松生 香里	601	日本史 II	2						小林 啓祐	S1303
	地域・在宅支援論	2						家根 明子、他	S1402	中級統計学	2						河田 正樹	1122
経済地理学	2-3-4						岩本 直	1125	小児看護学方法	2						井上みゆき、他	S1402	
メンタルトレーニング演習	3						水崎 佑毅	心理実習室	3						中嶋 健	611		
グローバル企業分析	3-4						伏木 貞文	1124	看護政策論(前)	4						岩澤 和子	S1401	
																渡邊 淳子	S1401	
																佐野村 学、他	601	
3 Q	線形代数基礎	1					月1金1	道山 知成	1141	VBAプログラミング	1					月2火1	呉 朝	1141
4 Q	コーパス言語学	3					月1木1	立部 文崇	1142									
1 Q	データサイエンス概論	1					月1金4	矢島 安敏	1141	情報エンジニアリング概論	1					月2火1	野村 典文	1141
3時限	実社会とデータ分析	1					月2火1	矢島 安敏	1141	数値解析	3					火2金2	内田 善彦	1142
	社会調査法	3					月2火1	綿村 英一	1142									
	計算機概論	1					月2火1	野村 典文、他	1141	マーケティングリサーチ	3					月4火2	谷村 琢也	オンライン
	AI・推薦システム	3					月2火1	西郷 彰	オンライン									
	総合英語初級 I (クラス7)	1						丹羽 仁美	1121	周南Well-being創生入門	1						渡部 明	1125,1141
	総合英語初級 I (クラス1)	1						新枝 美帆	1122	中国語 II	2						河村 玉	521
	総合英語初級 I (クラス9)	1						中光 義亮	531	中国語 II	2-3-4						河村 玉	521
	総合英語初級 I (クラス11)	1						田中 数恵	532	ダンス(クラス1)	2						大庭 尚子	多目的スタジオ
	総合英語初級 I (クラス13)	1						原田 浩子	533	マーケティング論 I	2						呉 賢一	S1304
	英会話初級 I (クラス6)	1						ダーシー	1123	民法 I	2						村 耕一	1123
	英会話初級 I (クラス3)	1						トラバス キャンベル	534	社会福祉法人会計	2-3-4						梅田 勝利	S1302
	英会話初級 I (クラス12)	1						ショーナ	1124	メンタルトレーニング論	3						水崎 佑毅	601
英会話初級 I (クラス14)	1						Scott Tracey	535	多職種協働演習	3						守本 友美	S1303	
中級日本語	1					留	月23・水56	山本 晋也、他	525	国際経済学 II	3					村岡 浩次	S1301	
心理学と心理的支援	1						藤川 卓也	S1304	疫学演習	4						鶴田来美	S1404	
社会福祉法制	2						脇野 幸太郎	S1303										
スポーツ文化論 I (体育・スポーツ)	2						清原 泰治、他	611										
健康まちづくり論	2						難波 利光	S1301										
社会政策	3						稲垣 円	S1302										
多職種連携	3						大平光子、他	S1401										
幼児体育	3-4						瀬尾 賢一郎	記念館										
スポーツバイオメカニクス演習	3						西山 健太	多目的スタジオ										
レクリエーション実習	4						中嶋 克成	601										
地域ゼミ	2							岩本 直	521									
地域ゼミ	2							佐藤 裕哉	522									
地域ゼミ	2							小林 啓祐	523									
地域ゼミ	2							石谷 康人	524									
総合英語初級 II (クラス7)	1							丹羽 仁美	1121	中国語 I	1						河村 玉	521
総合英語初級 II (クラス1)	1							新枝 美帆	1122	中国語 I	1-2-3-4						河村 玉	521
総合英語初級 II (クラス9)	1							中光 義亮	531	マーケティング論 II	2						呉 賢一	S1304
総合英語初級 II (クラス11)	1							田中 数恵	532	小児看護学方法	2						井上みゆき、他	S1402
総合英語初級 II (クラス13)	1							原田 浩子	533	スポーツ概論 II (下肢・上肢)	2						小笠 博義	611
英会話初級 II (クラス6)	1							ダーシー	1123	民法 II	2						田村 耕一	1123
英会話初級 II (クラス3)	1							トラバス キャンベル	534	国際経済学 I	2						村岡 浩次	S1301
英会話初級 II (クラス12)	1							ショーナ	1124	介護演習 III	2						北村 光子	S1303
英会話初級 II (クラス14)	1							Scott Tracey	535	都市経済学演習	3						伏木 貞文	S1302
日本語会話中級 II	1							佐野 千亜紀	525	体づくり運動(クラス1)	3						前田 一篤	記念館
介護演習 I	1							北村 光子	S1303	開発途上国論	3						岡本 次郎	1121
微生物・感染制御学	2							原田昌範	S1402									
検査測定評価演習	2							小野 高志、他	611									
地方財政論	3-4							田尾 真一	S1302									
スポーツバイオメカニクス実習	3							西山 健太	多目的スタジオ									
3 Q	VBAプログラミング	1					月2火1	呉 朝	1141	実践英語(AI)	2					火2水2	橋本 喜代太	1141
4 Q	AI・画像情報処理	3					月2火1	松村 遼	1142									
1 Q	情報エンジニアリング概論	1					月2火1	野村 典文	1141	生体情報システム	2					火2水2	日置 智子	1141
2 Q	金融データ解析	3					月2水2	木島 正明	1142	金融データ解析	3					月2水2	木島 正明	1142
1 Q	ニューマンコンピュータインタラクション	3					月3火3	土屋 敏夫	1141	ニューマンコンピュータインタラクション	3					月3火3	土屋 敏夫	1141
2 Q	医療情報システム	3					月3火3	河内山隆紀	1141	医療情報システム	3					月3火3	河内山隆紀	1141
総合英語初級 I (クラス8)	1							丹羽 仁美	1121	メンタルヘルス入門	1						羽生 貞親	1123
総合英語初級 I (クラス2)	1							新枝 美帆	1122	メンタルヘルス入門	1-2-3-4						羽生 貞親	1123
総合英語初級 I (クラス10)	1							中光 義亮	531	解剖学	1						小笠 博義、他	611
総合英語初級 I (クラス12)	1							田中 数恵	532	中国語 II	2						河村 玉	521
総合英語初級 I (クラス14)	1							原田 浩子	533	中国語 II	2-3-4						河村 玉	521
英会話初級 I (クラス7)	1							ダーシー	1123	ビジネス英会話	2						ポーリーン	1121
英会話初級 I (クラス3)	1							トラバス キャンベル	534	ダンス(クラス2)	2						大庭 尚子	多目的スタジオ
英会話初級 I (クラス9)	1							ショーナ	1124	経営史 I	2						呉 賢一	1125
英会話初級 I (クラス11)	1							Scott Tracey										

令和9(2027)年度 全学部学科時間割

期	科目名	月					開講曜日	担当者	教室	火					開講曜日	担当者	教室	
		履修	スポーツ	看護	福祉	情報				履修	スポーツ	看護	福祉	情報				
4時限	感性情報処理	2				○	月4火6	土屋 敏夫	1142	情報科学概論	1				○	火4金4	木島 正明、他	1142
	モデリングの数理	3				○	月4木2	小柳 淳二	1141									
	Python応用	1				○	月4金4	酒井 徹也	1142									
	マーケティング・リサーチ	3	○			○	月4火2	谷村 琢也	オンライン									
	総合英語初級Ⅰ(クラス3)	1		○				新枝 美帆	1122	人間と健康	1		○	○	○	火34	中嶋健、他	1125
	英会話初級Ⅰ(クラス2)	1		○				トラバス・キャンベル	534	経済学入門Ⅰ(クラス1)	1	○	○	○		岩本 直	S1304	
	英会話初級Ⅰ(クラス10)	1		○				ショーナ	1124	経済学入門Ⅰ(クラス2)	1	○	○	○		村岡 浩次	1141	
	英会話初級Ⅰ(クラス13)	1		○				Scott Tracey	535	ビジネス英会話	2	○	○	○		ボーリン	1121	
	総合英語初級Ⅰ(クラス5)	2			○			西村 浩子	1121	人文地理学Ⅰ	2	○	○	○		佐藤 裕哉	1123	
	ビジネス日本語Ⅰ	2				○		山本 晋也	524	児童・家庭福祉	2			○		竹下 徹	S1303	
国際ビジネス特論Ⅱ	2						赤木 真由、他	S1303	財政学	2	○	○	○		田尾 真一	1124		
スポーツ心理学	2		○				水崎 佑毅	601	ベースボール型球技	2		○	○		北 哲也	学内グラウンド		
ヘルスアセスメント	2						杉本吉恵、他	S1402	基礎看護技術Ⅱ(診療に伴う技術)	2			○		杉本吉恵、他	S1402		
セクシュアルプロダクティブ看護実践(前)	3			○			大平光子、他	S1401	スポーツ生化学	3		○	○		奥本 正	601		
精神看護実践(後)	3						羽生貞親、他	S1401	小児看護実践(前)	3			○		半田浩美、他	S1401		
教育実習基礎講座Ⅱ	4	○	○		○		渡部 明、他	611	高齢者看護実践(後)	3			○		田淵啓二、他	S1401		
保育ソーシャルワーク演習	4				○		牛島 豊広	S1301	公民科教育法Ⅰ	3	○	○	○		大坂 遊	1122		
									グローバルビジネス論	3	○	○	○		呉 賢	S1301		
5時限	専門ゼミⅠ	3	○					岡本 次郎	521									
	専門ゼミⅠ	3	○					石谷 康人	522									
	専門ゼミⅠ	3	○					稲垣 円	531									
	専門ゼミⅠ	3	○					岩本 直	532									
	総合英語初級Ⅱ(クラス3)	1		○				新枝 美帆	1122	韓国語Ⅰ	1	○	○	○		李 萬善	1141	
	英会話初級Ⅱ(クラス2)	1		○				トラバス・キャンベル	534	韓国語Ⅰ	1	○	○	○		李 萬善	1141	
	英会話初級Ⅱ(クラス10)	1		○				ショーナ	1124	韓国語Ⅰ	2	○	○	○		李 萬善	1141	
	日本語会話中上級Ⅰ	1		○				立部 文崇	523	経済学入門Ⅱ(クラス1)	1	○	○	○		岩本 直	S1304	
	生活と経済経営	1			○			田尾 真一、他	S1304	経済学入門Ⅱ(クラス2)	1	○	○	○		村岡 浩次	S1301	
	生活と経済経営	1			○			田尾 真一、他	S1304	音楽理論	1	○	○	○		井町 美貴子	S1303	
生活と経済経営	2				○		田尾 真一、他	S1304	地域企業会計	2	○	○	○		梅田 勝利	S1302		
英会話初級Ⅱ(クラス13)	2						Scott Tracey	535	国際マーケティング論	2	○	○	○		呉 賢	1124		
総合英語初級Ⅱ(クラス5)	2				○		西村 浩子	1121	機能解剖学Ⅱ(下肢・上肢)	2		○	○		小笠 博義、他	611		
高齢者看護方法	2						田淵 哲二、他	S1402	公民科教育法Ⅱ	3	○	○	○		大坂 遊	1122		
ビジネス日本語Ⅱ	2						山本 晋也	524	グローバル英語	3	○	○	○		ボーリン、ボールドウィン	1121		
陸上競技(クラス2)	2		○				西山健太、他	611	デジタルファブリケーション演習	3	○	○	○		富本 浩一郎	601		
教育実習基礎講座Ⅰ	3	○	○		○		渡部 明、他	611										
保育ソーシャルワーク論	3-4				○		竹下 徹	S1302										
3Q	企業とデータ分析	1				○	月4木3	谷村 琢也	オンライン	経営と数理モデル	2	○			○	火4金5	小柳 淳二	1142
4Q	微分積分基礎	1				○	月4木3	木島 正明	601	シミュレーション	2	○			○	火4金5	内田 善彦	1142
1Q	品質管理とデータ分析	3				○	月5金3	小柳 淳二	1141									
2Q																		
6時限	倫理学Ⅰ	1		○				寺田 篤史	S1303	持続可能な社会とダイバーシティ	1	○	○	○		中嶋健、他	S1304	
	倫理学Ⅰ	1		○				寺田 篤史	S1303	持続可能な社会とダイバーシティ	1	○	○	○		呉 賢、他	S1304	
	教師論	2		○		○		渡部 明	1125	教育原理	2	○	○	○		渡部 明	1141	
	ドイツ語Ⅱ	1		○				新枝 美帆	1121	基礎看護技術Ⅱ(診療に伴う技術)	2			○		杉本吉恵、他	S1402	
	ドイツ語Ⅱ	2		○				新枝 美帆	1121	地域コンテンツデザイン	2	○	○	○		長澤 雅彦	1123	
	教育方法論Ⅰ	2		○				大坂 遊	1142	地理歴史科教育法Ⅰ	3	○	○	○		大坂 遊	1122	
	経営戦略論Ⅰ	2		○				石谷 康人	S1304	スポーツ産業学	3		○	○		中嶋 健	611	
	高齢期疾病治療論	2						尾形 聡、他	S1402	行動経済学	3	○	○	○		田島 正士	S1302	
	ドイツ語Ⅱ	3						新枝 美帆	1121	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	3			○		輪倉 一広	S1303	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	3						竹下 徹	S1302	簿記上級Ⅰ	3	○	○	○		田村 匡礼	S1301	
スポーツ傷害評価演習	3		○				久保 誠司	601	地区活動論	4			○		鶴田来美、他	S1404		
公衆衛生看護管理論	4						鶴田来美、他	S1401										
専門ゼミⅠ	3	○					長澤 賢一	521										
専門ゼミⅠ	3	○					河田 正樹	522										
専門ゼミⅠ	3	○					木全 晃	523										
専門ゼミⅠ	3	○					小林 啓祐	524										
専門ゼミⅠ	3	○					佐藤 裕哉	525										
ドイツ語Ⅰ	1		○				新枝 美帆	1121	韓国語Ⅰ	1	○	○	○		李 萬善	1141		
ドイツ語Ⅰ	1		○				新枝 美帆	1121	韓国語Ⅰ	1	○	○	○		李 萬善	1141		
ドイツ語Ⅰ	2			○			新枝 美帆	1121	韓国語Ⅰ	2	○	○	○		李 萬善	1141		
国際ビジネス特論Ⅰ	1		○				赤木 真由、他	S1303	道徳教育	2	○	○	○		渡部 明	1142		
教育方法論Ⅱ	2		○				大坂 遊	1142	ファイナンス論	2	○	○	○		長澤 賢一	S1303		
経営戦略論Ⅱ	2		○				石谷 康人	S1304	ミクロ・マクロ経済学演習	2	○	○	○		村岡 浩次	1121		
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	3						守本 友美	S1302	地理歴史科教育法Ⅱ	3	○	○	○		大坂 遊	1122		
									ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	3			○		小林 武生	S1302		
									レクリエーション演習	3		○	○		中嶋 克成	601		
									簿記上級Ⅱ	3	○	○	○		田村 匡礼	S1301		
3Q	フィンテック・ブロックチェーン	3				○	月5木3	内田 善彦	1141									
4Q	AI・コンピュータと人間	3				○	月5木3	児玉 満、他	1141									
6時限	ニューラルネットワーク	2				○	月6金2	松村 遼	1141	感性情報処理	2				○	月4火6	土屋 敏夫	1142
	最適化モデリング	2				○	月6金2	矢島 安敏	1141									
										機能解剖学Ⅰ(総論・体幹)	2		○			小笠 博義、他	611	
	卒業研究	4						家根 明子	新館5F	卒業研究	4			○		岡田 純也	新館5F	
	卒業研究	4						井上 みゆき	新館5F	卒業研究	4			○		杉本 吉恵	新館5F	
	卒業研究	4						上野 和美	新館5F	卒業研究	4			○		田川 紀美子	新館5F	
	卒業研究	4						大達 亮	新館5F	卒業研究	4			○		田淵 哲二	新館5F	
	卒業研究	4						大平 光子	新館5F	卒業研究	4			○		辻 麻由美	新館5F	
	専門演習Ⅰ	4		○				中嶋 健	521	卒業研究	4			○		鶴田 来美	新館5F	
	専門演習Ⅰ	4		○				江崎 和希	生理学実験室	4			○		牛島 豊広	521		
専門演習Ⅰ	4		○				小笠 義博	522	卒業研究Ⅱ	4			○		梅田 勝利	522		
専門演習Ⅰ	4		○				奥本 正	生化学実験室	4			○		金子 幸	523			
専門演習Ⅰ	4		○				小野 高志	523	卒業研究Ⅱ	4			○		難波 利光	524		
専門演習Ⅰ	4		○				瀬尾 賢一郎	524	卒業研究Ⅱ	4			○		脇野 幸太郎	525		
専門演習Ⅰ	4		○				岡井 理香	525	専門ゼミⅡ	4			○		河田 正樹	531		
専門ゼミⅡ	4		○				赤木 真由	531	専門ゼミⅡ	4			○		木全 晃	532		
専門ゼミⅡ	4		○				石谷 康人	532	専門ゼミⅡ	4			○		小林 啓祐	533		
専門ゼミⅡ	4		○				稲垣 円	533	専門ゼミⅡ	4			○		佐藤 裕哉	534		
専門ゼミⅡ	4		○				岩本 直	534	専門演習Ⅰ	3			○		清原 泰治	535		
専門ゼミⅡ	4		○				岡本 次郎	535	専門演習Ⅰ	3			○		尾形 聡	生理学実験室		
									専門演習Ⅰ	3			○		東恩納 玲代	1121		
									専門演習Ⅰ	3			○		松本 香里	生化学実験室		
									専門演習Ⅰ	3			○		佐野村 学	1122		
									専門演習Ⅰ	3			○		水崎 佑毅	心理学実験室		
									専門演習Ⅰ	3			○		西山 健太	多目的スタジオ		

令和9(2027)年度 全学部学科時間割

期	科目名	水							木											
		開講曜限	担当者	教室	開講曜限	担当者	教室	開講曜限	担当者	教室	開講曜限	担当者	教室							
1時限	AI・機械学習基礎	2						水1水2	松村 遼	1141	生体情報分析	3						木1金6	日置、酒井	1142
	会計情報と経営	2						水1水2	小柳 淳二	1141										
	教養ゼミ	1	○						岡本 次郎	521	心理学Ⅰ	1	○	○	○	○	○		武田 昭昭	S1304
	教養ゼミ	1		○					井上みゆき、他	1121-1122	社会学と社会システム	1							瀬崎 亮	S1302
	教養ゼミ	1		○					尾形聡、他	522	簿記初級Ⅰ	1	○						林 徳順	S1303
	教養ゼミ	1		○					佐野村 学、他	523	周南Well-being創生論	2	○	○	○	○	○		渡部明、他	1125-1141
	教養ゼミ	1		○					井上 浩	524	地域・在宅看護実践	3							家根明子、他	S1401
	教養ゼミ	1		○					呉 朝	1123	社会福祉調査の基礎	3	○						牛島 豊広	S1301
	教養スポーツ実習Ⅰ	1	○	○	○	○	○	○	清原泰治、他	体育館、グラウンド	531	スポーツ心理学実験演習	3		○				水崎 佑毅	心理学実験室
	社会調査法入門	2	○	○	○	○	○	○	稲垣 円	S1304										
マクロ経済学Ⅰ(クラス1)	2	○						長澤 賢一	S1304											
マクロ経済学Ⅰ(クラス2)	2	○						尾尾 真一	S1301											
上級日本語Ⅱ	2	○						佐野 千亜紀	533											
子どもの遊びと造形	2-3-4	○						弘中 順一	S1302											
福祉的ターミナルケア	2	○						北村 光子	S1303											
総合英語中上級Ⅰ	3	○	○					田中 敦恵	532											
総合英語中上級Ⅱ	3-4	○	○					田中 敦恵	532											
アントレプレナーシップ実践	3	○						赤木 真由	1124											
通年																				
2時限	教養スポーツ実習Ⅱ	1	○	○	○				松生香里、他	体育館、グラウンド	健康とスポーツ	1	○	○	○	○	○		松崎 守利	1125
	障がいに対する理解	2		○				加地 信幸	611	健康とスポーツ	1-2-3-4								松崎 守利	1125
	刑事司法と福祉	2		○				脇野 幸太郎	S1303										林 徳順	S1303
	マクロ経済学Ⅱ(クラス1)	2	○					長澤 賢一	S1302										永野典詞	S1402
	マクロ経済学Ⅱ(クラス2)	2	○					田尾 真一	S1304										岩本 直	S1302
	公共経済学	3	○					田島 正士	S1301										長澤 賢一	S1304
	上級日本語Ⅲ	3	○					佐野 千亜紀	1122										北村 光子	S1301
	スポーツ傷害対応演習	3	○					久保 誠司	601											
	Webアプリケーション開発	3	○					児玉 満	1141											
	AI・画像情報処理	3	○					松村 遼	1142											
実践英語(数学)	2							道山 知成	1141	実践英語(数学)	2							水1木1	道山 知成	1141
3時限	AI・機械学習基礎	2						水1水2	松村 遼	1141	モデリングの数理	3						月4木2	小柳 淳二	1141
	会計情報と経営	2						水1水2	小柳 淳二	1141										
	教養ゼミ	1	○						木全 晃	1003	社会学	1	○	○	○	○	○		稲垣 円	1121
	教養ゼミ	1		○					渡邊淳子、他	1121-1122	介護基礎理論Ⅰ	1							小林 武生	S1302
	教養ゼミ	1		○					江崎和希、他	521	健康と福祉	2	○						北村 光子	S1303
	教養ゼミ	1		○					松生 香里、他	522	健康と福祉	2-3-4							北村 光子	S1303
	教養ゼミ	1		○					伊藤 敏安	1123	スポーツ傷害予防論	2		○					佐野村 学	611
	教養ゼミ	1		○					矢島 安敏	1124	簿記中級Ⅰ	2	○						林 徳順	S1301
	教養スポーツ実習Ⅰ	1	○	○	○	○	○	○	清原泰治、他	体育館、グラウンド	531	日本経済史	2	○	○	○	○	○	小林 啓祐	1124
	臨床薬理学	2	○						嶋本 顕	S1402	計量経済学	3	○						河田 正樹	1122
発達発達論	2	○						東恩納 玲代	611	国際政治経済学Ⅱ	3	○						岡本 次郎	1123	
コーチング論	3	○						西 博史	601	地域・在宅看護実践	3							家根明子、他	S1401	
租税論	3	○						田尾 真一	S1302	コンディショニング実習Ⅱ	3	○	○	○	○	○		小野 高志	記念館	
専門ゼミ1	3		○					内田 善彦	1126	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3							輪倉 一広	521	
専門ゼミ1	3		○					高藤 大介	1127	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3							牛島 豊広	522	
専門ゼミ1	3		○					木島 正明	1128	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3							守本 友美	523	
専門ゼミ1	3		○					呉 朝	523											
専門ゼミ1	3		○					児玉 満	525											
地域ゼミ	2	○	○					赤木 真由	531											
地域ゼミ	2	○	○					稲垣 円	532											
地域ゼミ	2	○	○					難波 利光	533											
地域ゼミ	2	○	○					梅田 勝利	534											
地域ゼミ	2	○	○					寺田 篤史	535											
教養スポーツ実習Ⅱ	1	○	○					松生 香里、他	体育館、グラウンド	S1304	地域づくり論	1	○						稲垣 円	1121
保育原理	1-2-3-4	○						金子 幸	S1304	地域づくり論	1-2-3-4								稲垣 円	1121
こころからのしくみ	3	○						原田 昌範、他	S1301	周南地域文化講座	1	○	○					小林 啓祐	1142	
総合英語中上級Ⅱ	3-4	○						西村 浩子	1121	周南地域文化講座	1-2-3-4							小林 啓祐	1142	
総合英語中上級Ⅱ	3-4	○						西村 浩子	1121	簿記中級Ⅱ	2	○						林 徳順	S1301	
専門ゼミ2	3		○					内田 善彦	1126	コンディショニング実習Ⅰ	2	○						佐野村 学	601	
専門ゼミ2	3		○					木島 正明	1128	国際政治経済学Ⅰ	2	○						岡本 次郎	1123	
専門ゼミ2	3		○					呉 朝	523	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2							輪倉 一広	521	
専門ゼミ2	3		○					児玉 満	525	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2							小林 武生	522	
管理工学	3	○						河田 正樹	S1302	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2							井上 浩	523	
公衆衛生	2	○						長谷亮佑	S1402	スポーツマネジメント	3	○						中嶋 健	S1302	
実践英語(AI)	2							橋本 喜代太	1141	財務管理論	3	○						長澤 賢一	1122	
生体情報システム	2							日置 智子	1141	国際保健	4							柳澤理子	S1401	
確率統計基礎	2																	木島 正明	1141	
Javaプログラミング	2																	児玉 満	1141	
教養ゼミ	1	○						伏木 貞文	521	子どもの理解	1							金子 幸	S1304	
教養ゼミ	1		○					石谷 康人	522	体力トレーニング論	1	○						西山 健太	611	
教養ゼミ	1		○					佐藤 裕哉	523	成人看護学概論	2							岡田純也、他	S1402	
教養ゼミ	1		○					清原泰治、他	524	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2							竹下 徹	521	
教養ゼミ	1		○					竹下 徹	1123	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2							牛島 豊広	522	
教養ゼミ	1		○					小柳 淳二	1121	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2							井上 浩	523	
教養スポーツ実習Ⅰ	1	○	○	○	○	○	○	松生 香里、他	体育館、グラウンド	531	健康医学	2		○				木村 相泰	601	
外国史Ⅰ	2	○						兼重 宗和	611	ミクロ経済学Ⅰ(クラス1)	2	○						田島 正士	1142	
セクシュアル・プロダクティブ看護方法	2	○						大平光子、他	S1402	ミクロ経済学Ⅰ(クラス2)	2	○						伏木 貞文	1125	
アルゴリズムとデータ構造	2	○						高藤 大介	1141	運動分子生物学	3	○						松生 里香	S1302	
地域デザイン実践	2	○						長澤 雅彦、他	S1304	管理会計論	3	○						林 徳順	1122	
証券投資論	3	○						長澤 賢一	S1302	コンテクストデザイン実践	3	○						赤木 真由、他	1121	
パラスポーツ論Ⅰ	3		○					宇野 直士	601	臨床遺伝学	3							山縣芳明、他	S1401	
専門ゼミ1	3		○					酒井 徹也	1126	保健医療福祉行政論	4							鶴田来美、他	S1404	
専門ゼミ1	3		○					土部 文崇	1128											
専門ゼミ1	3		○					土屋 敏夫	525											
専門ゼミ1	3		○					野村 典文	112											

令和9(2027)年度 全学部学科時間割

期	科目名	金					開講曜限	担当者	教室	
		履修単位	保健体育	看護	福祉	情報				
1時限	1 Q 実践英語(情報)	3				○	月1金1	内田 善彦	1142	
	2 Q データ分析基礎	1				○	月1金1	土屋 敏夫	1141	
	情報行動心理学	3				○	月1金1	羽瀨 由子	1142	
	前期	1 経済学・経営学の視点を学ぶ	1	○				岡本 次郎、他	1125	
	アントレプレナーシップ入門	2	○			○		石谷 康人	S1303	
	中上級日本語 I	2	○				留	山本 貴子	1124	
	地域福祉キャリア形成活動指導 II	2			○			北村光子、他	S1302	
	コンディショニング論	2		○				佐野村 学、他	601	
	障害者福祉	3			○			井上 浩	S1304	
	運動処方	3		○				江崎 和希、他	611	
公衆衛生看護方法	3			○		看	金12 鶴田来美、他	S1401		
社会的養護	3-4			○			川村 宏司	S1301		
通年										
後期	1 生涯発達論	1				○	看	梅村比丘	S1404	
学養学	1		○				尾形 聡	601		
異文化コミュニケーション	1	○					田中 数恵、他	1122		
異文化コミュニケーション	1-2-3-4				○		田中 数恵、他	1122		
学校保健	2		○				川崎 裕美、他	S1304		
総合英語初級Ⅱ	2			○			丹羽 仁美	1123		
人文地理学Ⅱ	2		○				佐藤 裕哉	S1303		
高齢者福祉	2			○			小林 武生	S1302		
経営管理論	2		○				木全 晃	1142		
スポーツソサライズム論	3		○				小笠原 正志	611		
環境経済学	3		○				田島 正士	S1301		
3 Q Webアプリケーション開発	2	○				水1金1	児玉 満	1141		
4 Q										
2時限	1 Q ニューラルネットワーク	2				○	月6・金2	松村 遼	1141	
	数値解析	3				○	火2金2	内田 善彦	1142	
	2 Q 最適化モデリング	2				○	月6・金2	矢島 安敏	1141	
	前期	1 人体の構造と機能 I	1			○		看	宮本 達雄、他	S1404
	地域観光まちづくり論	1	○			○		社	難波 利光	S1304
	生理学	1		○				尾形 聡	611	
	総合英語初級Ⅰ(クラス7)	2			○			丹羽 仁美	1123	
	総合英語初級Ⅰ(クラス9)	2	○					田中 数恵	1124	
	総合英語初級Ⅰ(クラス11)	2	○					中光 義亮	531	
	総合英語初級Ⅰ(クラス13)	2	○					非常勤A	532	
総合英語初級Ⅰ(クラス1)	2		○				留	新枝 美帆	533	
日本語口頭表現	2		○				立部 文崇	521		
中上級日本語Ⅱ	2			○			山本 貴子	525		
総合英語初級Ⅰ(クラス4)	2			○			西村 浩子	1121		
ゴール型球技(クラス1)	2		○				水崎 佑毅、他	611		
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3			○			教	輪倉 一広	522	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3			○			小林 武生	523		
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3			○			井上 浩	524		
健康運動演習	3		○				江崎 和希、他	601		
アジア経済論	3		○				岡本 次郎	S1303		
公衆衛生看護方法	3			○		看	金12 鶴田来美、他	S1401		
看護管理学	4			○		看	上野和美	S1402		
通年										
後期	1 アカデミックライティング	1	○	○				寺田 篤史	534	
医学概論	1			○			木村 相泰	S1304		
総合英語初級Ⅱ(クラス7)	2			○			丹羽 仁美	1123		
総合英語初級Ⅱ(クラス9)	2	○					田中 数恵	1124		
総合英語初級Ⅱ(クラス11)	2	○					中光 義亮	531		
総合英語初級Ⅱ(クラス13)	2	○					原田 浩子	532		
総合英語初級Ⅱ(クラス1)	2		○				留	新枝 美帆	533	
中上級日本語Ⅲ	2		○				山本 貴子	521		
総合英語初級Ⅱ(クラス4)	2			○			西村 浩子	1121		
ネット型球技(クラス1)	2		○				西 博史、他	体育館		
保健体育科教育法Ⅳ	3		○				教	瀬尾 賢一郎	601	
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3			○			輪倉 一広	522		
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3			○			小林 武生	523		
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3			○			井上 浩	524		
3 Q 多変量解析	2	○				金2金3	道山 知成	1141		
4 Q コンピュータグラフィックス	2					金2金3	呉 勲	1141		
3時限	1 Q 確率統計基礎	2				○	木3金3	木島 正明	1141	
	品質管理とデータ分析	3				○	月5金3	小柳 淳二	1142	
	2 Q Javaプログラミング	2				○	木3金3	児玉 満	1141	
	前期	1 総合英語初級Ⅰ(クラス4)	1			○		西村 浩子	1121	
	英会話初級Ⅰ(クラス5)	1			○		ポーリーン	1122		
	統計学基礎Ⅰ	1	○					河田 正樹	S1304	
	総合英語初級Ⅰ(クラス8)	2			○			丹羽 仁美	1123	
	総合英語初級Ⅰ(クラス10)	2	○					田中 数恵	1124	
	総合英語初級Ⅰ(クラス12)	2	○					中光 義亮	531	
	総合英語初級Ⅰ(クラス14)	2	○					原田 浩子	532	
総合英語初級Ⅰ(クラス2)	2		○				留	新枝 美帆	533	
貧困に対する支援	2			○			社	難波 利光	S1303	
ゴール型球技(クラス2)	2		○				水崎 佑毅、他	611		
成人急性期看護実践(前)	3			○		看	金34 渡邊多恵、他	S1401		
成人慢性期看護実践(後)	3			○		看	金34 中谷信江、他	S1401		
保健体育科実践演習	3		○			教	瀬尾 賢一郎	611		
流通論	3		○				林 徳順	S1301		
通年										
後期	1 総合英語初級Ⅱ(クラス4)	1				○		西村 浩子	1121	
英会話初級Ⅱ(クラス5)	1			○			ポーリーン	1122		
基礎看護技術Ⅰ(日常生活援助)	1			○			看	杉本吉恵、他	S1404	
統計学基礎Ⅱ	1	○					河田 正樹	S1304		
アスレティックトレーニング概論	1		○				佐野村 学	601		
総合英語初級Ⅱ(クラス8)	2			○			丹羽 仁美	1123		
総合英語初級Ⅱ(クラス10)	2	○					田中 数恵	1124		
総合英語初級Ⅱ(クラス12)	2	○					中光 義亮	531		
総合英語初級Ⅱ(クラス14)	2	○					原田 浩子	532		
総合英語初級Ⅱ(クラス2)	2		○				留	新枝 美帆	533	
ネット型球技(クラス2)	2-2		○				西 博史、他	体育館		
政策評価	2-3-4			○			伊藤 敏安	S1303		
NPO・ボランティア論	3			○			牛島 豊広	S1302		
保健体育科実践演習	3		○				瀬尾 賢一郎	611		
環境経営	3		○				木全 晃	S1301		
3 Q 多変量解析	2	○				金2金3	道山 知成	1141		
4 Q コンピュータグラフィックス	2					金2金3	呉 勲	1141		

令和9(2027)年度 全学部学科時間割

期	科目名	金					開講曜限	担当者	教室	
		経済	スポーツ	看護	福祉	情報				
4時限	1 Q 情報科学概論	1				○	火4金4	木島 正明、他	1142	
	2 Q Python応用	1				○	月4金4	酒井 徹也	1142	
	前期	総合英語初級Ⅰ(クラス5)	1				○	金34 金34	西村 浩子	1121
		英会話初級Ⅰ(クラス4)	1				○		ポーリーン	1122
		経済史Ⅰ	1	○					小林 啓祐	S1304
		総合英語中級Ⅰ(クラス3)	2		○				新枝 美帆	533
		プログラミング	2				○		高藤 大介	1141
		経済統計	2	○					河田 正樹	601
		栄養代謝学	2			○			八木香里	S1402
		特別活動及び総合的な学習の時間	3	○	○		○		石橋 孝明	S1302
		成人急性期看護実践(前)	3			○			渡邊多恵、他	S1401
		成人慢性期看護実践(後)	3			○			中谷信江、他	S1401
	保健医療と福祉	4			○	○	守本 友美	S1301		
	通年	地域ゼミ	2				○	金子 幸	522	
		地域ゼミ	2				○	北村 光子	523	
		地域ゼミ	2				○	脇野 幸太郎	524	
専門ゼミⅠ		3	○				田尾 真一	531		
専門ゼミⅠ		3	○				田島 正士	532		
専門ゼミⅠ		3	○				赤木 真由	534		
専門ゼミⅠ		3	○				長澤 雅彦	535		
後期	基礎看護技術Ⅰ(日常生活援助)	1				○	金34	杉本吉恵、他	S1404	
	総合英語初級Ⅱ(クラス5)	1				○	西村 浩子	1121		
	英会話初級Ⅱ(クラス4)	1				○	ポーリーン	1122		
	内科学	1		○			尾形 聡	611		
	やまぐち地域福祉発達史	1-2-3-4				○	真木 奈美	S1304		
	総合英語中級Ⅱ(クラス3)	2		○			新枝 美帆	533		
	公衆衛生看護活動Ⅰ	2				○	鶴田来美、他	S1402		
	ソーシャルアントレプレナーシップ	2	○			○	林 浩喜	521		
	商業学	2	○			○	林 徳順	S1303		
	教育行政論	3	○			○	石橋 孝明	S1302		
3 Q 線形代数基礎	1				○	月1金4	道山 知成	1141		
4 Q データサイエンス概論	1				○	月1金4	矢島 安敏	1141		
5時限	前期	1 Q 数学	1	○	○			月5・金5 月5・金5	河田 正樹	1122
		ドイツ語Ⅱ	2	○	○				新枝 美帆	1121
		ドイツ語Ⅱ	3	○	○				新枝 美帆	1121
		ドイツ語Ⅱ	2-3-4	○	○				新枝 美帆	1121
		生徒指導論	2	○	○				石橋 孝明	1141
		公衆衛生看護学概論	2				○		鶴田来美、他	S1402
		金融論	2	○					長澤 賢一	1125
		保健体育科教育法Ⅲ	3	○					瀬尾 賢一郎	611
		ソーシャルワーク演習Ⅴ	4				○		輪倉 一広	521
		ソーシャルワーク演習Ⅴ	4				○		井上 浩	522
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4				○	守本 友美	523		
	通年	専門ゼミⅠ	3	○				林 徳順	531	
		専門ゼミⅠ	3	○				百武 仁志	532	
		専門ゼミⅠ	3	○				伏木 貞文	533	
		専門ゼミⅠ	3	○				村岡 浩次	534	
		専門ゼミⅠ	3	○				呉 賢	535	
ドイツ語Ⅰ		1-2-3-4	○	○			月5・金5 月5・金5	新枝 美帆	1121	
後期	ドイツ語Ⅰ	2	○	○			新枝 美帆	1121		
	ドイツ語Ⅰ	2	○	○			新枝 美帆	1121		
	教育課程論(クラス1)	1	○	○			大坂 遊	S1304		
	教育課程論(クラス2)	1	○	○			石橋 孝明	S1303		
	特別支援教育	3	○	○			中嶋 克成	611		
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3				○	輪倉 一広	521		
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3				○	小林 武生	522		
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3				○	井上 浩	523		
3 Q 経営と数理モデル	2	○			○	火4金5	小柳 淳二	1142		
4 Q シミュレーション	2	○			○	火4金5	内田 善彦	1142		
6時限	前期	1 Q IoT&AI	2				木6金6	橋本 喜代太	1141	
		2 Q 生体情報分析	3				木1金6	日置、酒井	1142	
	通年	卒業研究	4					藤井 宝恵	新館5F	
		卒業研究	4					松浦 純平	新館5F	
		卒業研究	4					山本 八千代	新館5F	
		卒業研究	4					渡邊 淳子	新館5F	
		卒業研究	4					渡邊 多恵	新館5F	
		専門演習Ⅱ	4		○			清原 泰治	521	
		専門演習Ⅱ	4		○			尾形 聡	生理学実験室	
		専門演習Ⅱ	4		○			東恩納玲代	522	
専門演習Ⅱ		4		○			松生 香里	生化学実験室		
専門演習Ⅱ		4		○			小野 高志	523		
専門演習Ⅱ	4		○			水崎 佑毅	心理学実験室			
専門演習Ⅱ	4		○			西山 健太	524			
専門ゼミⅡ	4	○				百武 仁志	531			
専門ゼミⅡ	4	○				伏木 貞文	532			
専門ゼミⅡ	4	○				村岡 浩次	533			
専門ゼミⅡ	4	○				呉 賢	534			
後期	3 Q 認知・感性とデータ分析	2				○	木4金6	土屋、橋本、酒井	1142	
	4 Q 大規模・オープンデータ分析	2				○	木4金6	松村、小柳、道山	1142	

周南公立大学情報科学部情報科学科時間割

Main timetable table with columns for 期 (Semester), 科目名 (Subject Name), 配当年次 (Year), 開講曜限 (Days/Times), 担当者 (Instructor), 教室 (Classroom), and 科目名 (Subject Name), 配当年次 (Year), 開講曜限 (Days/Times), 担当者 (Instructor), 教室 (Classroom).

専攻履修 (Specialization Course Completion) table with columns for 履修科目 (Completed Course), 履修年次 (Completed Year), 履修曜日 (Completed Day), 履修時間 (Completed Time).

専攻履修 (Specialization Course Completion) table with columns for 履修科目 (Completed Course), 履修年次 (Completed Year), 履修曜日 (Completed Day), 履修時間 (Completed Time).

専攻履修 (Specialization Course Completion) table with columns for 履修科目 (Completed Course), 履修年次 (Completed Year), 履修曜日 (Completed Day), 履修時間 (Completed Time).

専攻履修 (Specialization Course Completion) table with columns for 履修科目 (Completed Course), 履修年次 (Completed Year), 履修曜日 (Completed Day), 履修時間 (Completed Time).

令和9(2027)年度 全学部学科時間割

期	科目名	月						火											
		開講曜日	開講時間	開講曜日	開講時間	開講曜日	開講時間	開講曜日	開講時間	開講曜日	開講時間								
1 時 限	1 Q 実践英語(情報)	3					月1金1	内田 善彦	1142	実社会とデータ分析	1					月2火1	矢島 安敏	1141	
	2 Q データ分析基礎	1					月1金1	土屋 敏夫	1141	社会調査法	3					月2火1	羽瀧 由子	1142	
	3 Q 情報行動心理学	3					月1金1	羽瀧 由子	1142	AI-推薦システム	3					月2火1	野村 典文、他	1141	
	前期	総合英語初級 I (クラス6)	1						丹羽 仁美	1121	ソーシャルワークの基礎と専門職 I	1						竹下 徹	S1304
		英会話初級 I (クラス8)	1						ダーシー	1123	日本史 I	2						小林 啓祐	S1303
		経営学入門 I (クラス1)	1						木全 晃	1125	権利擁護を支える法制度	2						脇野 幸太郎	S1302
		経営学入門 I (クラス2)	1						石谷 康人	S1303	高齢者看護学概論	2						田淵啓二	S1402
		小児看護学概論(前)	2						井上 みゆき	S1402	財務会計論	2						林 徳順	S1301
		精神看護学概論(後)	2						羽生 貞親、他	S1402	地域デザイン実践	2						長澤 雅彦、他	1122
		スポーツ傷害論 I (体験・実習外)	2						小笠 博義	611	中国経済論	3						呉 賢	1121
		上級日本語 I	2						佐野 千亜紀	1122	財務管理論	3						長澤 賢一	1123
		地域マネジメント論	2-3-4						伊藤 敏安	S1302	スポーツ産業学演習	3						中嶋 健	611
国際マーケティング論		3						伊藤 敏安	S1304	疫学演習	4						鶴田来美	S1404	
リコンディショニング論	3						久保 誠司	601	リコンディショニング実習 II	4						小野 高志	601		
都市経済学	3						伏木 貞文	S1301											
通年	地域ゼミ	2						清原 泰治	521										
	地域ゼミ	2						岡井 理香	522										
	地域ゼミ	2						瀬尾 賢一郎	523										
地域ゼミ	2						長澤 雅彦	524											
後期	総合英語初級 II (クラス6)	1						丹羽 仁美	1121	心理学 II	1						武田 朋昭	1125	
	英会話初級 II (クラス8)	1						ダーシー	1123	法律学 I	1						水野 陽一	1124	
	健康まちづくり論	1-2-3-4						難波 利光	S1304	コミュニケーション論	1						杉本 吉恵	S1404	
	スポーツ医学	1						小笠 博義、他	611	ソーシャルワークの基礎と専門職 II	1						守本 友美	S1304	
	経営学入門 II (クラス1)	1						木全 晃	S1302	子どもの遊びと援助	1-2-3-4						金子 幸	S1301	
	経営学入門 II (クラス2)	1						石谷 康人	S1303	地域公共政策論	1-2-3-4						伊藤 敏安	S1302	
	女性アスリートスポーツ論	2						松生 香里	601	日本史 II	2						小林 啓祐	S1303	
	地域・在宅支援論	2						家根明子、他	S1402	中級統計学	2						河田 正樹	1122	
	経済地理学	2-3-4						岩本 直	1125	小児看護方法	2						井上みゆき、他	S1402	
	メンタルトレーニング演習	3						水崎 佑毅	心理学実験室	3						中嶋 健	611		
グローバル企業分析	3-4						伏木 貞文	1124	看護政策論(前)	4						岩澤 和子	S1401		
看護教育(後)	4								看護教育(後)	4						渡邊 淳子	S1401		
リコンディショニング実習 III	4								リコンディショニング実習 III	4						佐野村 学、他	601		
3 Q 線形代数基礎	1					月1金1	道山 知成	1141	VBAプログラミング	1						月2火1	呉 勲	1141	
	3 Q コーパス言語学	3				月1木1	立部 文崇	1142											
	4 Q データサイエンス概論	1				月1金4	矢島 安敏	1141	情報エンジニアリング概論	1						月2火1	野村 典文	1141	
2 時 限	1 Q 実社会とデータ分析	1					月2火1	矢島 安敏	1141	数値解析	3					火2金2	内田 善彦	1142	
	2 Q 社会調査法	3					月2火1	羽瀧 由子	1142										
	3 Q 計算機概論	1					月2火1	野村 典文、他	1141	マーケティングリサーチ	3					月4火2	谷村 琢也	オンライン	
	4 Q AI-推薦システム	3					月2火1	西郷 彰	オンライン										
	前期	総合英語初級 I (クラス7)	1						丹羽 仁美	1121	周南Well-being創生入門	1						渡部 明	1125.1141
		総合英語初級 I (クラス1)	1						新枝 美帆	1122	中国語 II	2						河村 玉	521
		総合英語初級 I (クラス9)	1						中光 義亮	531	中国語 II	2-3-4						河村 玉	521
		総合英語初級 I (クラス11)	1						田中 敬恵	532	ダンス(クラス1)	2-3-4						大庭 尚子	多目的スタジオ
		総合英語初級 I (クラス13)	1						原田 浩子	533	マーケティング論 I	2						呉 賢	S1304
		総合英語初級 I (クラス13)	1						ダーシー	1123	民法 I	2						田村 耕一	1123
		英会話初級 I (クラス6)	1						トラバス・キャンヘル	534	社会福祉法人会計	2-3-4						梅田 勝利	S1302
		英会話初級 I (クラス3)	1						ショーナ	1124	メンタルトレーニング論	3						水崎 佑毅	601
英会話初級 I (クラス12)		1						Scott Tracey	535	多職種協働演習	3						守本 友美	S1303	
英会話初級 I (クラス14)		1					留	月23-水56	山本 晋也、他	525	国際経済学 II	3					村岡 浩次	S1301	
中級日本語	1						藤川 卓也	S1304	疫学演習	4						鶴田来美	S1404		
心理学と心理的支援	2						清原 泰治、他	611											
社会福祉法制	2						難波 利光	S1301											
健康まちづくり論	2						稲垣 円	S1302											
社会政策	3						大平光子、他	S1401											
多職種連携	3						瀬尾 賢一郎	記念館											
幼児体育	3-4						西山 健太	多目的スタジオ											
スポーツバイオメカニクス演習	3						中嶋 克成	601											
レクリエーション実習	4						岩本 直	521											
通年	地域ゼミ	2						佐藤 裕哉	522										
	地域ゼミ	2						小林 啓祐	523										
	地域ゼミ	2						石谷 康人	524										
後期	総合英語初級 II (クラス7)	1						丹羽 仁美	1121	中国語 I	1						河村 玉	521	
	総合英語初級 II (クラス1)	1						新枝 美帆	1122	中国語 I	1-2-3-4						河村 玉	521	
	総合英語初級 II (クラス9)	1						中光 義亮	531	マーケティング論 II	2						呉 賢	S1304	
	総合英語初級 II (クラス11)	1						田中 敬恵	532	介護演習 I	1-2-3-4						北村 光子	S1303	
	総合英語初級 II (クラス13)	1						原田 浩子	533	小児看護方法	2						井上みゆき、他	S1402	
	総合英語初級 II (クラス13)	1						ダーシー	1123	スポーツ傷害論 II (下肢・上肢)	2						小笠 博義	611	
	英会話初級 II (クラス6)	1						トラバス・キャンヘル	534	民法 II	2						田村 耕一	1123	
	英会話初級 II (クラス3)	1						ショーナ	1124	国際経済学 I	2						村岡 浩次	S1301	
	英会話初級 II (クラス12)	1						Scott Tracey	535	都市経済学演習	3						伏木 貞文	S1302	
	英会話初級 II (クラス14)	1					留	月23-水56	佐野 千亜紀	525	体つくり運動(クラス1)	3					前田 一篤	記念館	
日本語会話中上級 II	1						原田昌徳	S1402	開発途上国論	3						岡本 次郎	1121		
微生物・感染制御学	2						小野 高志、他	611											
検査測定評価演習	2						田尾 真一	S1302											
地方財政論	3-4						西山 健太	多目的スタジオ											
スポーツバイオメカニクス実習	3																		
3 Q VBAプログラミング	1					月2火1	呉 勲	1141	実践英語(AI)	2						火2水2	橋本 喜代太	1141	
	4 Q AI-画像情報処理	3				月2火1	松村 遼	1142											
	情報エンジニアリング概論	1				月2火1	野村 典文	1141	生体情報システム	2						火2水2	日置 智子	1141	
金融データ解析	3				月2水2	木島 正明	1142	金融データ解析	3						月2水2	木島 正明	1142		
1 Q ヒューマンコンピュータインタラクション	3				月3火3	土屋 敏夫	1141	ヒューマンコンピュータインタラクション	3						月3火3	土屋 敏夫	1141		
3 時 限	2 Q 医療情報システム	3				月3火3	児玉 満	1141	医療情報システム	3						月3火3	児玉 満	1141	
	前期	総合英語初級 I (クラス8)	1						丹羽 仁美	1121	メンタルヘルス入門	1						羽生 貞親	1123
		総合英語初級 I (クラス2)	1						新枝 美帆	1122	メンタルヘルス入門	1-2-3-4						羽生 貞親	1123
		総合英語初級 I (クラス10)	1						中光 義亮	531	解剖学	1						小笠 博義、他	611
		総合英語初級 I (クラス12)	1						田中 敬恵	532	中国語 II	2						河村 玉	521
		総合英語初級 I (クラス14)	1						原田 浩子	533	中国語 II	2-3-4						河村 玉	521
		英会話初級 I (クラス7)	1						ダーシー	1123	ビジネス英会話	2						ポーリン	1121
		英会話初級 I (クラス1)	1						トラバス・キャンヘル	534	ダンス(クラス2)	2						大庭 尚子	多目的スタジオ
		英会話初級 I (クラス9)	1						ショーナ	1124	経営史 I	2						呉 賢	1125
		英会話初級 I (クラス11)	1						Scott Tracey	535	子どもの保健	2-3-4						光武 きよみ	S1303
		中級日本語	1					留	月23-水56	山本 晋也、他	525	小児看護実践(前)	3						

令和9(2027)年度 全学部学科時間割

期	水										木												
	科目名	単位数	履修制限	スポーツ	看護	福祉	情報	区分	開講曜限	担当者	教室	科目名	単位数	履修制限	スポーツ	看護	福祉	情報	区分	開講曜限	担当者	教室	
4 時限	1 Q	データベース	2						水45	野村 典文	オンライン	AI・自然言語処理	3							木45	橋本 喜代太	1141	
	2 Q	言語情報学	2						水45	立部 文崇	1141												
	前期	1	教養ゼミ	1	○						田島 正士	521	哲学	1	○	○	○	○	○			渡部 明	1124
		1	教養ゼミ	1	○						百武 仁志	522	哲学	1	○	○	○	○	○			渡部 明	1124
		1	教養ゼミ	1	○						稲垣 円	523	創造的問題解決	1	○	○	○	○	○			赤木 真由	S1304
		1	教養ゼミ	1	○	○					中嶋健、他	524	韓国語Ⅱ	2	○	○	○	○	○		木45	李 萬善	1121
		1	教養ゼミ	1	○						梅田 勝利	1123	韓国語Ⅱ	2	○	○	○	○	○		木45	李 萬善	1121
		1	教養ゼミ	1	○						橋本 喜代太	1124	韓国語Ⅱ	3	○	○	○	○	○			李 萬善	1121
		1	教養スポーツ実習Ⅰ	1	○	○	○	○			東恩納 玲代、他	体育館、グラウンド	成人期疾病治療論	2	○	○	○	○	○			尾形 聡、他	S1402
		2	セクシュアルリアリティ看護方法	2	○				看	水34	大平光子、他	S1402	社会保障Ⅰ	2	○	○	○	○	○			脇野 幸太郎	S1303
		2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	○				看		竹下 徹	S1303	社会保障論Ⅰ	2	○	○	○	○	○			脇野 幸太郎	S1303
		2	運動生理学	2	○	○					江崎 和希	601	都市計画論	2	○	○	○	○	○			小林 啓祐	1142
		2	中小企業論	2	○						百武 仁志	S1304	器械運動(クラス1)	2	○	○	○	○	○		教	瀬尾 賢一郎、他	記念館
		2	経営組織論Ⅰ	2	○						木全 晃	S1301	地誌学Ⅰ	3	○	○	○	○	○			佐藤 裕哉	531
		3	教職ボランティア実習	3	○	○			教		大坂 遊、他	611	地域スポーツ文化論	3	○	○	○	○	○			清原 泰治	601
		3	コミュニケーションスキル	3	○				教		羽生貞親、他	S1401	地域経済論Ⅱ	3	○	○	○	○	○			村岡 浩次	S1302
	3	専門ゼミ1	3	○						羽瀨 由子	1126	地域保健活動展開論	4	○	○	○	○	○			鶴田来美	S1404	
	3	専門ゼミ1	3	○						日置 智子	1127												
	3	専門ゼミ1	3	○						松村 遼	1128												
	3	専門ゼミ1	3	○						道山 知成	1121												
3	専門ゼミ1	3	○						矢島 安敏	1122													
3	専門ゼミ1	3	○						小柳 淳二	525													
後期	1	人の健康生活	1	○					水34	山本 八千代、他	S1304	情報倫理	1	○	○	○	○	○			渡部明	1141	
	1	人の健康生活	1	○						山本 八千代、他	S1304	情報倫理	1	○	○	○	○	○			渡部明	1141	
	2	成人看護方法	2	○				看		中谷信江、他	S1402	スポーツバイオメカニクス	1	○	○	○	○	○			西山 健太	611	
	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	○				看		井上 浩	S1303	経済史Ⅱ	1	○	○	○	○	○			小林 啓祐	1122	
	2	エアロビックダンス	2	○	○					大庭 尚子	多目的スタジオ	精神看護方法	2	○	○	○	○	○		看	木45	木45	
	2	経営組織論Ⅱ	2	○						木全 晃	S1301	社会保障Ⅱ	2	○	○	○	○	○			羽生 貞親、他	S1402	
	2	リコンディショニング実習Ⅰ	2	○						久保 誠司	611	社会保障論Ⅱ	2	○	○	○	○	○			難波 利光	S1303	
	3	専門ゼミ2	3	○						酒井 徹也	1126	体力測定と評価	2	○	○	○	○	○			東恩納 玲代	601	
	3	専門ゼミ2	3	○						日置 智子	1127	地域経済論Ⅰ	2	○	○	○	○	○			村岡 浩次	S1304	
	3	専門ゼミ2	3	○						松村 遼	1128	原価計算論	2	○	○	○	○	○			福原 道照	1121	
	3	専門ゼミ2	3	○						道山 知成	1121	運動分子生物学演習	3	○	○	○	○	○			松生 里香	記念館	
	3	専門ゼミ2	3	○						矢島 安敏	1122	地誌学Ⅱ	3	○	○	○	○	○			佐藤 裕哉	531	
	3	専門ゼミ2	3	○						土屋 敏夫	525	子どもの遊びと言葉	3-4	○	○	○	○	○			金子 幸	S1301	
	4	アジアビジネス論	3	○						呉 賢	S1302												
4	教職実践演習	4	○				教		渡部 明、他	601													
3 Q	ソフトウェア工学	2						火6水4	野村 典文	オンライン	認知・感性とデータ分析	2							木4金6	土屋、立部、酒井	1142		
4 Q	インターネットマーケティング	2						火6水4	西郷 彰	1141	大規模・オープンデータ分析	2							木4金6	松村、小柳、道山	1142		
5 時限	1 Q	データベース	2					水45	野村 典文	オンライン	AI・自然言語処理	3							木45	橋本 喜代太	1141		
	2 Q	言語情報学	2					水45	立部 文崇	1141													
	前期	1	中級日本語	1	○				留	月23・水56	山本 晋也、他	525	看護学概論	1	○	○	○	○	○		看	木45	木45
		1	日本国憲法	1	○	○					新井 誠	1125	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	○	○	○	○	○			杉本吉恵・上野和美	S1404
		1	日本国憲法	1	○						新井 誠	1125	企業概論Ⅰ	1	○	○	○	○	○		看	輪倉 一広、他	S1304
		2	周産期小児期疾病治療論	2	○				看		平林啓、他	S1402	地域福祉経済論	2	○	○	○	○	○			百武 仁志	1125
		2	スポーツ運動学	2	○	○					西 博史	611	韓国語Ⅱ	2	○	○	○	○	○			伊藤 敏安	S1303
		2	商法Ⅰ	2	○						川崎 政之、他	531	韓国語Ⅱ	2	○	○	○	○	○			李 萬善	1121
		2	政治制度論	2	○						山脇 直祐	S1303	器械運動(クラス2)	2	○	○	○	○	○		教	瀬尾 賢一郎、他	記念館
		3	野外教育論	3	○				教		三原 善伸	601	社会科教育法Ⅰ	2	○	○	○	○	○			大坂 遊	1122
		3	職業指導Ⅰ	3	○						坂本 勲	1121	社会科教育法Ⅱ	3	○	○	○	○	○			福原 道照	1123
		3	職業指導Ⅰ	3	○								外国語講義(英語)	3	○	○	○	○	○			岡本 次郎	S1301
	4	職業指導Ⅰ	4	○								スポーツ教育実践演習	3	○	○	○	○	○			岡井 理香	601	
	4	職業指導Ⅰ	4	○								へき地・地域医療	4	○	○	○	○	○		看	原田昌範	S1401	
4	職業指導Ⅰ	4	○								精神疾病治療論	2	○	○	○	○	○			岡村 仁	S1402		
4	職業指導Ⅰ	4	○								韓国語Ⅱ	3	○	○	○	○	○			李 萬善	1121		
後期	1	安全な患者介助	2	○				看		杉本吉恵	S1402	地域・在宅看護概論(前)	1	○	○	○	○	○		看	木45	木45	
	2	商法Ⅱ	2	○				教		川崎 政之、他	531	地域・在宅看護概論(後)	1	○	○	○	○	○			家根 明子	S1404	
	2	スポーツ傷害対応論	2	○	○					佐野村 学	611	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1	○	○	○	○	○		看	大平 光子	S1404	
	3	職業指導Ⅱ	3	○						坂本 勲	1121	企業概論Ⅱ	1	○	○	○	○	○			輪倉 一広、他	S1304	
	3	健康運動実習	3	○						奥本正、他	601	福祉自治論	1	○	○	○	○	○			百武 仁志	1125	
	3	健康運動実習	3	○						新井 誠	1125	社会科教育法Ⅱ	2	○	○	○	○	○			水谷 利亮	S1303	
	3	健康運動実習	3	○								公衆衛生看護活動Ⅱ	2	○	○	○	○	○			大坂 遊	1122	
	3	健康運動実習	3	○								救急処置法	2	○	○	○	○	○			鶴田来美、他	S1402	
	3	健康運動実習	3	○								スポーツ教育実践実習	3	○	○	○	○	○			後藤 慶	601	
	3	健康運動実習	3	○								商業科教育法Ⅱ	3	○	○	○	○	○		教	岡井 理香	611	
3 Q											情報ネットワークとセキュリティ	2							月6木5	内田 善彦、他	1141		
4 Q											組み込みシステム	2							月6木5	高藤 大介	1141		
1 Q											IoTとAI	2							木6金6	橋本 喜代太	1141		
6 時限	1 Q																						
	2 Q																						
	前期	1	中級日本語	1	○				留	月23・水56	山本 晋也、他	525	卒業研究Ⅰ	3	○	○	○	○	○			牛島 豊広	521
		2	保健体育科教育法Ⅰ	2	○						瀬尾 賢一郎	611	卒業研究Ⅰ	3	○	○	○	○	○			梅田 勝利	522
		2	救急対応実践Ⅰ	2	○						佐野村 学	601	卒業研究Ⅰ	3	○	○	○	○	○			金子 幸	523
		2	救急対応実践Ⅰ	2	○								卒業研究Ⅰ	3	○	○	○	○	○			難波 利光	524
		2	救急対応実践Ⅰ	2	○																		

令和9(2027)年度 全学部学科時間割

期	科目名	金					開講曜限	担当者	教室
		開講	スポーツ	看護	福祉	情報			
1時限	1 Q 実践英語(情報)	3				○	月1金1	内田 善彦	1142
	2 Q データ分析基礎	1				○	月1金1	土屋 敬夫	1141
	情報行動心理学	3				○	月1金1	羽瀧 由子	1142
	前期	経済学・経営学の視点を学ぶ アントレプレナーシップ入門	1	○				岡本 次郎、他	1125
	中上級日本語Ⅰ	2	○				石谷 康人	S1303	
	地域福祉キャリア形成活動指導Ⅱ	2		○			山本 貴子	1124	
	コンディショニング論	2		○			北村光子、他	S1302	
	障害者福祉	3		○			佐野村 学、他	601	
	運動処方	3		○			井上 浩	S1304	
	公衆衛生看護方法	3		○			江崎 和希、他	611	
社会的養護	3・4		○			鶴田来美、他	S1401		
川村 宏司							S1301		
通年									
後期	生涯発達論	1					梅村比丘	S1404	
栄養学	1		○				尾形 聡	601	
異文化コミュニケーション	1	○					田中 数恵、他	1122	
異文化コミュニケーション	1・2・3・4						田中 数恵、他	1122	
学校保健	2		○				東恩納 玲代、他	S1304	
総合英語初級Ⅱ	2		○				丹羽 仁美	1123	
人文地理学Ⅱ	2		○				佐藤 裕哉	S1303	
高齢者福祉	2		○				小林 武生	S1302	
経営管理論	2		○				木全 晃	1142	
スポーツツーリズム論	3		○				清原 泰治	611	
環境経済学	3		○				田島 正士	S1301	
3 Q Webアプリケーション開発	2	○				水1金1	児玉 満	1141	
4 Q									
2時限	1 Q ニューラルネットワーク	2				○	月6・金2	松村 遼	1141
	数値解析	3				○	火2金2	内田 善彦	1142
	2 Q 最適化モデリング	2				○	月6・金2	矢島 安敏	1141
	前期	人体の構造と機能Ⅰ	1					宮本 達雄、他	S1404
	地域観光まちづくり論	1	○				難波 利光	S1304	
	生理学	1		○			尾形 聡	611	
	総合英語初級Ⅰ(クラス7)	2		○			丹羽 仁美	1123	
	総合英語初級Ⅰ(クラス9)	2		○			田中 数恵	1124	
	総合英語初級Ⅰ(クラス11)	2		○			中光 義亮	531	
	総合英語初級Ⅰ(クラス13)	2		○			非常勤A	532	
総合英語初級Ⅰ(クラス1)	2		○			新枝 美帆	533		
日本語口頭表現	2		○			立部 文崇	521		
中上級日本語Ⅱ	2		○			山本 貴子	525		
総合英語初級Ⅰ(クラス4)	2		○			西村 浩子	1121		
ゴール型球技(クラス1)	2		○			水崎 佑毅、他	記名館、宇内グラウンド		
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3		○			輪倉 一広	522		
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3		○			小林 武生	523		
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3		○			井上 浩	524		
健康運動演習	3		○			江崎 和希、他	601		
アジア経済論	3		○			岡本 次郎	S1303		
公衆衛生看護方法	3		○			鶴田来美、他	S1401		
看護管理学	4		○			上野和美	S1402		
通年									
後期	アカデミックライティング	1					寺田 篤史	534	
医学概論	1		○				木村 相泰	S1304	
総合英語初級Ⅱ(クラス7)	2		○				丹羽 仁美	1123	
総合英語初級Ⅱ(クラス9)	2		○				田中 数恵	1124	
総合英語初級Ⅱ(クラス11)	2		○				中光 義亮	531	
総合英語初級Ⅱ(クラス13)	2		○				原田 浩子	532	
総合英語初級Ⅱ(クラス1)	2		○				新枝 美帆	533	
中上級日本語Ⅲ	2		○				山本 貴子	521	
総合英語初級Ⅱ(クラス4)	2		○				西村 浩子	1121	
ネット型球技(クラス1)	2		○				西 博史、他	体育館	
保健体育科教育法Ⅳ	3		○				瀬尾 賢一郎	601	
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3		○				輪倉 一広	522	
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3		○				小林 武生	523	
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3		○				井上 浩	524	
3 Q 多変量解析	2	○				金2金3	道山 知成	1141	
4 Q コンピュータグラフィックス	2					金2金3	呉 勲	1141	
3時限	1 Q 確率統計基礎	2				○	木3金3	木島 正明	1141
	品質管理とデータ分析	3				○	月5金3	小柳 淳二	1142
	2 Q Javaプログラミング	2				○	木3金3	児玉 満	1141
	前期	総合英語初級Ⅰ(クラス4)	1					西村 浩子	1121
	英会話初級Ⅰ(クラス5)	1					ポーリーン	1122	
	統計学基礎Ⅰ	1	○				河田 正樹	S1304	
	総合英語初級Ⅰ(クラス8)	2		○			丹羽 仁美	1123	
	総合英語初級Ⅰ(クラス10)	2		○			田中 数恵	1124	
	総合英語初級Ⅰ(クラス12)	2		○			中光 義亮	531	
	総合英語初級Ⅰ(クラス14)	2		○			原田 浩子	532	
総合英語初級Ⅰ(クラス2)	2		○			新枝 美帆	533		
貧困に対する支援	2		○			難波 利光	S1303		
ゴール型球技(クラス2)	2		○			水崎 佑毅、他	体育館、グラウンド		
成人急性期看護実践(前)	3		○			渡邊多恵、他	S1401		
成人慢性期看護実践(後)	3		○			中谷信江、他	S1401		
保健体育科実践演習	3		○			瀬尾 賢一郎	611		
流通論	3		○			林 徳順	S1301		
通年									
後期	総合英語初級Ⅱ(クラス4)	1					西村 浩子	1121	
英会話初級Ⅱ(クラス5)	1						ポーリーン	1122	
基礎看護技術Ⅰ(日常生活援助)	1						杉本吉恵、他	S1404	
統計学基礎Ⅱ	1	○					河田 正樹	S1304	
アスレティックトレーニング概論	1		○				佐野村 学	601	
総合英語初級Ⅱ(クラス8)	2		○				丹羽 仁美	1123	
総合英語初級Ⅱ(クラス10)	2		○				田中 数恵	1124	
総合英語初級Ⅱ(クラス12)	2		○				中光 義亮	531	
総合英語初級Ⅱ(クラス14)	2		○				原田 浩子	532	
総合英語初級Ⅱ(クラス2)	2		○				新枝 美帆	533	
ネット型球技(クラス2)	2		○				西 博史、他	体育館	
政策評価	2・3・4		○				伊藤 敏安	S1303	
NPO・ボランティア論	3		○				牛島 豊広	S1302	
保健体育科実践演習	3		○				瀬尾 賢一郎	611	
環境経営	3		○				木全 晃	S1301	
3 Q 多変量解析	2	○				金2金3	道山 知成	1141	
4 Q コンピュータグラフィックス	2					金2金3	呉 勲	1141	

令和9(2027)年度 全学部学科時間割

期	科目名	金					開講曜限	担当者	教室	
		基礎	スポーツ	看護	福祉	情報				
4時限	1 Q 情報科学概論	1				○	火4金4	木島 正明、他	1142	
	2 Q Python応用	1				○	月4金4	酒井 徹也	1142	
	前期	総合英語初級 I (クラス5)	1				○		西村 浩子	1121
		英会話初級 I (クラス4)	1				○		ポーリーン	1122
		経済史 I	1	○					小林 啓祐	S1304
		総合英語初級 I (クラス3)	2		○				新枝 美帆	533
		プログラミング	2				○		高藤 大介	1141
		経済統計	2	○					河田 正樹	601
		栄養代謝学	2			○			八木香里	S1402
		特別活動及び総合的な学習の時間	3	○	○		○		石橋 孝明	S1302
	成人急性期看護実践(前)	3			○			渡邊多恵、他	S1401	
	成人慢性期看護実践(後)	3			○			中谷信江、他	S1401	
	保健医療と福祉	4				○		守本 友美	S1301	
	通年	地域ゼミ	2				○		金子 幸	522
		地域ゼミ	2				○		北村 光子	523
		地域ゼミ	2				○		脇野 幸太郎	524
専門ゼミ I		3	○					田尾 真一	531	
専門ゼミ I		3	○					田島 正士	532	
専門ゼミ I		3	○					赤木 真由	534	
専門ゼミ I		3	○					長澤 雅彦	535	
基礎看護技術 I (日常生活援助)		1				○		杉本吉恵、他	S1404	
総合英語初級 II (クラス5)	1				○		西村 浩子	1121		
英会話初級 II (クラス4)	1				○		ポーリーン	1122		
内科学	1		○				尾形聡	611		
やまぐち地域福祉発達史	1+3+4				○		真木 奈美	S1304		
総合英語初級 II (クラス3)	2		○				新枝 美帆	533		
公衆衛生看護活動 I	2			○			鶴田来美、他	S1402		
ソーシャルアントレプレナーシップ	2	○			○		林 浩喜	521		
商業学	2	○					林 徳順	S1303		
教育行政論	3	○			○		石橋 孝明	S1302		
3 Q 線形代数基礎	1				○	月1金4	道山 知成	1141		
4 Q データサイエンス概論	1				○	月1金4	矢島 安敏	1141		
5時限	1 Q									
	2 Q									
	前期	数学	1	○	○				河田 正樹	1122
		ドイツ語 II	2	○	○		○	月5・金5	新枝 美帆	1121
		ドイツ語 II	3			○			新枝 美帆	1121
		ドイツ語 II	2+3+4			○	○	月5・金5	新枝 美帆	1121
		ドイツ語 II	2	○	○		○		新枝 美帆	1121
		生徒指導論	2	○	○		○		石橋 孝明	1141
		公衆衛生看護学概論	2			○			鶴田来美、他	S1402
		金融論	2	○					長澤 賢一	1125
	保健体育科教育法Ⅲ	3		○				瀬尾 賢一郎	611	
	ソーシャルワーク演習 V	4				○		輪倉 一広	521	
	ソーシャルワーク演習 V	4				○		井上 浩	522	
	ソーシャルワーク演習 V	4				○		守本 友美	523	
	通年	専門ゼミ I	3	○					林 徳順	531
		専門ゼミ I	3	○					百武 仁志	532
専門ゼミ I		3	○					伏木 貞文	533	
専門ゼミ I		3	○					村岡 浩次	534	
専門ゼミ I		3	○					村岡 賢	535	
ドイツ語 I		1	○	○		○	月5・金5	新枝 美帆	1121	
ドイツ語 I		1+3+4			○	○	月5・金5	新枝 美帆	1121	
ドイツ語 I		2			○			新枝 美帆	1121	
教育課程論(クラス1)	1	○	○		○		大坂 遊	S1304		
教育課程論(クラス2)	1	○	○		○		石橋 孝明	S1303		
特別支援教育	3	○	○		○		中嶋 克成	611		
ソーシャルワーク演習 IV	3				○		輪倉 一広	521		
ソーシャルワーク演習 IV	3				○		小林 武生	522		
ソーシャルワーク演習 IV	3				○		井上 浩	523		
3 Q 経営と数理モデル	2	○			○	火4金5	小柳 淳二	1142		
4 Q シミュレーション	2	○			○	火4金5	内田 善彦	1142		
6時限	1 Q IoTとAI	2				○	木6金6	橋本 喜代太	1141	
	2 Q 生体情報分析	3				○	木1金6	日置、酒井	1142	
	前期									
	通年	卒業研究	4						藤井 宝恵	新館5F
		卒業研究	4						松浦 純平	新館5F
		卒業研究	4						山本 八千代	新館5F
		卒業研究	4						渡邊 淳子	新館5F
		卒業研究	4						渡邊 多恵	新館5F
		専門演習 II	4		○				清原 泰治	521
		専門演習 II	4		○				尾形 聡	生理学実験室
		専門演習 II	4		○				東恩納玲代	522
		専門演習 II	4		○				松生 香里	生化学実験室
		専門演習 II	4		○				小野 高志	523
		専門演習 II	4		○				水崎 佑毅	心理学実験室
		専門演習 II	4		○				西山 健太	524
		専門ゼミ II	4	○					百武 仁志	531
専門ゼミ II		4	○					伏木 貞文	532	
専門ゼミ II	4	○					村岡 浩次	533		
専門ゼミ II	4	○					村岡 賢	534		
3 Q 認知・感性とデータ分析	2				○	木4金6	土屋、立部、酒井	1142		
4 Q 大規模・オープンデータ分析	2				○	木4金6	松村、小柳、道山	1142		